

令和6年度にご淵公衆トイレ新設工事

目次

	図番	図面名称		図番			図番					
建築意匠	A-0	図面リスト		A-21	展開図 - 1	機械設備	M-01	特記仕様書(1)				
	A-1	特記仕様書 -1		A-22	展開図 - 2		M-02	特記仕様書(2)				
	A-2	特記仕様書 -2		A-23	建具図		M-03	特記仕様書(3)				
	A-3	特記仕様書 -3		A-24	サイン図		M-04	配置図・部分横断図				
	A-4	特記仕様書 -4		A-25	外構詳細図 -1		M-05	平面図				
	A-5	特記仕様書 -5		A-26	外構詳細図 -2		M-06	給排水設備 衛生器具表・柵表				
	A-6	特記仕様書 -6		A-27	仮設計画図		M-07	給排水設備 1 階平面図				
	A-7	特記仕様書 -7										
	A-8	特記仕様書 -8	建築構造	S-1	地下階壁・基礎梁・基礎伏図	電気設備	E-01	特記仕様書				
	A-9	特記仕様書 -9		S-2	地下階壁・1階梁・1階床版伏図		E-02	機材指定表				
	A-10	特記仕様書 -10		S-3	1階壁・R階梁・屋根伏図		E-03	盤結線図・照明器具姿図				
	A-11	特記仕様書 -11		S-4	軸組図 - 1		E-04	幹線・コンセント・トイレ緊急呼出設備図				
	A-12	仕様概要書・面積及び求積図		S-5	軸組図 - 2		E-05	電灯設備図				
	A-13	仕上表		S-6	軸組図 - 3							
	A-14	平面図		S-7	小屋伏図・屋根伏図							
	A-15	立面図 - 1		S-8	鉄筋コンクリート壁式構造配筋標準図							
	A-16	立面図 - 2										
	A-17	矩計図 - 1										
	A-18	矩計図 - 2										
	A-19	矩計図 - 3										
A-20	小屋伏図・屋根伏図											
				図面リスト		SCALE A3 -		一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田建築事務所		DATE . . .	DATE . . .	A-0
				SUBJECT 令和6年度にご淵公衆トイレ新設工事 設計図				CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.		
						SUBMITTED BY 一級建築士登録 第312929号 上田 博史						

ALCパネル	ALCパネルの区分等						(8.4.2～5)											
	区分			単位荷重 (N/m ²) 正荷重負荷重		厚さ (mm)	幅 及び 長さ	耐火性能 (時間)	構法の 種別									
	・ 外壁用	・ 一般	・ 平	・	・	・	図示に よる	・ なし	・ A種									
		・ コーナー	・ 意匠						・ 1	・ B種								
	・ 間仕切 壁用	・ 一般	・ 平	―	―	・	図示に よる	・ なし	・ C種									
		・ コーナー	・ 意匠						・ 1	・ D種								
	・ 屋根用	―	―	・	・	・	図示に よる	・ 0.5	※F種									
		・	・															
	・ 床用	―	―	・	―	・	図示に よる	・ 1	・ 2									
		・	・															
パネルの相互の接合部に挿入する目地材																		
外壁、屋根パネルの構法																		
1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した構法																		
耐震性能 ※建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項 (別表) による																		
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合																		
・ 図示による																		
目地幅 (mm)																		
(パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びに																		
パネルと他部材との取り合い部)																		
※10～20																		
外壁、間仕切壁パネルの伸縮調整目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない																		
押出成形セメント 板 (E C P)	ECPの種類等						(8.5.2～5)											
	パネルの種類		表面形状		厚さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	備考										
	・ 外壁パネル	・ F (フラット [※] 表)	・ 50 ・ 60 ・		・ A 種	600	・ B 種											
		・ D (デ [※] ザ [※] インパ [※] 表)	・ 50 ・ 60															
		・ T (タイルヘ [※] ースパ [※] 表)	60															
	・ 間仕切壁パネル	・ F (フラット [※] 表)	・ 50 ・ 60 ・		・ B 種	600	・ C 種											
		・ D (デ [※] ザ [※] インパ [※] 表)	・ 50 ・ 60															
		・ T (タイルヘ [※] ースパ [※] 表)	60															
	外壁パネルの工法																	
	1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法																	
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合																		
・ 図示による																		
パネル相互の目地幅 (mm) ※ 長辺10、短辺15以上 ・																		
出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅 (mm) ※ 15程度 ・																		
耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ※パネル製造所の仕様 ・																		
やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する。																		
		開口の大きさ		切断後のパネルの残り部分の幅														
パネルに開口を設ける場合	短辺	・	・ 図示	・	・ 図示													
	長辺	・	・ 図示	・	・ 図示													
パネルを切り欠く場合	短辺	・	・ 図示	・	・ 図示													
	長辺	・	・ 図示	・	・ 図示													
耐震性能 ※建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項 (別表) による																		
9 防水工事	・ アスファルト防水	屋根保護防水 (9.2.2～5) (表 9.2.3～9)																
		防水層の種別																
		種 別	施工箇所	絶縁用シート		立上り部の保護												
		・ A－1		※ [※] ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットヤンクロス 70g/m ² 程度		・ 乾式保護材												
		・ A－2																
		・ A－3																
		・ B－1																
		・ B－2		※ フラットヤンクロス 70g/m ² 程度		・ コンクリート												
		・ B－3																
		・ A I－1																
・ A I－2																		
・ A I－3		・		・ れんが (JIS R 1250)														
・ B I－1																		
・ B I－2																		
・ B I－3																		
改質アスファルトルーフینگシートの種類及び厚さ																		
※ 標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による																		
部分粘着層付改質アスファルトルーフینگシートの種類及び厚さ																		
※ 標準仕様書表9.2.5から標準仕様書表9.2.8による																		
平場の保護コンクリートの厚さ																		
こて仕上げ ※ 水下 80mm以上 ・																		
床タイル張り ※ 水下 60mm以上 ・																		
断熱材 <table><tr><td>G</td></tr></table> (A I－1、A I－2、A I－3、B I－1、B I－2、B I－3 の場合)										G								
G																		
厚さ ※ 25mm ・ 50mm ・																		
乾式保護材 (品質・性能・試験方法) 別表による																		
窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。																		
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。																		
分類・規格		・ 窯業系パネル I 類 (寒冷地仕様)		・ 窯業系パネル I 類 (一般地仕様)		・ 金属複合板												
寸法 (mm)	厚さ (mm)	・ 15 ・		・ 15 ・		・ 15 ・												
	幅 (mm)	・ 303 ・		・ 303 ・		・ 303 ・												
屋根露出防水																		
防水層の種別																		
種 別		施工箇所																
・ D－1		施工箇所																
・ D－2																		
・ D－3																		
・ D－4																		
・ D I－1																		
・ D I－2																		
改質アスファルトルーフینگシートの種類及び厚さ																		
※ 標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による																		
部分粘着層付改質アスファルトルーフینگシートの種類及び厚さ																		
※ 標準仕様書表9.2.5から標準仕様書表9.2.8による																		
屋根露出防水絶縁断熱工法の場合のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置																		
※ 図示																		
脱気装置の種類及び設置数量																		
※ アスファルトルーフینگ類の製造所の指定による ・数量 ()、設置数量 () 個																		
屋根排水溝 ※ 図示																		
断熱材 <table><tr><td>G</td></tr></table> (D I－1、D I－2 の場合)										G								
G																		
種 別		・																
厚さ		※ 25mm ・ 50mm ・																
仕上塗料																		
種類 ※アスファルトルーフینگ類製造所の仕様による																		
使用量 ※アスファルトルーフینگ類製造所の仕様による																		
高日射反射率防水 <table><tr><td>G</td></tr></table> ・適用する										G								
G																		
屋内防水 (9.2.3～5) (表9.2.9)																		
種 別		施工箇所		種 別		施工箇所												
・ E－1				・ E－2														
保護層 ・設ける (※図示 ・)																		
防水層の下地のモルタル塗り ・適用する (施工範囲 ・図示 ・)																		
防水層の下地立上り ・コンクリート打放しB種 (・)																		
屋上排水溝 ・適用する (・)																		
押え金物の材質及び形状寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0 (mm) 程度 (・)																		
屋根露出防水																		
種 別		施工箇所		改質アスファルトシート		断熱材 <table><tr><td>G</td></tr></table>		G	防湿層									
G																		
・ A S－T 1	下層用	※非露出複層防水用 R 種		※2.5以上														
		・		・														
上層用	※露出複層防水用 R 種		※3.0以上															
	・		・															
・ A S－T 2	下層用	※露出単層防水用 R 種		※4.0以上														
		・		・														
・ A S－T 3	下層用	※非露出複層防水用 R 種		※1.5以上														
		・		・														
上層用	※露出複層防水用 R 種		※3.0以上															
	・		・															
・ A S－T 4	下層用	※露出単層防水用 R 種		※4.0以上														
		・		・														
・ A S－J 1	下層用	※非露出複層防水用 R 種		※1.5以上														
		・		・														
上層用	※露出複層防水用 R 種		※2.0以上															
	・		・															
・ A S I－T 1	下層用	※非露出複層防水用 R 種		※1.5以上		種類 ・		・ 設ける										
		・		・														
上層用	※露出複層防水用 R 種		※3.0以上															
	・		・															
・ A S I－J 1	下層用	※非露出複層防水用 R 種		※1.5以上		厚さ ・ 25mm ・ 50mm ・		・ 設けない										
		・		・														
上層用	※露出複層防水用 R 種		※2.0以上															
	・		・															
改質アスファルトルーフینگシートの種類及び厚さ																		
※ 標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による																		
部分粘着層付改質アスファルトルーフینگシートの種類及び厚さ																		
※ 標準仕様書表9.2.5から標準仕様書表9.2.8による																		
平場の保護コンクリートの厚さ																		
こて仕上げ ※ 水下 80mm以上 ・																		
床タイル張り ※ 水下 60mm以上 ・																		
断熱材 <table><tr><td>G</td></tr></table> (A I－1、A I－2、A I－3、B I－1、B I－2、B I－3 の場合)										G								
G																		
厚さ ※ 25mm ・ 50mm ・																		
乾式保護材 (品質・性能・試験方法) 別表による																		
窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。																		
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。																		
分類・規格		・ 窯業系パネル I 類 (寒冷地仕様)		・ 窯業系パネル I 類 (一般地仕様)		・ 金属複合板												
寸法 (mm)	厚さ (mm)	・ 15 ・		・ 15 ・		・ 15 ・												
	幅 (mm)	・ 303 ・		・ 303 ・		・ 303 ・												
合成高分子系																		
ルーフینگシート防水																		
防水層の種別 (9.4.2～4) (表9.4.1～3)																		
種 別		施工箇所		ルーフینگシートの厚さ (mm)		断熱材 <table><tr><td>G</td></tr></table>		G	仕上塗料		防湿層							
G																		
・ S－F 1				※1.2				・ カラー										
												・ シルバー						
・ S－F 2	※2.0											・		・ カラー		・ シルバー		
																		・
・ S－M 1		※1.5		・		・ カラー		・ シルバー										
・ S－M 2		※1.5		・														
・ S I－F 1		※1.2		・		種類 ・		・ カラー		・ 設ける								
・ S I－F 2		※2.0		・														
・ S I－M 1		※1.5		・		厚さ ・ 25 ・ 50		・ カラー		・ シルバー								
・ S I－M 2		※1.5		・														
・ S－C 1		※1.0		・														
S－F 1、S I－F 1 の場合																		
プレキャストコンクリート部材下地の目地処理 (・) ・図示																		
プレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り (・) ・図示																		
S－C 1 の保護層																		
平場 ・モルタル塗り 塗り厚 (・ 30mm ・) ・保護コンクリート 厚さ () mm																		
立上り部の保護モルタルの塗厚 ※7mm以下 (・)																		
塗膜防水																		
防水層の種別 (9.5.3) (表9.5.1～2)																		
種 別		施工箇所				備 考												
・ X－1						仕上げ塗料塗り ・ カラー												
・ X－2						・ シルバー												
・ Y－1		※地下外壁防水 ・																
・ Y－2		※屋内防水 ・				Y－2 の保護層 ・ 設ける												
ケイ酸質系																		
塗布防水																		
防水層の種別 (9.6.3) (表9.6.1)																		
種 別		施工箇所				種 別		施工箇所										
※C－U I						・ C－U P												
FRP防水																		
防水層の種別																		
種 別		施工箇所				備 考												
脱気装置																		
防水層の種別 (9.2.3) (9.3.3) (9.4.3) (9.5.3)																		
防水種別		種 類				設置数量												
D-1 D-2 D-3 D-4 DI-1 DI-2 AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS1-T1 AS1-J1 S-F1 S-F2 S1-F1 S1-F2 X-1		※アスファルトルーフینگ [※] 類 (又は改質アスファルトシート、ルーフینگ [※] シート) の製造所の仕様による				※アスファルトルーフینگ [※] 類 (又は改質アスファルトシート、ルーフینگ [※] シート) の製造所の仕様による												
						・ () 個／m ²												
						※主材料の製造所の仕様による												
						・ () 個／m ²												
下表以外は、標準仕様書表9.7.1による。 (9.7.2、3、5) (表9.7.1)																		
施工箇所						シーリング材の種類 (記号)												
ガラス廻り						シリコン系シーリング材												
シーリング面への仕上塗材仕上げ等 ・行う ・行わない																		
接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 (部位)																		
防水保証期間																		
保証期間は (10) 年とし請負業者、施工業者、製造業者の3社連名の保証とする。																		
10 石工事	・ 施工	石材の割付け (取合い部以外) ・ () ・図示 (10.1.3)																
		・ 天然石 (10.2.1～3) (表10.2.1～2)																
		施工箇所	岩石の種類	等 級	形 状	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ	備 考									
				・ 1等品														
				・ 2等品														
		テラゾブロック																
		施工箇所	種石の種類	大きさ	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ									
			※大理石		・ 平もの	・ 片面												
			・ 花こう岩		・ 役もの	・ 両面												
		特記仕様書 (建築工事編) (5)										令和4年度版		高知県土木部建築課				
株式会社	一般建築士事務所 高知県知事 登録 第19号																	
	上田 建築 事務所 令和 6年 10月																	
SUBMITTED BY	一般建築士登録 第 312929号 上田 博史																	
令和6年度にこ淵公衆トイレ新設工事																		
令和5年7月改正													A-5					

・重量シャッター	シャッターの種類	・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター	耐風圧強度（ ）pa 耐風圧強度（ ）pa	(16.11.2、3)	
	開閉方式の種類	※電動式（手動併用） ・手動式			
	安全装置	電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 電動式シャッターの障害物感知装置 屋内用防火シャッター、防煙シャッターの危害防止装置	※建具表による ※建具表による ※建具表による	・（ ） ・（ ） ・（ ）	
	管理用シャッターのシャッターケース	・設ける ・設けない			
	スラット及びシャッターケース用鋼板	鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）	めっきの付着量 ※Z12又はF12 ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及びカバー、スイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1		
	・軽量シャッター	開閉方式の種類 耐風圧強度 電動式シャッターの障害物感知装置 スラット 形状 ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3322（塗装溶融55%Zn-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）	※手動式 （ ）pa ※建具表による ※建具表による めっきの付着量（※Z06又はF06） めっきの付着量（※AZ90）	(16.12.2～4)	
	・オートヘッドドア	セクション材料による区分 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	開閉方式による区分 ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	収納形式による区分 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	ガイドレールの材料 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板
	○ガラス	風圧力による強さの区分 電動式シャッターの障害物感知装置 ・合わせガラス 特性による種類 ○強化ガラス 特性による種類 ・熱線吸収板ガラス 性能による種類 ・複層ガラス 断熱性による区分 日射取得性、日射遮へい性による区分 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン ・熱線反射ガラス 日射熱遮へい性 耐久性	（・125 ・100 ・75 ・50） ※建具表による （9.7）（16.14.2～4）（図16.14.1） 特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類 特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類 性能による種類 ・1種 ・2種 断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 日射取得性、日射遮へい性による区分 ・G ・S 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン ・熱線反射ガラス 日射熱遮へい性 ・1種 ・2種 ・3種 耐久性 ・A種 ・B種		
	・ガラスブロック積み	ガラスの留め材及び溝の大きさ	建具の種類 アルミニウム製 鋼製及び鋼製軽量 ステンレス製 樹脂製	ガラス留め材 ガラス溝の大きさ（mm） ※建具の製造所の仕様による ・図示 ・※グレイジングチャンネル形 ※シーリング材 ・ガスケット ※グレイジングチャンネル形 ※シーリング材 ・ガスケット ※グレイジングチャンネル形	
	○建築窓ガラス用フィルム	（16.14.5） 表面形状 呼び寸法 厚さ 色調 目地幅（mm） 伸縮調整目地（mm） 防火性能	・125×125 ・160×160 ・200×200 ・320×320 ・250×125 ・320×160 80 95 95 95 80 95 グリッド乳白 ※8～15 ・15～25 ・※15以下 内側 ※6以上 ・	・6m以下ごとに幅10～25 ・図示 ・	※無し ・有り

・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）	
	・ビニル床シート			
	・ビニル床タイル			
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）

・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）	
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）

・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）	
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）

・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）	
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）

・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）	
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）

・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）	
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）

・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）	
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）

・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）	
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）

・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）	
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）

・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）	
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）

・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）	
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）

・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）	
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類	・図示 ・（ ）
	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性	

○床点検口	<table><tr><td>材 種</td><td>寸 法</td><td colspan="2">形 式</td><td>枠の許容差</td><td>受枠と蓋枠のクリアランス</td></tr><tr><td>・アルミニウム製 ○ステンレス製 ・鋼製</td><td>・450×450 ・600×600 ・</td><td>・一般形 ・密閉形 ○防水○防臭形</td><td>・屋内外用 ・屋内用</td><td>受枠、蓋枠とも ±0.5mm 以内</td><td>片側 2.0mm以内</td></tr><tr><td colspan="6">一般形：パッキンを装着しないもの、又はがたつき防止用パッキンを装着したもの 密閉形：ボルト、ナット等のメカニカル構造にパッキンを装着したもの ○防水、防臭形：FSMPD60KH同等 材料の品質及び性能</td></tr><tr><td>使用部位</td><td>材 料</td><td colspan="2">屋 内 外 用</td><td colspan="2">屋 内 用</td></tr><tr><td rowspan="3">受枠材 蓋枠材</td><td>7#ミニウム合金 押出形材</td><td colspan="4">JIS H 4100 A6063S-T5 表面処理：標準仕様書 表14.2.1のAB-1種、AB-2種、BB-1種、BB-2種</td></tr><tr><td>ステンレス</td><td colspan="4">JIS G 4305 SUS304 表面仕上：HL 又は No.2B程度（目地ともの場合）</td></tr><tr><td>鋼材</td><td colspan="4">－ 鋼板又は電気亜鉛めっき鋼板（JIS G 3313 SEHC）の類に一般さび止めペイント（JIS K 5621）、又はメラミン樹脂焼付塗装等の防錆処理をおこなったもの</td></tr><tr><td>二重蓋の中蓋</td><td>鋳鉄</td><td colspan="4">JIS G 5501 FC150、FC200</td></tr><tr><td rowspan="2">目地材</td><td>黄銅</td><td colspan="4">JIS H 3100 C2600、C2720、C2801P JIS H 3250 C2602、C3604B</td></tr><tr><td>ステンレス</td><td colspan="4">JIS G 4305、JIS G 4308 SUS304</td></tr><tr><td rowspan="3">底板材 コーナーピース 底板補強材</td><td>ステンレス鋼板</td><td colspan="4">JIS G 4305、JIS G 4308 SUS 304</td></tr><tr><td>7#ミニウム板</td><td colspan="4">JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)</td></tr><tr><td>鋼材</td><td colspan="4">－ 鋼板又は電気亜鉛めっき鋼板（JIS G 3313 SEHC）の類に一般さび止めペイント（JIS K 5621）、又はメラミン樹脂焼付塗装等の防錆処理をおこなったもの</td></tr><tr><td>錠</td><td colspan="5">亜鉛合金製（クロムめっき） 黄銅製、ステンレス製の類</td></tr><tr><td>開閉方式</td><td colspan="5">施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする</td></tr><tr><td>パッキン材</td><td colspan="5">塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン 枠の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有する。</td></tr><tr><td>アンカー材</td><td>鋼材</td><td colspan="4">電気亜鉛めっき又は防錆塗料をおこなったもの</td></tr><tr><td>取っ手</td><td colspan="5">黄銅鑄物製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鑄物製、ステンレス鑄鋼品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする。</td></tr><tr><td>蓋の耐荷重性能</td><td colspan="5">蓋中央部が荷重値 Pn=1,000N において残留たわみが点検口の有効径の 0.08% 以内 であること。 受け枠・蓋その他に使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値の Pn の2倍以上であること。</td></tr></table>	材 種	寸 法	形 式		枠の許容差	受枠と蓋枠のクリアランス	・アルミニウム製 ○ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・密閉形 ○防水○防臭形	・屋内外用 ・屋内用	受枠、蓋枠とも ±0.5mm 以内	片側 2.0mm以内	一般形：パッキンを装着しないもの、又はがたつき防止用パッキンを装着したもの 密閉形：ボルト、ナット等のメカニカル構造にパッキンを装着したもの ○防水、防臭形：FSMPD60KH同等 材料の品質及び性能						使用部位	材 料	屋 内 外 用		屋 内 用		受枠材 蓋枠材	7#ミニウム合金 押出形材	JIS H 4100 A6063S-T5 表面処理：標準仕様書 表14.2.1のAB-1種、AB-2種、BB-1種、BB-2種				ステンレス	JIS G 4305 SUS304 表面仕上：HL 又は No.2B程度（目地ともの場合）				鋼材	－ 鋼板又は電気亜鉛めっき鋼板（JIS G 3313 SEHC）の類に一般さび止めペイント（JIS K 5621）、又はメラミン樹脂焼付塗装等の防錆処理をおこなったもの				二重蓋の中蓋	鋳鉄	JIS G 5501 FC150、FC200				目地材	黄銅	JIS H 3100 C2600、C2720、C2801P JIS H 3250 C2602、C3604B				ステンレス	JIS G 4305、JIS G 4308 SUS304				底板材 コーナーピース 底板補強材	ステンレス鋼板	JIS G 4305、JIS G 4308 SUS 304				7#ミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)				鋼材	－ 鋼板又は電気亜鉛めっき鋼板（JIS G 3313 SEHC）の類に一般さび止めペイント（JIS K 5621）、又はメラミン樹脂焼付塗装等の防錆処理をおこなったもの				錠	亜鉛合金製（クロムめっき） 黄銅製、ステンレス製の類					開閉方式	施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする					パッキン材	塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン 枠の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有する。					アンカー材	鋼材	電気亜鉛めっき又は防錆塗料をおこなったもの				取っ手	黄銅鑄物製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鑄物製、ステンレス鑄鋼品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする。					蓋の耐荷重性能	蓋中央部が荷重値 Pn=1,000N において残留たわみが点検口の有効径の 0.08% 以内 であること。 受け枠・蓋その他に使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値の Pn の2倍以上であること。					・旗 竿	<table><tr><td>材 種</td><td>形 式</td><td>高さ(mm)</td><td>操作方法</td><td>固定方法</td><td>備考</td></tr><tr><td>・アルミニウム合金製 ・</td><td>・テーパー式 ・同一断面式</td><td></td><td>・ハンドル式 ・ロープ式</td><td>・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</td><td></td></tr><tr><td colspan="6">材種 ※ステンレス製（SUS304） ・</td></tr><tr><td colspan="2">形 式</td><td>材 種</td><td>柱径、肉厚(mm)</td><td colspan="2">高 さ (m)</td></tr><tr><td colspan="2">・上下式鎖内蔵式（・標準品 ・スプリング式） ・</td><td>・ステンレス製 ・</td><td>・φ76.3 t =2.0 ・</td><td colspan="2">・GL+700 ・</td></tr><tr><td colspan="6">フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス 高 さ ・（ ） ・図示</td></tr><tr><td colspan="6">コンクリートの設計基準強度 (20.3.3、4) ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m³を満足する調合強度 ・図示 配筋 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。 ・図示 取付け方法 ※図示</td></tr><tr><td colspan="6">(20.4.2、3)</td></tr><tr><td colspan="2">材 種</td><td>種 類</td><td>質量区分</td><td colspan="2">備 考</td></tr><tr><td colspan="2">・間知石</td><td>・花こう岩 ・凝灰岩</td><td>－</td><td colspan="2">－</td></tr><tr><td colspan="2">・コンクリート間知ブロック</td><td></td><td>・ A ・ B</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="6">積み方 ※谷積み ・布積み 目塗り ・（ ） ・図示 伸縮調整目地 材種及び厚さ ・（ ） ・図示</td></tr><tr><td colspan="2">種 類</td><td colspan="2">規格等</td><td colspan="2">JISによる種類</td></tr><tr><td colspan="2">・鋼製書架</td><td rowspan="2">JIS S 1039の規格による</td><td>・ 1 種</td><td>・ 2 種</td><td>・ 3 種</td></tr><tr><td colspan="2">・鋼製物品棚</td><td>・ 4 種</td><td>・ 5 種</td><td>・ 6 種 ・</td></tr><tr><td colspan="6">枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り</td></tr><tr><td colspan="6">材種 ・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材） ・人工大理石 奥行き(mm) ・約450 ・約600</td></tr><tr><td colspan="6">・固定式</td></tr><tr><td colspan="2">材質</td><td>厚さ(mm)</td><td>高さ(mm)</td><td colspan="2">備考</td></tr><tr><td colspan="2">※納入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス ・可動式</td><td>※6.8 ・</td><td>※500 ・</td><td colspan="2">アルミ製枠付き</td></tr><tr><td colspan="2">種類</td><td>材質</td><td>高さ(mm)</td><td colspan="2">備考</td></tr><tr><td colspan="2">・垂直降下式（巻取り型）</td><td>※不燃布（不燃認定品） ・</td><td>※500 ・800 ・</td><td colspan="2">ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）</td></tr><tr><td colspan="2">・回転降下式</td><td>鋼板製又はアルミ製</td><td>※500 ・800 ・</td><td colspan="2">表面仕上げ ※天井材張り ・</td></tr><tr><td colspan="6">降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）</td></tr><tr><td colspan="6">照明器具 ※有り ・無し 施錠 ※有り ・無し</td></tr><tr><td colspan="6">材質、形状、寸法 ※図示 ・（ ） 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※1 各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。</td></tr><tr><td colspan="6">種 類 ※コンクリートブロック製（市販品） ・花こう石類（文字記号等入り） 設置方法 根切り底を突き締めたうえ、厚さ60mmの砂利地業を行い、コンクリートで根巻きして建て込む。 建て込みは監督職員の立ち会いのもと行う。 コンクリートの調合 容積比 セメント1：砂2：砂利4 程度</td></tr></table>	材 種	形 式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考	・アルミニウム合金製 ・	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式		材種 ※ステンレス製（SUS304） ・						形 式		材 種	柱径、肉厚(mm)	高 さ (m)		・上下式鎖内蔵式（・標準品 ・スプリング式） ・		・ステンレス製 ・	・φ76.3 t =2.0 ・	・GL+700 ・		フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス 高 さ ・（ ） ・図示						コンクリートの設計基準強度 (20.3.3、4) ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m ³ を満足する調合強度 ・図示 配筋 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。 ・図示 取付け方法 ※図示						(20.4.2、3)						材 種		種 類	質量区分	備 考		・間知石		・花こう岩 ・凝灰岩	－	－		・コンクリート間知ブロック			・ A ・ B			積み方 ※谷積み ・布積み 目塗り ・（ ） ・図示 伸縮調整目地 材種及び厚さ ・（ ） ・図示						種 類		規格等		JISによる種類		・鋼製書架		JIS S 1039の規格による	・ 1 種	・ 2 種	・ 3 種	・鋼製物品棚		・ 4 種	・ 5 種	・ 6 種 ・	枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り						材種 ・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材） ・人工大理石 奥行き(mm) ・約450 ・約600						・固定式						材質		厚さ(mm)	高さ(mm)	備考		※納入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス ・可動式		※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き		種類		材質	高さ(mm)	備考		・垂直降下式（巻取り型）		※不燃布（不燃認定品） ・	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）		・回転降下式		鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・		降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）						照明器具 ※有り ・無し 施錠 ※有り ・無し						材質、形状、寸法 ※図示 ・（ ） 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※1 各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。						種 類 ※コンクリートブロック製（市販品） ・花こう石類（文字記号等入り） 設置方法 根切り底を突き締めたうえ、厚さ60mmの砂利地業を行い、コンクリートで根巻きして建て込む。 建て込みは監督職員の立ち会いのもと行う。 コンクリートの調合 容積比 セメント1：砂2：砂利4 程度						・旗竿受金物	・車止め支柱	・フェンス	・プレキャストコンクリート 間知ブロック積み	・鋼製書架 及び物品棚	・屋内揭示板	・洗面カウンター	・防煙垂れ壁	・屋外揭示板	・収納家具	・敷地境界石標
	材 種	寸 法	形 式		枠の許容差	受枠と蓋枠のクリアランス																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	・アルミニウム製 ○ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・密閉形 ○防水○防臭形	・屋内外用 ・屋内用	受枠、蓋枠とも ±0.5mm 以内	片側 2.0mm以内																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	一般形：パッキンを装着しないもの、又はがたつき防止用パッキンを装着したもの 密閉形：ボルト、ナット等のメカニカル構造にパッキンを装着したもの ○防水、防臭形：FSMPD60KH同等 材料の品質及び性能																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	使用部位	材 料	屋 内 外 用		屋 内 用																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	受枠材 蓋枠材	7#ミニウム合金 押出形材	JIS H 4100 A6063S-T5 表面処理：標準仕様書 表14.2.1のAB-1種、AB-2種、BB-1種、BB-2種																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		ステンレス	JIS G 4305 SUS304 表面仕上：HL 又は No.2B程度（目地ともの場合）																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		鋼材	－ 鋼板又は電気亜鉛めっき鋼板（JIS G 3313 SEHC）の類に一般さび止めペイント（JIS K 5621）、又はメラミン樹脂焼付塗装等の防錆処理をおこなったもの																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	二重蓋の中蓋	鋳鉄	JIS G 5501 FC150、FC200																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	目地材	黄銅	JIS H 3100 C2600、C2720、C2801P JIS H 3250 C2602、C3604B																																																																																																																																																																																																																																																																																									
ステンレス		JIS G 4305、JIS G 4308 SUS304																																																																																																																																																																																																																																																																																										
底板材 コーナーピース 底板補強材	ステンレス鋼板	JIS G 4305、JIS G 4308 SUS 304																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	7#ミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	鋼材	－ 鋼板又は電気亜鉛めっき鋼板（JIS G 3313 SEHC）の類に一般さび止めペイント（JIS K 5621）、又はメラミン樹脂焼付塗装等の防錆処理をおこなったもの																																																																																																																																																																																																																																																																																										
錠	亜鉛合金製（クロムめっき） 黄銅製、ステンレス製の類																																																																																																																																																																																																																																																																																											
開閉方式	施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする																																																																																																																																																																																																																																																																																											
パッキン材	塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン 枠の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有する。																																																																																																																																																																																																																																																																																											
アンカー材	鋼材	電気亜鉛めっき又は防錆塗料をおこなったもの																																																																																																																																																																																																																																																																																										
取っ手	黄銅鑄物製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鑄物製、ステンレス鑄鋼品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする。																																																																																																																																																																																																																																																																																											
蓋の耐荷重性能	蓋中央部が荷重値 Pn=1,000N において残留たわみが点検口の有効径の 0.08% 以内 であること。 受け枠・蓋その他に使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値の Pn の2倍以上であること。																																																																																																																																																																																																																																																																																											
材 種	形 式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・アルミニウム合金製 ・	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式																																																																																																																																																																																																																																																																																								
材種 ※ステンレス製（SUS304） ・																																																																																																																																																																																																																																																																																												
形 式		材 種	柱径、肉厚(mm)	高 さ (m)																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・上下式鎖内蔵式（・標準品 ・スプリング式） ・		・ステンレス製 ・	・φ76.3 t =2.0 ・	・GL+700 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																								
フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス 高 さ ・（ ） ・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																												
コンクリートの設計基準強度 (20.3.3、4) ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m ³ を満足する調合強度 ・図示 配筋 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。 ・図示 取付け方法 ※図示																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(20.4.2、3)																																																																																																																																																																																																																																																																																												
材 種		種 類	質量区分	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・間知石		・花こう岩 ・凝灰岩	－	－																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・コンクリート間知ブロック			・ A ・ B																																																																																																																																																																																																																																																																																									
積み方 ※谷積み ・布積み 目塗り ・（ ） ・図示 伸縮調整目地 材種及び厚さ ・（ ） ・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種 類		規格等		JISによる種類																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・鋼製書架		JIS S 1039の規格による	・ 1 種	・ 2 種	・ 3 種																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・鋼製物品棚			・ 4 種	・ 5 種	・ 6 種 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																							
枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り																																																																																																																																																																																																																																																																																												
材種 ・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材） ・人工大理石 奥行き(mm) ・約450 ・約600																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・固定式																																																																																																																																																																																																																																																																																												
材質		厚さ(mm)	高さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																								
※納入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス ・可動式		※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き																																																																																																																																																																																																																																																																																								
種類		材質	高さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・垂直降下式（巻取り型）		※不燃布（不燃認定品） ・	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・回転降下式		鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・																																																																																																																																																																																																																																																																																								
降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）																																																																																																																																																																																																																																																																																												
照明器具 ※有り ・無し 施錠 ※有り ・無し																																																																																																																																																																																																																																																																																												
材質、形状、寸法 ※図示 ・（ ） 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※1 各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種 類 ※コンクリートブロック製（市販品） ・花こう石類（文字記号等入り） 設置方法 根切り底を突き締めたうえ、厚さ60mmの砂利地業を行い、コンクリートで根巻きして建て込む。 建て込みは監督職員の立ち会いのもと行う。 コンクリートの調合 容積比 セメント1：砂2：砂利4 程度																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○止水板	・耐震スリット	<table><tr><td>方 向</td><td>幅(mm)</td><td>タ イ プ</td><td>耐火性能</td><td>防水性能</td><td>備 考</td></tr><tr><td>・垂直方向 ・水平方向</td><td>・25 ・</td><td>※完全（全貫通型） ・</td><td>・耐火型 ・非耐火型</td><td>・有り ・無し</td><td></td></tr><tr><td colspan="6">目地（目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による）</td></tr><tr><td>目 地</td><td colspan="2">内 壁</td><td colspan="3">外 壁</td></tr><tr><td>目地材</td><td colspan="2">・シーリング材（見え掛かり部のみ） ・</td><td colspan="3">・シーリング材（見え掛かり部のみ） ・シーリング材（内外とも）</td></tr><tr><td>目地寸法 (mm)</td><td colspan="2">※スリット幅 × 深さ 10</td><td colspan="3">※スリット幅 × 深さ 10</td></tr><tr><td>形状</td><td colspan="5">・差込式 ・据置式 ・壁張り式 設置箇所 ※図示（地下打継外周部分）</td></tr><tr><td>材 質</td><td colspan="5">・アルミニウム ・ステンレス クリアランス ・50 ・100 ・150 耐火性能 ・有り（ ） ・無し</td></tr><tr><td>材 種</td><td colspan="2">受け枠</td><td colspan="3">備 考</td></tr><tr><td colspan="2">・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製 ・</td><td colspan="2">・ステンレス鋼（SUS304） ・硬質アルミニウム合金 ・</td><td colspan="2"></td></tr></table>	方 向	幅(mm)	タ イ プ	耐火性能	防水性能	備 考	・垂直方向 ・水平方向	・25 ・	※完全（全貫通型） ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し		目地（目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による）						目 地	内 壁		外 壁			目地材	・シーリング材（見え掛かり部のみ） ・		・シーリング材（見え掛かり部のみ） ・シーリング材（内外とも）			目地寸法 (mm)	※スリット幅 × 深さ 10		※スリット幅 × 深さ 10			形状	・差込式 ・据置式 ・壁張り式 設置箇所 ※図示（地下打継外周部分）					材 質	・アルミニウム ・ステンレス クリアランス ・50 ・100 ・150 耐火性能 ・有り（ ） ・無し					材 種	受け枠		備 考			・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製 ・		・ステンレス鋼（SUS304） ・硬質アルミニウム合金 ・				・流し台ユニット	<table><tr><td rowspan="2">材 種</td><td colspan="3">寸法 (mm)</td><td rowspan="2">備 考</td></tr><tr><td>W</td><td>D</td><td>H</td></tr><tr><td rowspan="3">・流し台</td><td>・1200 ・1500 ・1800</td><td>・550 ・600 ・650</td><td>・800 ・850</td><td>市販品 水封50mm以上のトラップ付 天板ステンレス製</td></tr><tr><td>・600</td><td>・550 ・600 ・650</td><td>・620 ・670</td><td>市販品 バックガード有り 天板ステンレス製</td></tr><tr><td>・吊り戸棚</td><td>・1200 ・900</td><td>・450 ・700</td><td>市販品</td></tr><tr><td>・水切り棚</td><td>・1200 ・900 ・600</td><td>－</td><td>－</td><td>市販品 ステンレス製 ・1段式 ・（ ）</td></tr><tr><td colspan="5">品質・性能 JIS A 4420による</td></tr><tr><td colspan="5">形状 ※図示</td></tr></table>	材 種	寸法 (mm)			備 考	W	D	H	・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 水封50mm以上のトラップ付 天板ステンレス製	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製	・吊り戸棚	・1200 ・900	・450 ・700	市販品	・水切り棚	・1200 ・900 ・600	－	－	市販品 ステンレス製 ・1段式 ・（ ）	品質・性能 JIS A 4420による					形状 ※図示																																																																																																																																																																																												
	方 向	幅(mm)	タ イ プ	耐火性能	防水性能	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	・垂直方向 ・水平方向	・25 ・	※完全（全貫通型） ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	目地（目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による）																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	目 地	内 壁		外 壁																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	目地材	・シーリング材（見え掛かり部のみ） ・		・シーリング材（見え掛かり部のみ） ・シーリング材（内外とも）																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	目地寸法 (mm)	※スリット幅 × 深さ 10		※スリット幅 × 深さ 10																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	形状	・差込式 ・据置式 ・壁張り式 設置箇所 ※図示（地下打継外周部分）																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	材 質	・アルミニウム ・ステンレス クリアランス ・50 ・100 ・150 耐火性能 ・有り（ ） ・無し																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	材 種	受け枠		備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製 ・		・ステンレス鋼（SUS304） ・硬質アルミニウム合金 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																										
材 種	寸法 (mm)			備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	W	D	H																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 水封50mm以上のトラップ付 天板ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	・吊り戸棚	・1200 ・900	・450 ・700	市販品																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・水切り棚	・1200 ・900 ・600	－	－	市販品 ステンレス製 ・1段式 ・（ ）																																																																																																																																																																																																																																																																																								
品質・性能 JIS A 4420による																																																																																																																																																																																																																																																																																												
形状 ※図示																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○埋戻し土	特記仕様書（建築工事編）（10）				令和4年度版	高知県土木部建築課																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	株式会社 SUBMITTED BY				一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 上田 建築 事務所 令和 6年 10月 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	令和6年度に三瀬公衆トイレ新設工事 令和5年7月改正								A-10																																																																																																																																																																																																																																																																																			

22	舗装工事	・路床	<div>路床の材料<div>(22.2.2、3、5)(表22.2.1)</div><table><tr><th>種別</th><th>材料</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td>・盛土</td><td>・A種・B種・C種・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G</td><td>※図示・</td></tr><tr><td>・凍上抑制層</td><td>※再生クラッシャーラン G・クラッシャーラン・切込み砂利・砂</td><td>※図示・</td></tr><tr><td>・フィルター層</td><td>・砂・</td><td>※図示・</td></tr></table><div>凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験・行う・行わない</div><div>・路床安定処理 安定処理の方法・置き換え工法・安定処理工法 路床安定化処理用添加材料 種類・普通ポルトランドセメント・高炉セメントB種・フライアッシュセメントB種 生石灰(・特号・1号)・消石灰(・特号・1号) 添加量 kg/m^3 (目標CBR ※3以上・) ・ジオテキスタイル 単位面積質量・60g/m²以上・() 厚さ(mm)・0.5～1.0・() 引張強さ・98N/5cm (10kgf/5cm)以上・() 透水係数・1.5×10⁻¹cm/sec以上・() 路床土の支持力比(CBR)試験※行う・行わない 路床の締固め度の試験※行う・行わない 現場CBR試験※行う・行わない</div></div>	種別	材料	厚さ(mm)	・盛土	・A種・B種・C種・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	※図示・	・凍上抑制層	※再生クラッシャーラン G ・クラッシャーラン・切込み砂利・砂	※図示・	・フィルター層	・砂・	※図示・	・ブロック系舗装	<div>(22.8.2、3)</div> <table><tr><th>舗装</th><th>種類</th><th>寸法(mm)</th><th>厚さ(mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>・コンクリート 平板舗装</td><td>※普通平板(N) ・透水平板(P) ・保水性平板(M)</td><td>※300角・</td><td>※60・</td><td>目地材 ※砂・モルタル クッション材 ※砂・空練りモルタル 表面加工 ・研ぎ出し・洗い出し ・たたき出し</td></tr><tr><td>・インターロッキング ブロック舗装</td><td>※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)</td><td></td><td>車道部 ※80・ 歩道部 ※60・</td><td>曲げ強度(N/mm²) 車道部 ※5.0・ 歩道部 ※3.0・ 着色及び表面加工 ※標準品・</td></tr><tr><td>・舗石舗装</td><td>※小舗石(花崗岩)・ 形状・角石 ・板石・割石</td><td></td><td></td><td>施工方法 ※うろこ張り・ クッション材 ※砂・空練りモルタル 基層及び厚さ・コンクリート版 ※70mm ・アスファルト混合物 ※50mm</td></tr></table> <div>コンクリート平板舗装の普通平板は、再生材料を用いた舗装用ブロック G とし、 透水平板は透水性コンクリート G とする。 インターロッキングブロック舗装の普通ブロックは、再生材料を用いた舗装用ブロック G とし、 透水性ブロックは透水性コンクリート G とする。 ただし、調達困難な場合は監督員と協議を行うものとする。 仕上り面の平坦性 ※歩行に支障のある段差がないものとし、舗装材の段差は3mm以内とする。</div>	舗装	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考	・コンクリート 平板舗装	※普通平板(N) ・透水平板(P) ・保水性平板(M)	※300角・	※60・	目地材 ※砂・モルタル クッション材 ※砂・空練りモルタル 表面加工 ・研ぎ出し・洗い出し ・たたき出し	・インターロッキング ブロック舗装	※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)		車道部 ※80・ 歩道部 ※60・	曲げ強度(N/mm ²) 車道部 ※5.0・ 歩道部 ※3.0・ 着色及び表面加工 ※標準品・	・舗石舗装	※小舗石(花崗岩)・ 形状・角石 ・板石・割石			施工方法 ※うろこ張り・ クッション材 ※砂・空練りモルタル 基層及び厚さ・コンクリート版 ※70mm ・アスファルト混合物 ※50mm	・屋上緑化 G	<div>植栽基盤及び材料<div>(23.5.2～4)</div><div>・屋上緑化システム 土壌層の厚さ・図示・() 排水層・軽量骨材(層の厚さ:・)・板状成形品 植込み用土 ※改良土・人工軽量土 樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等 ※図示・() 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示・() 工法 1章 適用区分による風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 支柱・設置する(形式・図示・) かん水装置・設置する(種類、工事区分・図示・)</div></div>					
		種別	材料	厚さ(mm)																																								
		・盛土	・A種・B種・C種・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	※図示・																																								
		・凍上抑制層	※再生クラッシャーラン G ・クラッシャーラン・切込み砂利・砂	※図示・																																								
		・フィルター層	・砂・	※図示・																																								
		舗装	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考																																						
		・コンクリート 平板舗装	※普通平板(N) ・透水平板(P) ・保水性平板(M)	※300角・	※60・	目地材 ※砂・モルタル クッション材 ※砂・空練りモルタル 表面加工 ・研ぎ出し・洗い出し ・たたき出し																																						
		・インターロッキング ブロック舗装	※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)		車道部 ※80・ 歩道部 ※60・	曲げ強度(N/mm ²) 車道部 ※5.0・ 歩道部 ※3.0・ 着色及び表面加工 ※標準品・																																						
		・舗石舗装	※小舗石(花崗岩)・ 形状・角石 ・板石・割石			施工方法 ※うろこ張り・ クッション材 ※砂・空練りモルタル 基層及び厚さ・コンクリート版 ※70mm ・アスファルト混合物 ※50mm																																						
		・路盤	<div>路盤の厚さ ※図示・()<div>(22.3.2、3)(表22.3.1)</div>路盤材料・クラッシャーラン・粒度調整砕石・再生粒度調整砕石 G ・再生クラッシャーラン G・クラッシャーラン鉄鋼スラグ G ・粒度調整鉄鋼スラグ G・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G</div>	・砂利敷き	種別 <div>(22.9.2)</div> <div>・A種(施工範囲:・図示・通路・) ・B種(施工範囲:・図示・建物周囲その他・)</div>																																							
・アスファルト舗装	<div>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示・()<div>(22.4.2～6)(表22.4.4)</div>材料及び種類 アスファルト・再生アスファルト G(・60～80・80～100)・ストレートアスファルト 骨材 ※道路用砕石・アスファルトコンクリート再生骨材 G 加熱アスファルト混合物等の種類</div> <table><tr><th>区分</th><th>種類</th></tr><tr><td>表層</td><td>※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ・密粒度アスファルト混合物(13F)</td></tr></table> <div>アスファルト混合物等の抽出試験・行う・行わない 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度・()</div>	区分	種類	表層	※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ・密粒度アスファルト混合物(13F)	・路面標示用塗料	JAS K 5665(路面標示用塗料)による <table><tr><th>種類</th><th>施工</th><th>適用</th><th>色</th><th>幅(mm)</th><th>塗布厚さ(mm)</th></tr><tr><td>・1種 G</td><td>常温</td><td rowspan="2">液状</td><td rowspan="2">※白・</td><td rowspan="2">・150 ・100</td><td rowspan="2">※1.0・</td></tr><tr><td>・2種 G</td><td>加熱</td></tr><tr><td>※3種1号</td><td>熔融</td><td>粉体状</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料 G	種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)	・1種 G	常温	液状	※白・	・150 ・100	※1.0・	・2種 G	加熱	※3種1号	熔融	粉体状																				
区分	種類																																											
表層	※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ・密粒度アスファルト混合物(13F)																																											
種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)																																							
・1種 G	常温	液状	※白・	・150 ・100	※1.0・																																							
・2種 G	加熱																																											
※3種1号	熔融	粉体状																																										
・コンクリート舗装	<div>コンクリート舗装の構成及び厚さ<div>(22.5.2～4)(表22.5.1、3)</div><table><tr><th>部位</th><th>構成</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td>車路及び駐車場</td><td>・(9-21-2)・図示・() ・(9-22-2)・図示・()</td><td>・図示・150・() ・図示・70・()</td></tr><tr><td>歩行者用通路</td><td>・(9-22-2)・図示・()</td><td>・図示・70・()</td></tr></table>材料 普通コンクリート・標準仕様書 表22.5.1による 早強ポルトランドセメント ※使用しない・使用する 目地 種類、間隔、構造 ※標準仕様書 表22.5.3及び図22.5.1による・図示 注入目地材料 ※低弾性タイプ・高弾性タイプ 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度・() カラー舗装の構成及び厚さ<div>(22.6.2～4)</div><table><tr><th></th><th>舗装の種類</th><th>部位</th><th>構成</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td rowspan="2">※加熱系</td><td rowspan="2">※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物</td><td>車路及び駐車場</td><td>・図示・() ・図示・()</td><td>・図示・50 ・図示・30</td></tr><tr><td>歩行者用通路</td><td>・図示・() ・ニート工法</td><td></td></tr><tr><td>※常温系</td><td>・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装</td><td></td><td>・ニート工法 ・塗布工法</td><td></td></tr></table>加熱系混合物に添加する材料・着色骨材・自然石 配合 加熱系混合物の結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量・() ニート工法及び塗布工法の配合等・() 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度・() 加熱系アスファルト混合物の抽出試験・行う・行わない</div>	部位	構成	厚さ(mm)	車路及び駐車場	・(9-21-2)・図示・() ・(9-22-2)・図示・()	・図示・150・() ・図示・70・()	歩行者用通路	・(9-22-2)・図示・()	・図示・70・()		舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)	※加熱系	※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	車路及び駐車場	・図示・() ・図示・()	・図示・50 ・図示・30	歩行者用通路	・図示・() ・ニート工法		※常温系	・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装		・ニート工法 ・塗布工法		・植栽地の確認等	土壌の水素イオン濃度指数(pH)試験・行う・行わない <div>(23.1.3)</div> <div>電気伝導度(EC)の試験・行う・行わない</div>														
部位	構成	厚さ(mm)																																										
車路及び駐車場	・(9-21-2)・図示・() ・(9-22-2)・図示・()	・図示・150・() ・図示・70・()																																										
歩行者用通路	・(9-22-2)・図示・()	・図示・70・()																																										
	舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)																																								
※加熱系	※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	車路及び駐車場	・図示・() ・図示・()	・図示・50 ・図示・30																																								
		歩行者用通路	・図示・() ・ニート工法																																									
※常温系	・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装		・ニート工法 ・塗布工法																																									
・カラー舗装	<div>カラー舗装の構成及び厚さ<div>(22.6.2～4)</div><table><tr><th></th><th>舗装の種類</th><th>部位</th><th>構成</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td rowspan="2">※加熱系</td><td rowspan="2">※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物</td><td>車路及び駐車場</td><td>・図示・() ・図示・()</td><td>・図示・50 ・図示・30</td></tr><tr><td>歩行者用通路</td><td>・図示・() ・ニート工法</td><td></td></tr><tr><td>※常温系</td><td>・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装</td><td></td><td>・ニート工法 ・塗布工法</td><td></td></tr></table>加熱系混合物に添加する材料・着色骨材・自然石 配合 加熱系混合物の結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量・() ニート工法及び塗布工法の配合等・() 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度・() 加熱系アスファルト混合物の抽出試験・行う・行わない</div>		舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)	※加熱系	※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	車路及び駐車場	・図示・() ・図示・()	・図示・50 ・図示・30	歩行者用通路	・図示・() ・ニート工法		※常温系	・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装		・ニート工法 ・塗布工法		・植栽基盤の整備	<div>(23.2.2、4)</div> <table><tr><th>植栽</th><th>工法</th><th>有効土層の厚さ(cm)</th><th>整備範囲</th><th>土壌改良材</th></tr><tr><td rowspan="4">・樹木</td><td>※A種</td><td>樹高12m以上 (※100・120・150)</td><td rowspan="4">・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示</td><td rowspan="4">・適用する</td></tr><tr><td>・B種</td><td>樹高7m以上12m未満 (※80・100)</td></tr><tr><td>・C種</td><td>樹高3m以上7m未満 (※60・80)</td></tr><tr><td>・D種</td><td>樹高3m未満 (※50・60)</td></tr><tr><td>※芝、地被類</td><td>※B種・</td><td>※20・</td><td>・植栽部分 ・図示</td><td>・適用する</td></tr></table> 植栽基盤の排水設備・設ける(※図示・)・設けない	植栽	工法	有効土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材	・樹木	※A種	樹高12m以上 (※100・120・150)	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示	・適用する	・B種	樹高7m以上12m未満 (※80・100)	・C種	樹高3m以上7m未満 (※60・80)	・D種	樹高3m未満 (※50・60)	※芝、地被類	※B種・	※20・	・植栽部分 ・図示	・適用する		
	舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)																																								
※加熱系	※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	車路及び駐車場	・図示・() ・図示・()	・図示・50 ・図示・30																																								
		歩行者用通路	・図示・() ・ニート工法																																									
※常温系	・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装		・ニート工法 ・塗布工法																																									
植栽	工法	有効土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材																																								
・樹木	※A種	樹高12m以上 (※100・120・150)	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示	・適用する																																								
	・B種	樹高7m以上12m未満 (※80・100)																																										
	・C種	樹高3m以上7m未満 (※60・80)																																										
	・D種	樹高3m未満 (※50・60)																																										
※芝、地被類	※B種・	※20・	・植栽部分 ・図示	・適用する																																								
・透水性 アスファルト舗装	<div>透水性アスファルト舗装の構成及び厚さ・図示・()<div>(22.7.2、3、6)</div>材料 骨材・道路用砕石・アスファルトコンクリート再生骨材 G 試験 開粒度アスファルト混合物の抽出試験・行う・行わない 舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの・()</div>	・植込み用土	※現場発生土の良質土・客土 <div>(23.2.3)</div>	種別及び指定量等 ・パーク堆肥 G 施工箇所 ※植栽範囲・図示 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり(・50L・) ・汚泥発酵肥料(下水汚泥コンポスト) G 施工箇所 ※植栽範囲・図示 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり(・10L・) 材料 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする																																								
		・樹木	樹種、寸法、株立数等 ※図示・() <div>(23.3.2)</div>																																									
		・支柱	支柱材 ※丸太(間伐材) G ・真竹 <div>(23.3.2、3)</div> <div>防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材・() 形式・図示・()</div>																																									
		・幹巻き用材料	※幹巻き用テープ・わら及びこも <div>(23.3.2)</div>																																									
		・芝	種類 ※コウライシバ・ノシバ・() <div>(23.4.2、3)</div> <div>芝張りの工法 平地 ※目地張り・べた張り 法面・目地張り ※べた張り</div>																																									
		・吹付けは種	<div>(23.4.2)</div> <table><tr><th>種子の種類</th><th>発芽率</th><th>種子の量(g/㎡)</th><th>備考</th></tr><tr><td>※洋芝類(採取後2年以内)</td><td>80%以上</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種子の種類	発芽率	種子の量(g/㎡)	備考	※洋芝類(採取後2年以内)	80%以上			・																																
種子の種類	発芽率	種子の量(g/㎡)	備考																																									
※洋芝類(採取後2年以内)	80%以上																																											
・																																												
		・地被類	<div>(23.4.2)</div> <table><tr><th>樹種</th><th>コンテナ径</th><th>単位面積あたりのコンテナ数</th><th>芽立数</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	樹種	コンテナ径	単位面積あたりのコンテナ数	芽立数	・				・																																
樹種	コンテナ径	単位面積あたりのコンテナ数	芽立数																																									
・																																												
・																																												
		・新植樹木、芝等の 枯補償、移植樹木 の枯損処置	新植樹木(芝張り、吹付けは種及び地被類を含む)の枯補償の期間 (23.3.4、6)(23.4.7)(23.5.5) ※引渡しの日から1年・無し・() 移植樹木の枯損処置を行う期間 ※引渡しの日から1年・無し・()																																									

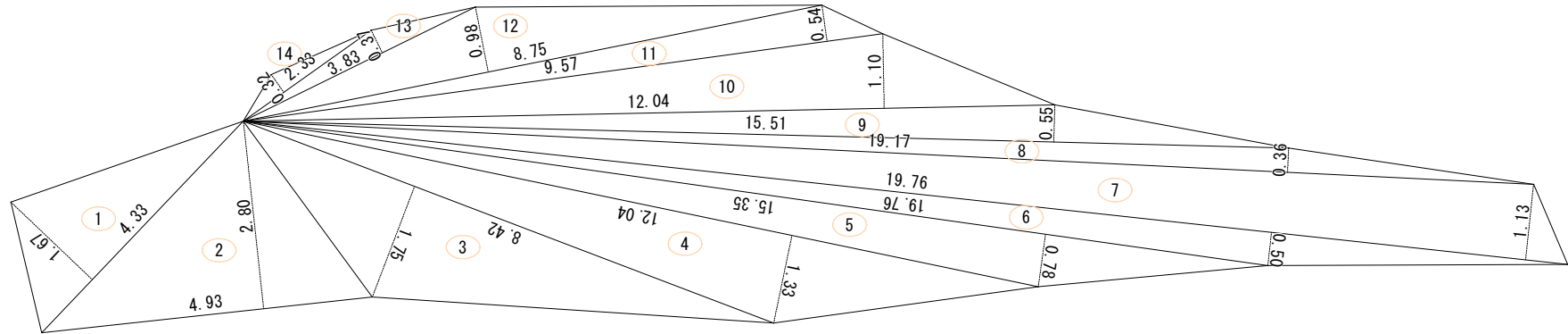
特記仕様書(建築工事編)(11)		令和4年度版 高知県土木部建築課	
株式会社 SUBMITTED BY	一級建築士事務所 高知良知事 登録 第19号 上田建築事務所 令和6年10月 一級建築士登録 第312929号 上田博史		
		令和6年度にこ淵公衆トイレ新設工事 令和5年7月改正	A-11

設計概要			
工事名称	令和6年度にこ淵公衆トイレ新設工事	居室の床の高さ	設計GL±0
工事場所	高知県吾川郡いの町清水上分921付近	最高の高さ	設計GL+ 3,035
敷地面積	70.27 m ²	最高の軒の高さ	設計GL+ 2,330
用途地域	都市計画区域外	建築面積	25.41㎡
防火地域	指定なし	延床面積	25.21㎡
用途	公衆トイレ	建ぺい率	36.17%
構造	鉄筋コンクリート造（躯体）、木造（屋根）	容積率	35.88%
階数	平屋建て		

附近見取図

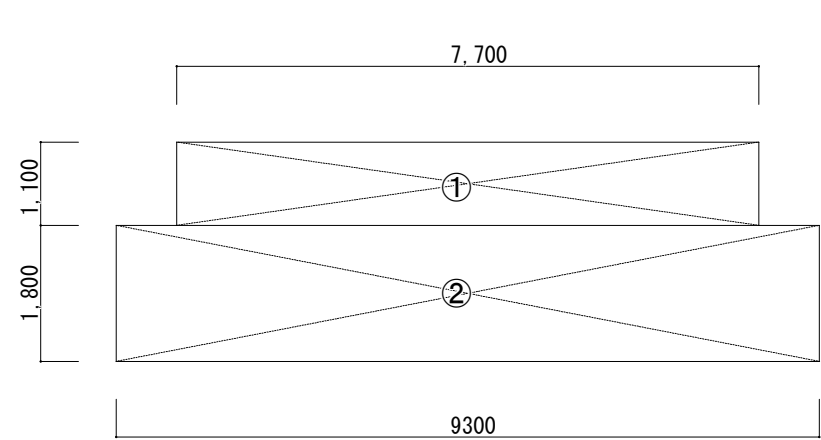


面積算定図

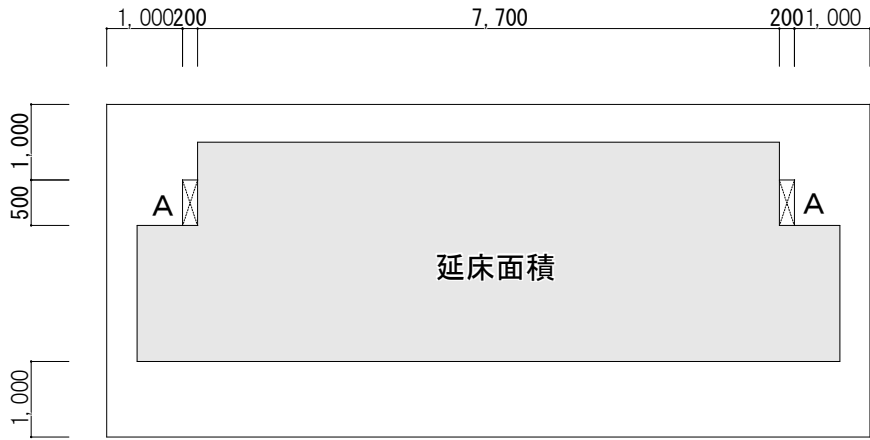


敷地面積算定図 1/100

敷地面積				
番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	4.33	1.67	7.2311	3.61555
2	4.93	2.80	13.8040	6.90200
3	8.42	1.75	14.7350	7.36750
4	12.04	1.33	16.0132	8.00660
5	15.35	0.78	11.9730	5.98650
6	19.76	0.50	9.8800	4.94000
7	19.76	1.13	22.3288	11.16440
8	19.17	0.36	6.9012	3.45060
9	15.51	0.55	8.5305	4.26525
10	12.04	1.10	13.2440	6.62200
11	9.57	0.54	5.1678	2.58390
12	8.75	0.98	8.5750	4.28750
13	3.83	0.37	1.4171	0.70855
14	2.33	0.32	0.7456	0.37280
計				70.27315
敷地面積				70.27㎡



延床面積算定図 1/100



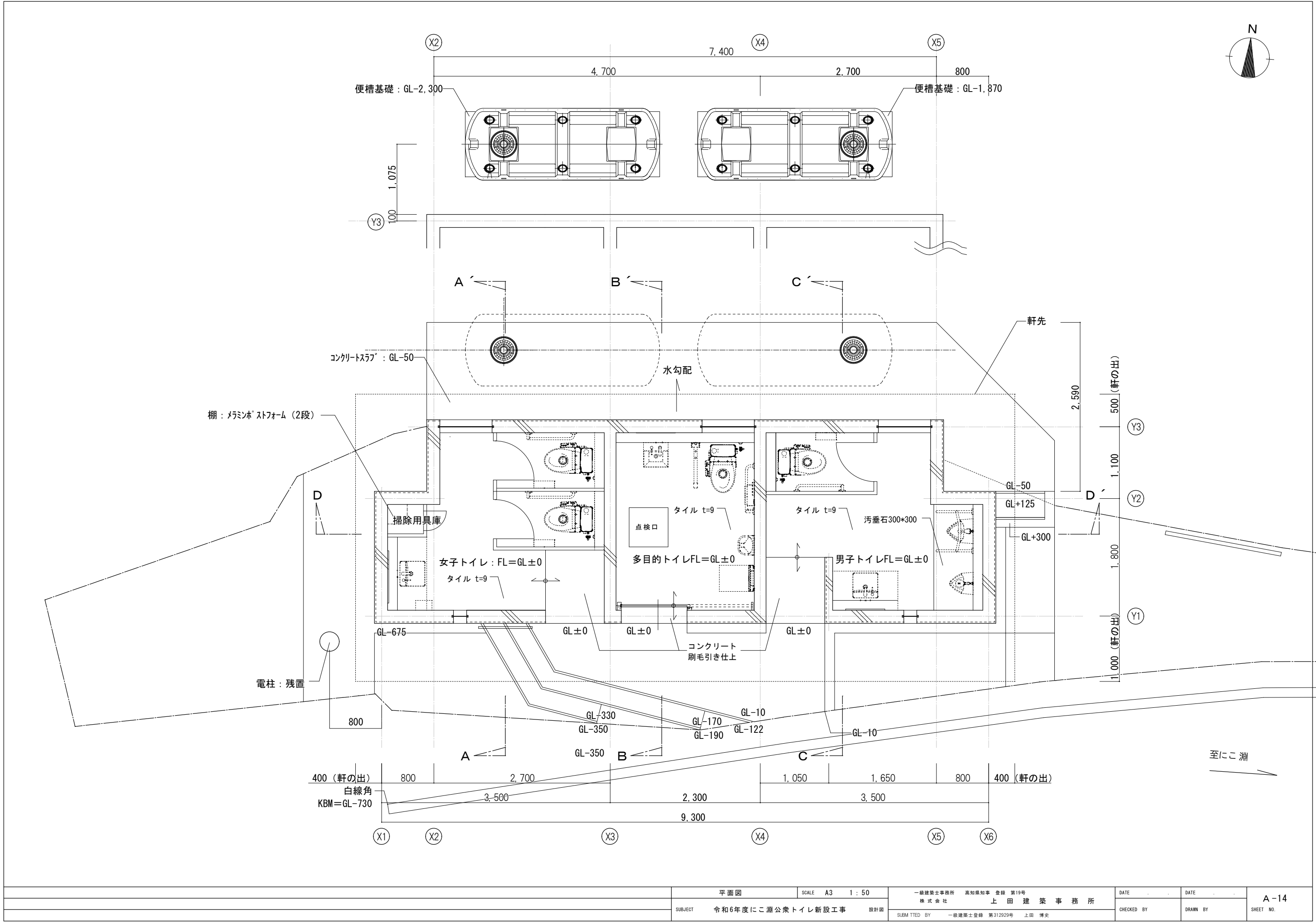
建築面積算定図 1/100

延床面積		
記号	計算式	面積
1	7.700×1.100	8.470
2	9.300×1.800	16.740
計		25.210
延床面積		25.21㎡

建築面積		
記号	計算式	面積
A	0.200×0.500×2	0.200
計	A×2+延床面積	25.410
建築面積		25.41㎡

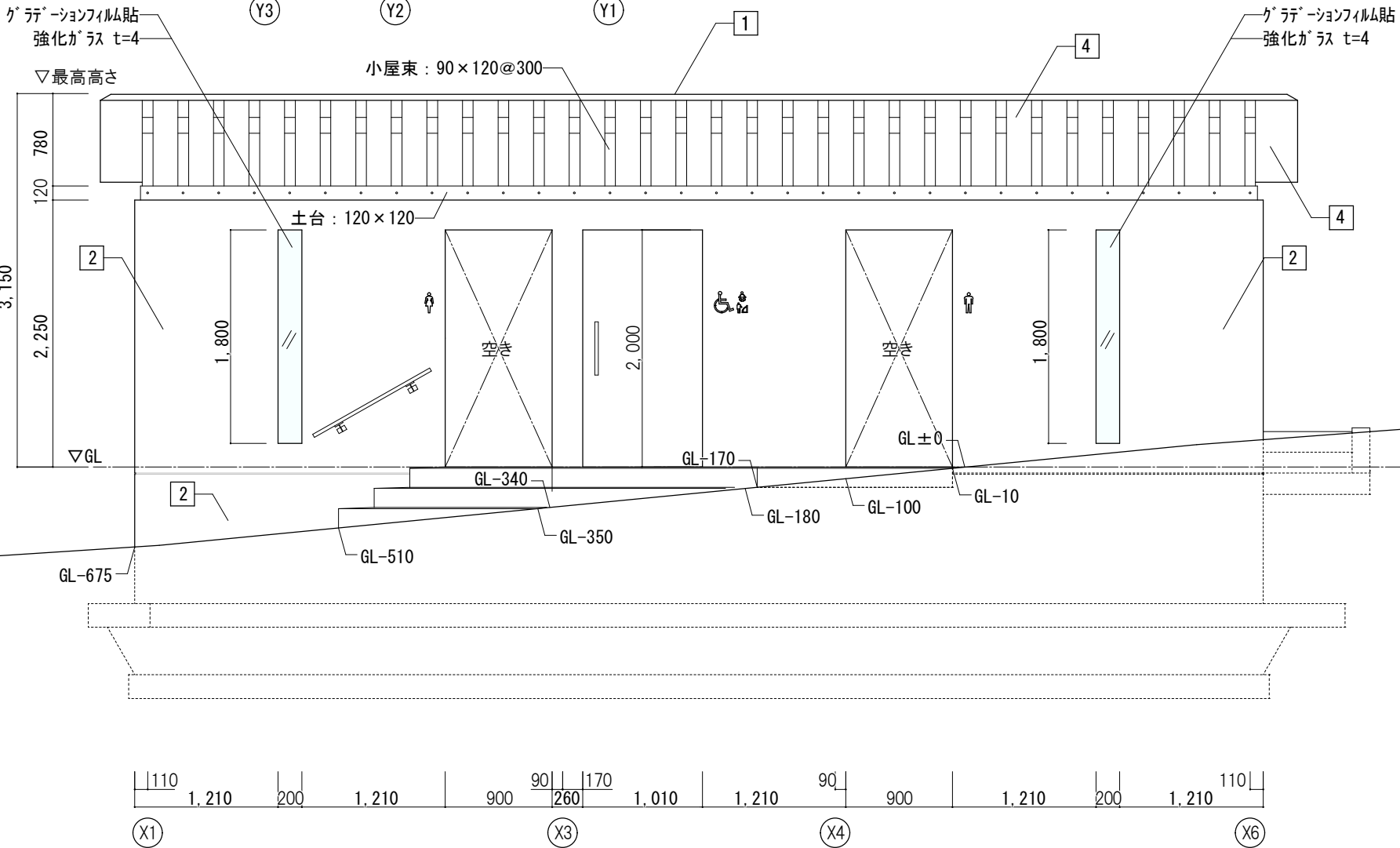
外 部 仕 上 表			
部 位	仕 様		
屋 根	①	仕上	ガルバリウム鋼板 t=0.4 縦ハゼ葺き 軒先：唐草
		下地	下葺材：改質アスファルトフィング、構造用合板t=12 野母屋：杉45×45@300、野地板：桧縁甲板 t=12（化粧見出し） 垂木：桧90×120@300（化粧見出し） 小屋束：桧90×120@300 土台・軒桁：桧120×120 勾配：1.5/10
外 壁	②	仕上	コンクリート打放し（塗装合板）撥水剤塗装
	③	仕上	コンクリート打放し（塗装合板）
軒 裏	④	仕上	野地板見出し

内 部 仕 上 表 ①										
室 名	床 仕 上		床 下 地	壁 仕 上		壁 下 地	面 台		天 井	備 考
女子トイレ	①	タイル t=9 （LIXIL：ALLES ALS-150/3同等）	モルタルt=40程度	③	コンクリート打放し（塗装合板）		⑤	メラミンポストフォーム t=20	垂木・野地板 見出し	鏡（建築工事） 600×1000 枠：2方アルミ片長チャンネル
	②	コンクリート刷毛引き仕上	モルタルt=40程度	④	タイル t=8.0 （LIXIL：LUNGO IM-1520P1/LUG-1同等）	GB-S t=12.5 構造用合板 t=15 LGC65				
多目的トイレ	①	タイル t=9 （LIXIL：ALLES ALS-150/3同等）	モルタルt=40程度	③	コンクリート打放し（塗装合板）		⑤	メラミンポストフォーム t=20	垂木・野地板 見出し	鏡（建築工事） 600×1000 枠：2方アルミ片長チャンネル
	②	コンクリート刷毛引き仕上	モルタルt=40程度	④	タイル t=8.0 （LIXIL：LUNGO IM-1520P1/LUG-1同等）	GB-S t=12.5 構造用合板 t=15 LGC65				
男子トイレ	①	タイル t=9 （LIXIL：ALLES ALS-150/3同等）	モルタルt=40程度	③	コンクリート打放し（塗装合板）		⑤	メラミンポストフォーム t=20	垂木・野地板 見出し	鏡（建築工事） 600×1000 枠：2方アルミ片長チャンネル
	①	汚垂石タイル t=9 （LIXIL：IPF-300/RSK-12W同等）	モルタルt=40程度	④	タイル t=8.0 （LIXIL：LUNGO IM-1520P1/LUG-1同等）	GB-S t=12.5 構造用合板 t=15 LGC65				
	②	コンクリート刷毛引き仕上	モルタルt=40程度							



平面図		SCALE A3 1 : 50	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田建築事務所	DATE	DATE	A-14 SHEET NO.
SUBJECT 令和6年度にご淵公衆トイレ新設工事 設計図			SHEETED BY 一級建築士登録 第312929号 上田 博史		CHECKED BY	
					DRAWN BY	

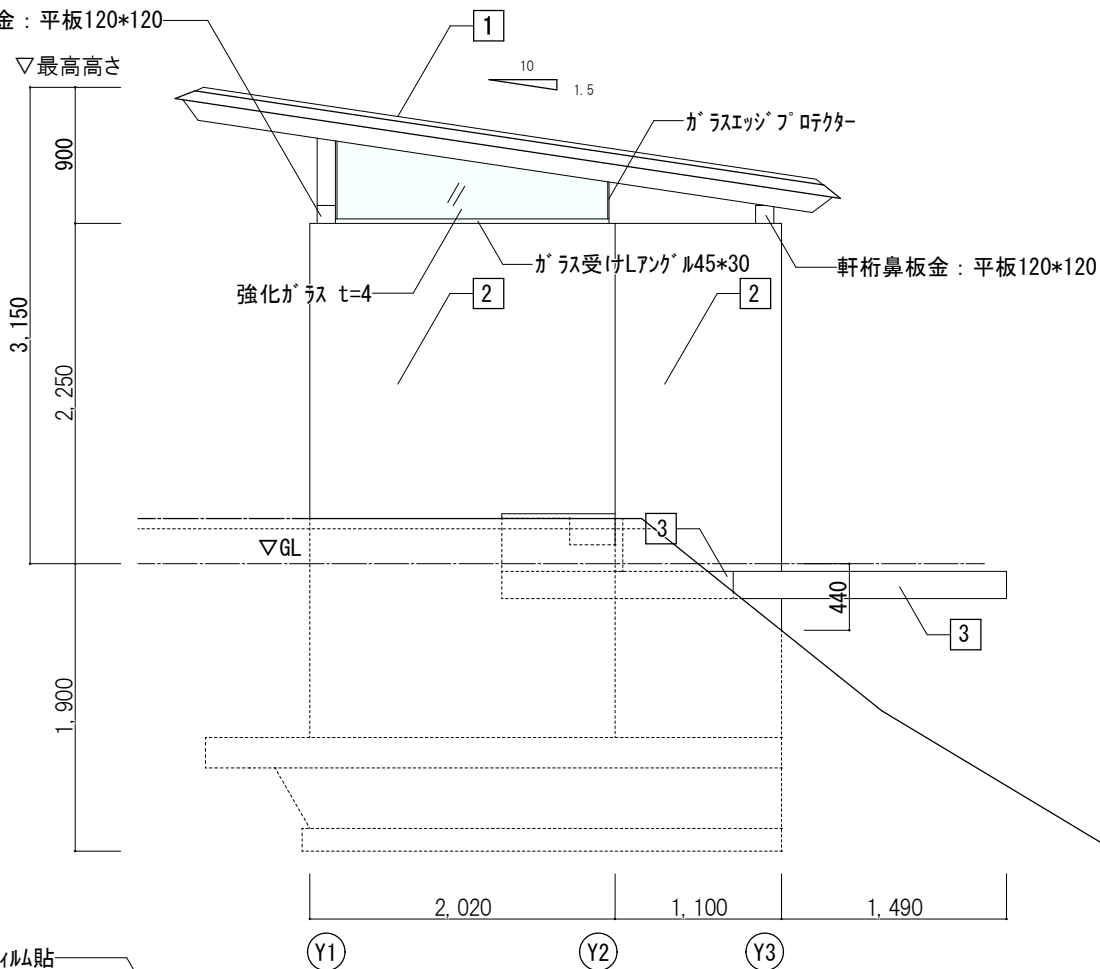
西立面图



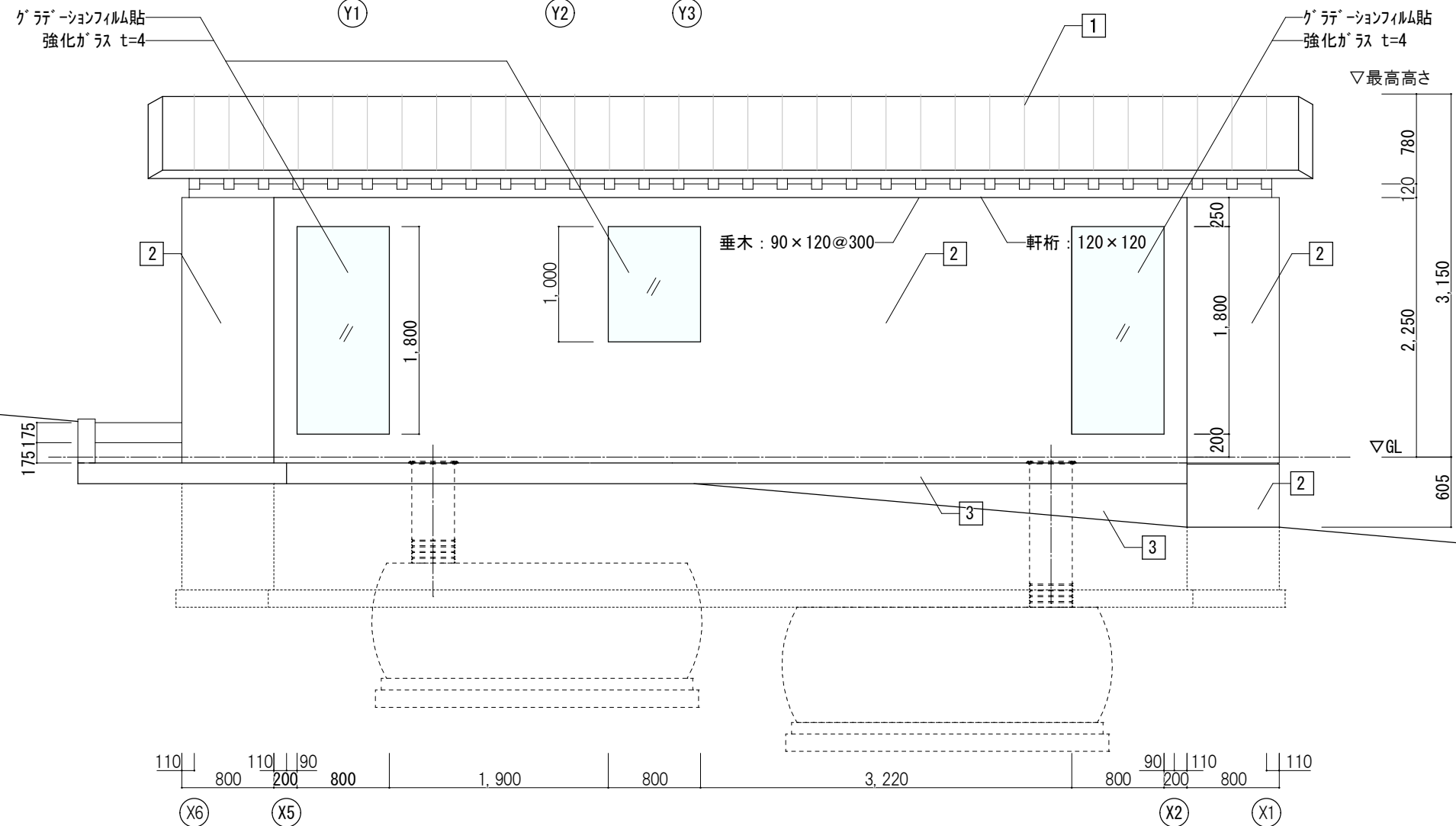
南立面图

外 部 仕 上 表			
部 位		仕 様	
屋 根	①	仕上	ガルバリウム鋼板 t=0.4 縦ハゼ 葺き 軒先：唐草
		下地	下葺材：改質アスファルトフィング、構造用合板t=12 野母屋：杉45×45@300、野地板：桧縁甲板 t=12.5（化粧見出し） 垂木：90×120@300（化粧見出し） 小屋束：90×120@300 土台・軒桁：120×120 勾配：1.5/10
外 壁	②	仕上	コンクリート打放し（塗装合板）撥水剤塗装
	③	仕上	コンクリート打放し（塗装合板）
軒 裏	④	仕上	野地板見出し

東立面図

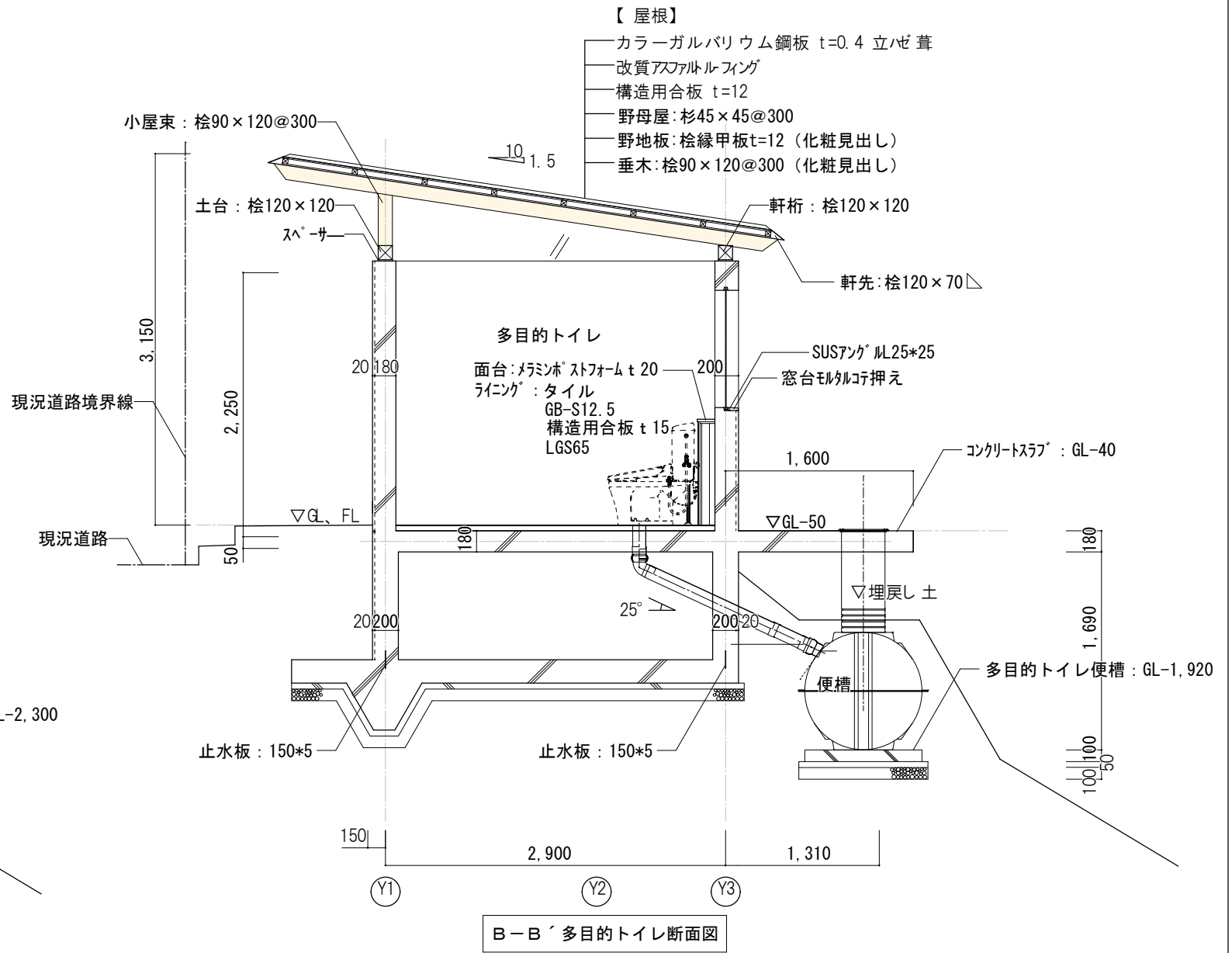
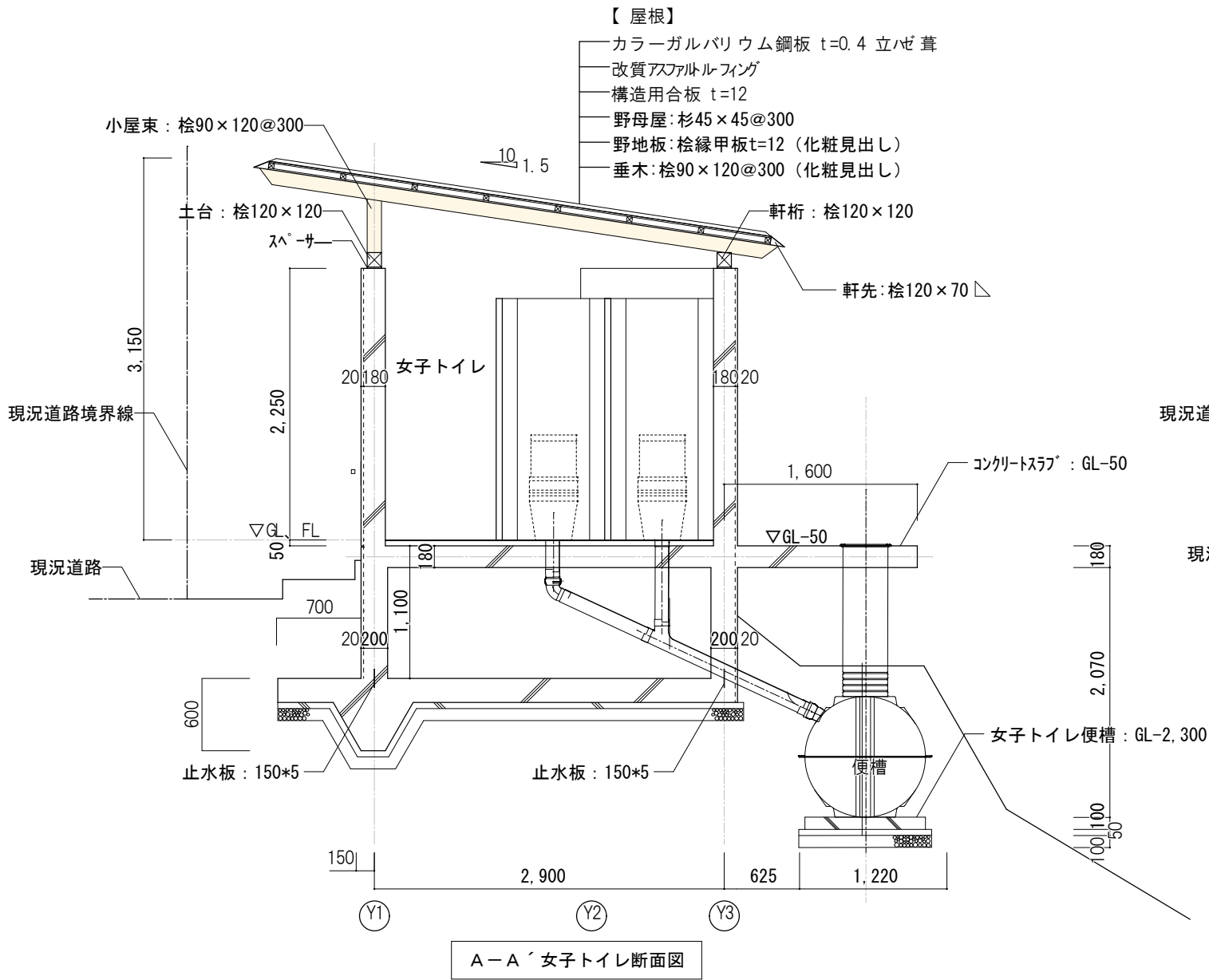


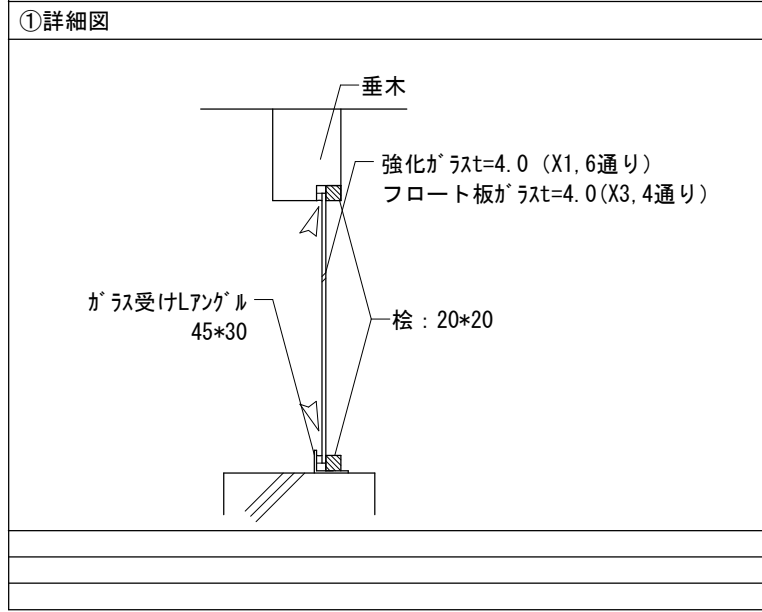
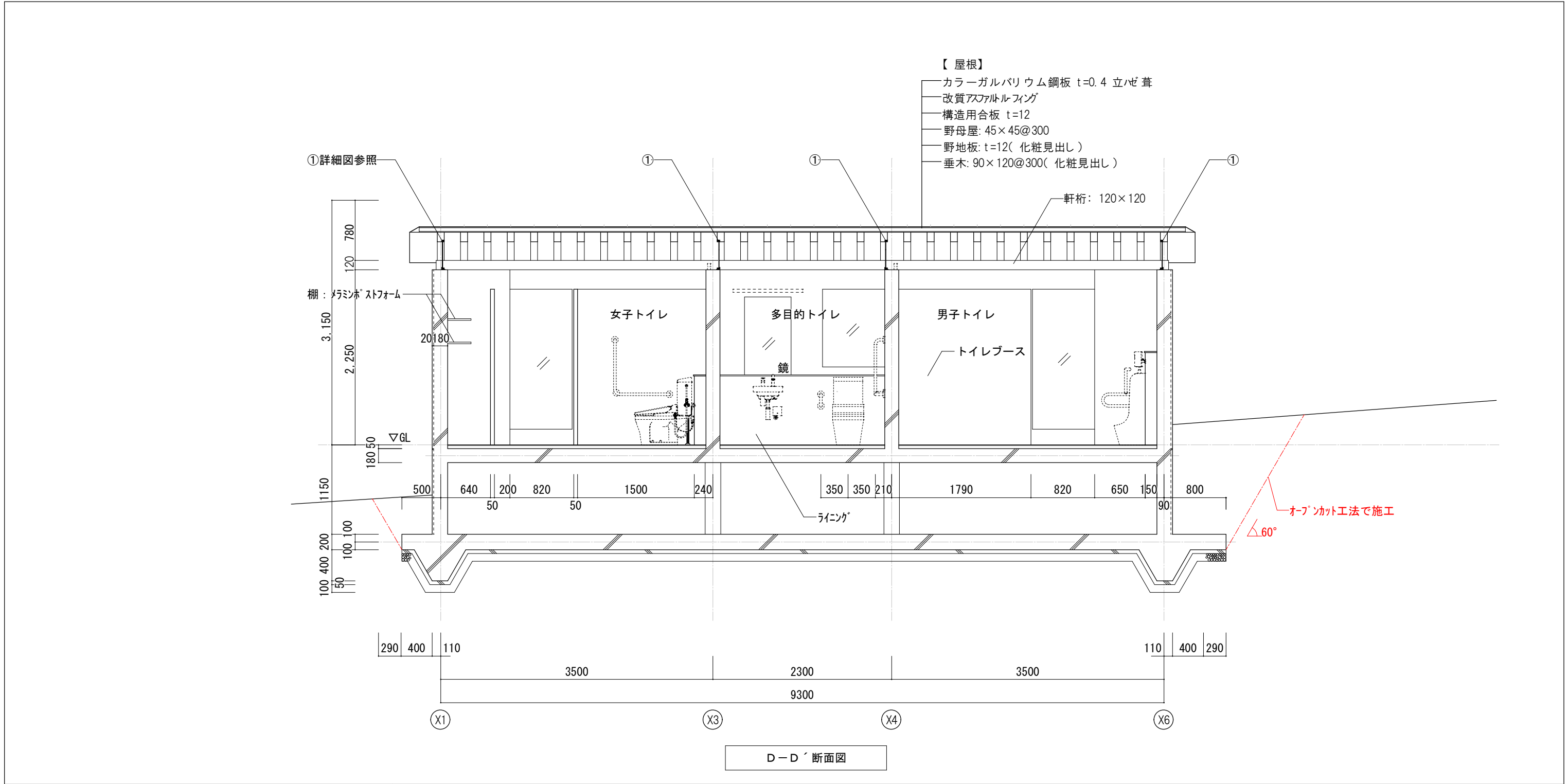
北立面图

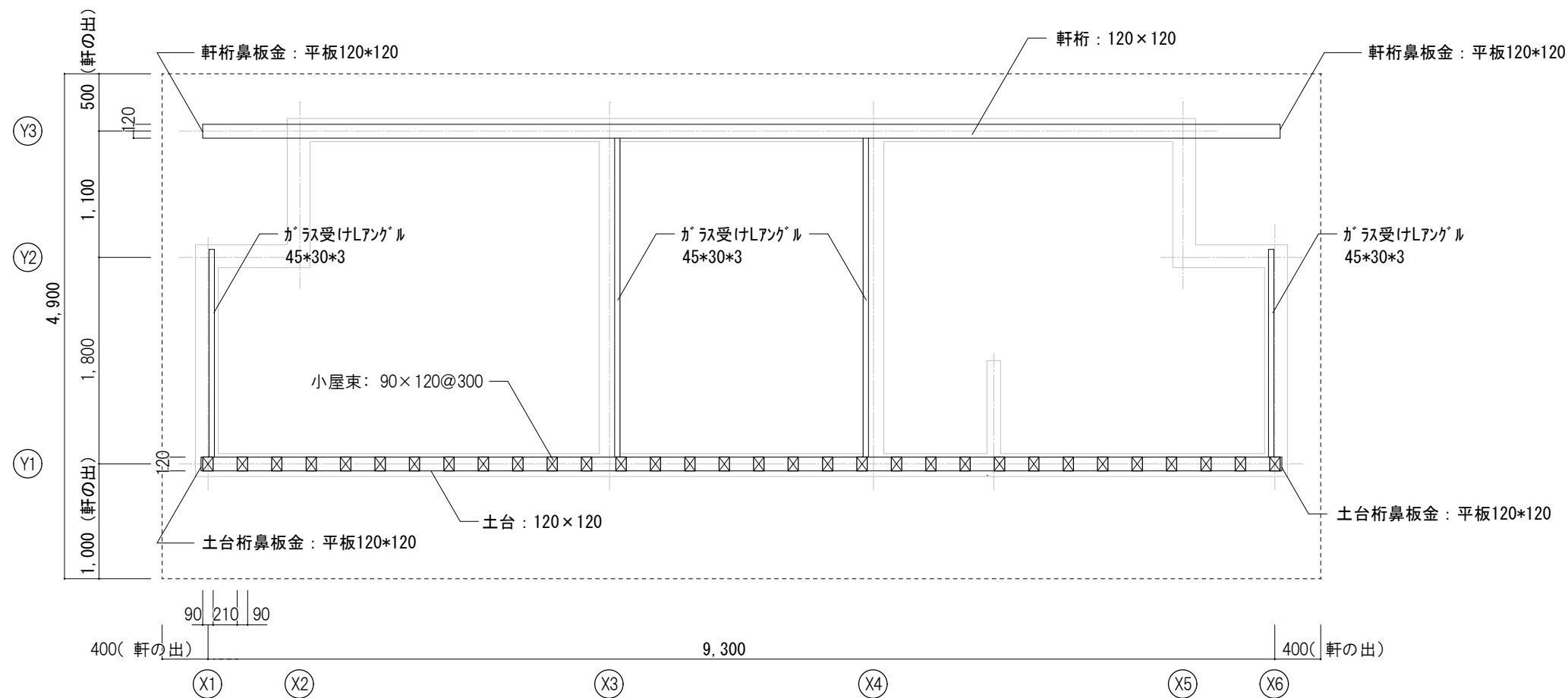
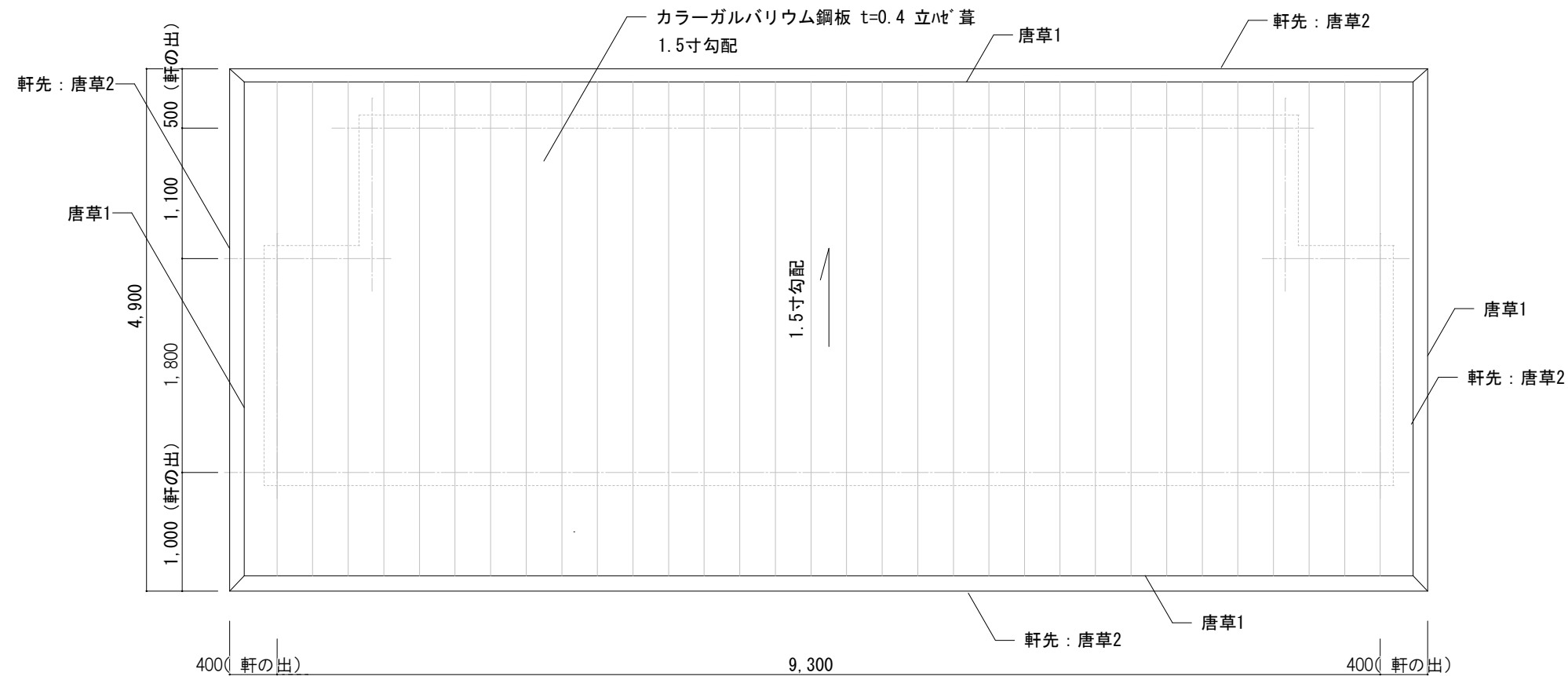


外部仕上表

部 位	仕 様		
屋 根	①	仕上	ガルバリウム鋼板 t=0.4 縦ハゼ 葺き 軒 先：唐 草
		下地	下葺材：改質アスファルトフィング、構造用合板t=12 野母屋：杉45×45@300、野地板：桧縁甲板 t=12.5（化粧見出し） 垂木：90×120@300（化粧見出し） 小屋束：90×120@300 土台・軒桁：120×120 勾 配：1.5/10
外 壁	②	仕上	コンクリート打放し（塗装合板）撥水剤塗装
	③	仕上	コンクリート打放し（塗装合板）
軒 裏	④	仕上	野地板見出し







※木材は特記なき限り杉：特一等とする

軒先詳細図 1/10

【 屋根】

仕上：カラーガルバリウム鋼板 t=0.4 立ハゼ葺

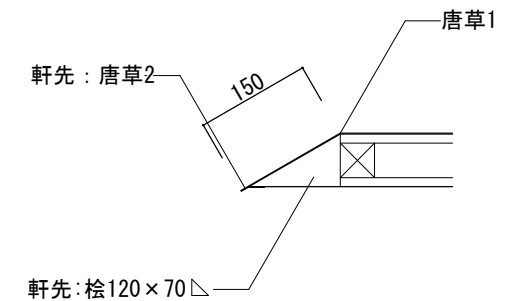
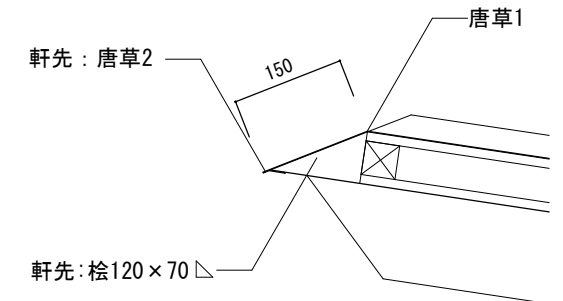
下地：改質アスファルトフイング

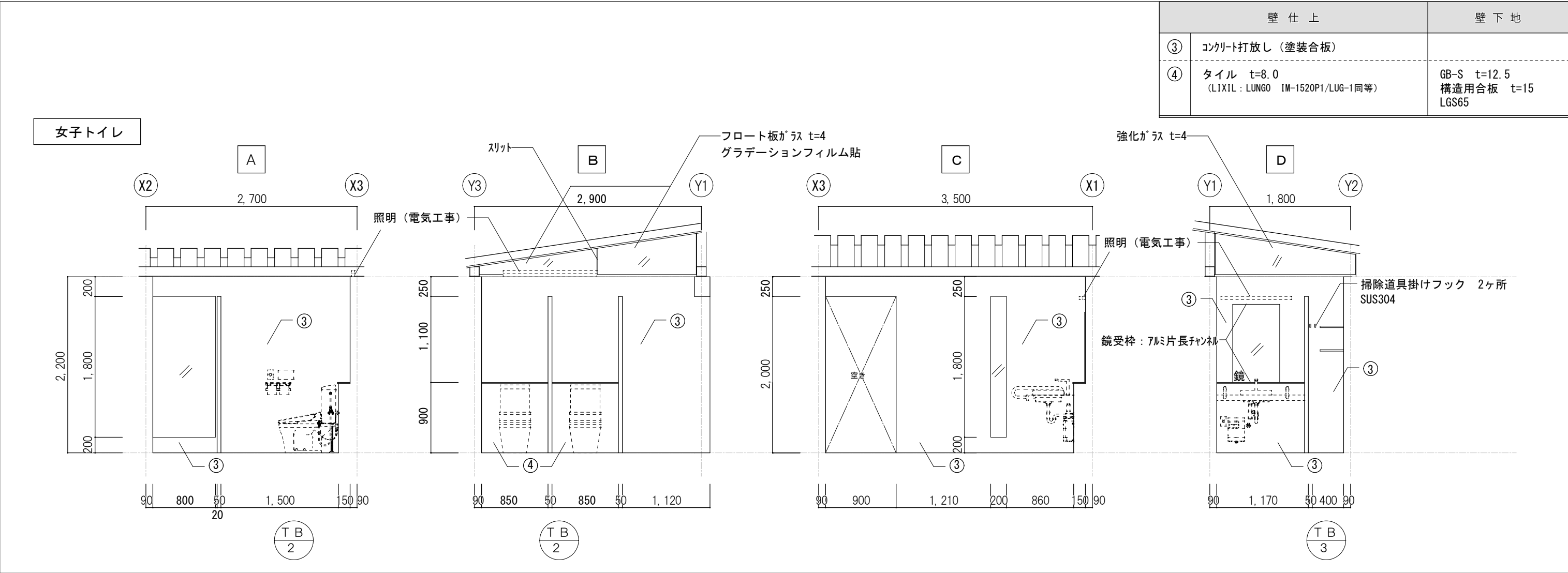
構造用合板 $t=12$

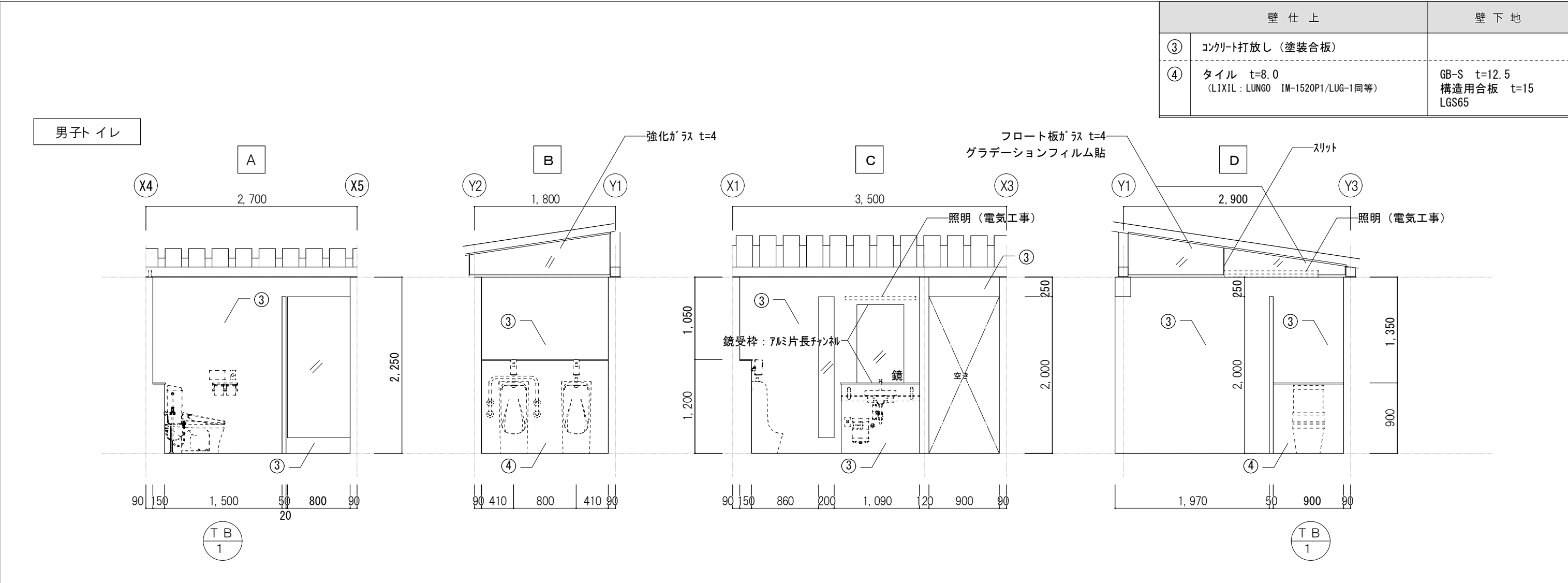
野母屋:杉45×45@300

野地板:桧縁甲板 $t=12$ (化粧見出し)

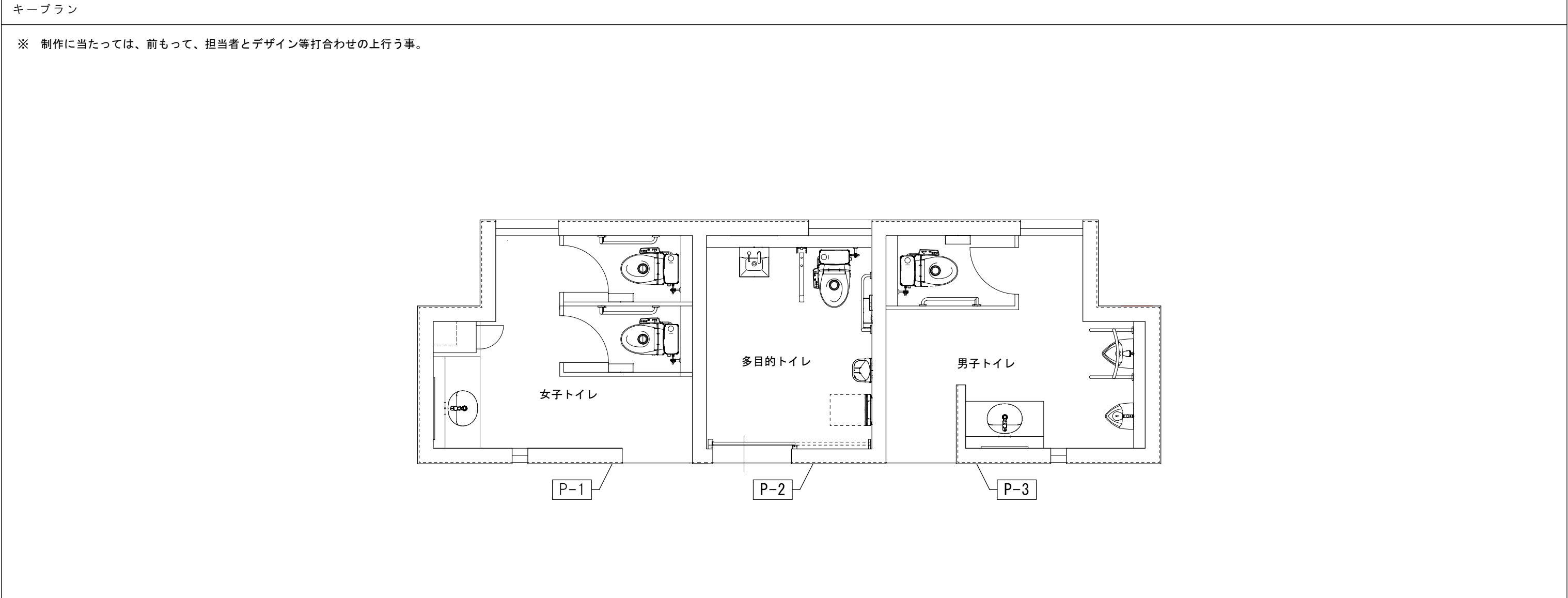
垂木: 桧90×120@300 (化粧見出し)



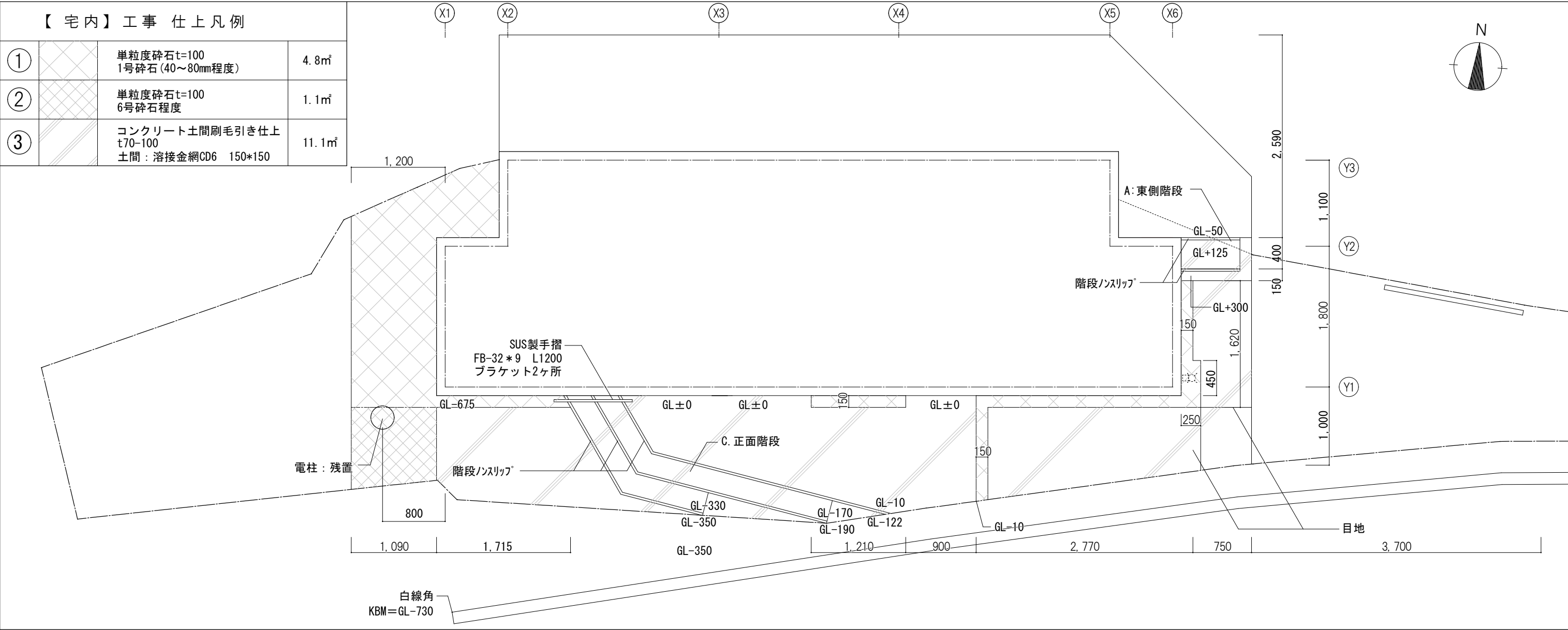




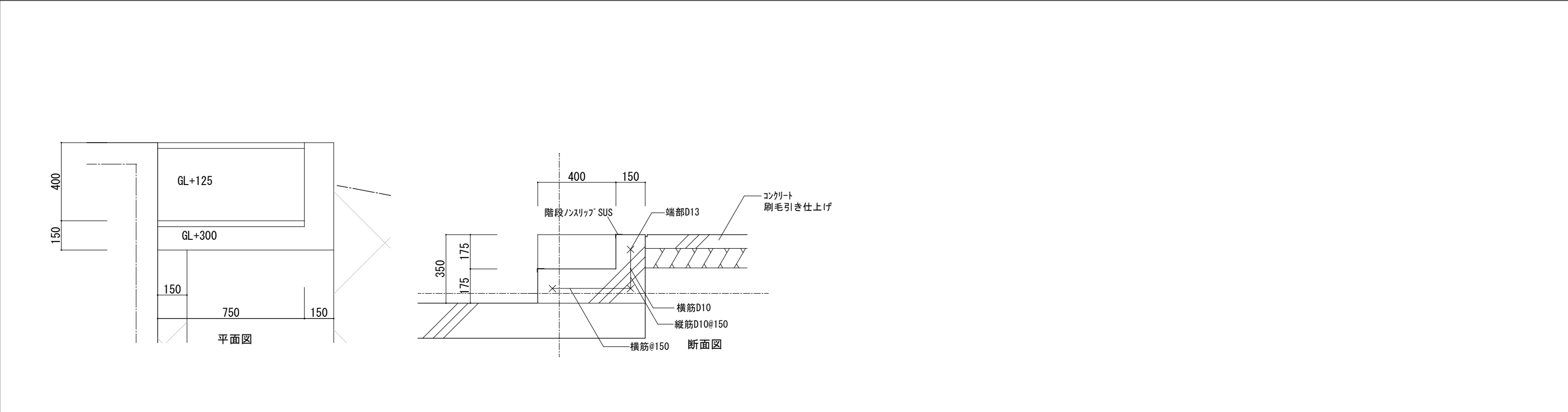
建具工事特記仕様書			キープラン											
<div>共通事項</div> <div>1) 制作に当たっては、前もって、担当者と 打合わせの上行う 事。</div> <div>2) 金物は見本品提出の上決定する。 (程度については指定金物同等品以上とする。)</div> <div>3) 表面仕上材はF -★★★★認定品又は同等品を使用する事。</div> <div>4) 表面仕上材の塗装はF -★★★★認定品を使用する事。</div> <div>5) 上記以外の表面仕上材も 含む。</div> <div>記号</div> <div>SD …鋼製扉</div> <div>TB …ト イレ ブース</div>														
符号	場所	数量	SD 1	多 目 的 ト イ レ 入 出 口	1	TB 1	男 子 ト イ レ	1	TB 2	女 子 ト イ レ	3	TB 3	女 子 ト イ レ 掃 除 用 具 庫	1
枠	鋼製：亜鉛メッキ鋼板t1.6（防錆/焼付塗装）													
扉	鋼製 UC仕上 t=30				メラミン樹脂化粧板			メラミン樹脂化粧板			メラミン樹脂化粧板			
硝子	なし				なし			なし			なし			
構造形式	鋼製 自動閉鎖装置付片引戸（内部）面付けタイプ 扉：亜鉛メッキ鋼板t0.8（防錆/焼付塗装）				トイレブース 芯材：発泡ポリウレタン、SUS巾木 アルミ笠木（上部カバー）、ハネルt=40、エッジ（焼付塗装）			トイレブース 芯材：発泡ポリウレタン、SUS巾木 アルミ笠木（上部カバー）、ハネルt=40、エッジ（焼付塗装）			トイレブース 芯材：発泡ポリウレタン、SUS巾木 アルミ笠木（上部カバー）、ハネルt=40、エッジ（焼付塗装）			
金物	上吊引戸レール、引戸クローザー、サムターン表示錠 戸当、付属金物一式 SUS取手（丸喜金属 MDS-130 L600 HL同等）				付属金物一式			付属金物一式			付属金物一式			
					建具図		SCALE A3		一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株 式 会 社 上 田 建 築 事 務 所		DATE	DATE	A-23 SHEET NO.	
					SUBJECT 令和6年度にこ淵公衆トイレ新設工事		設計図		SHEETED BY 一級建築士登録 第312929号 上田 博史		CHECKED BY	DRAWN BY		



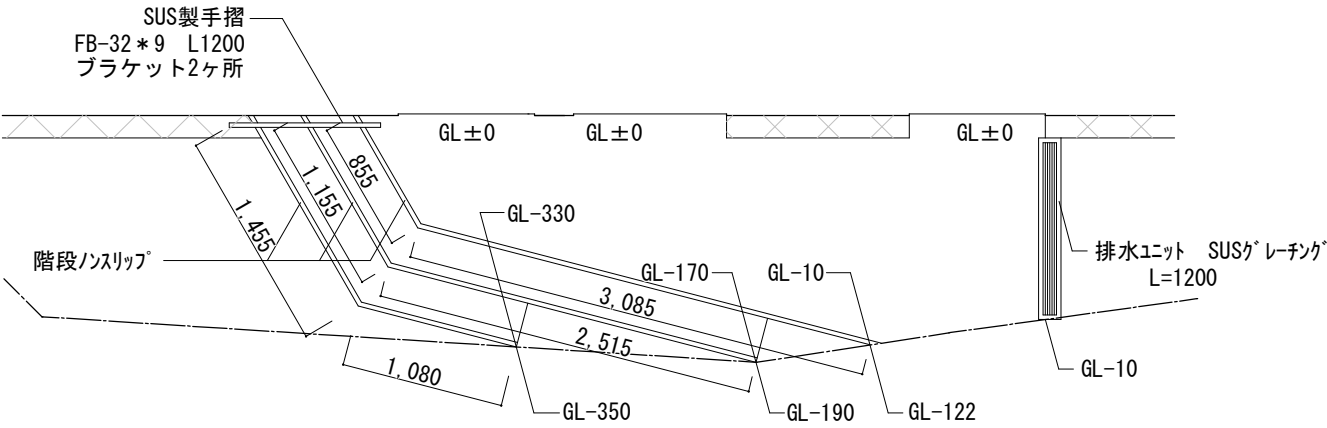
<div></div> 場所	数量	<div>P-1</div> 女子トイレ	1	<div>P-2</div> 多目的トイレ	1	<div>P-3</div> 男子トイレ	1				
仕様	SUS- t 5 切加工 焼付塗装			SUS- t 5 切加工 焼付塗装			SUS- t 5 切加工 焼付塗装				
	平付型			平付型			平付型				
	<div><div>170</div><div><div></div></div><div>72</div></div>			<div><div>180</div><div><div><div><div></div><div></div></div><div>163</div><div>30</div><div>86</div><div>85</div><div>10</div><div>85</div></div></div></div>			<div><div>170</div><div><div></div></div><div>72</div></div>				
				サイン図		SCALE A3 1 : 50		一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田 建築 事務所	DATE	DATE	A-24
				SUBJECT 令和6年度にご淵公衆トイレ新設工事 設計図		SUBMITTED BY 一級建築士登録 第312929号 上田 博史		CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.	



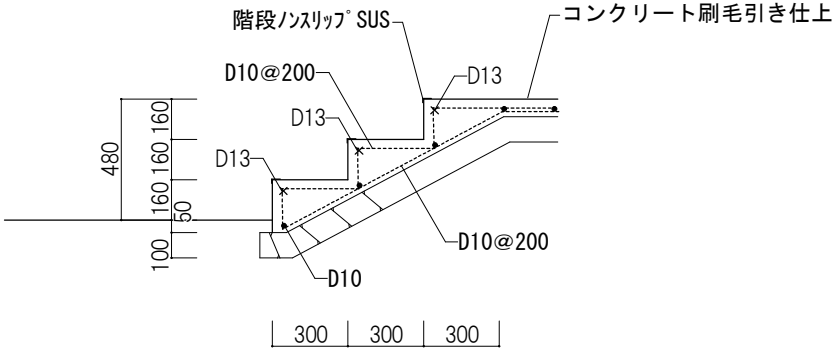
A: 東側階段詳細図 1/20



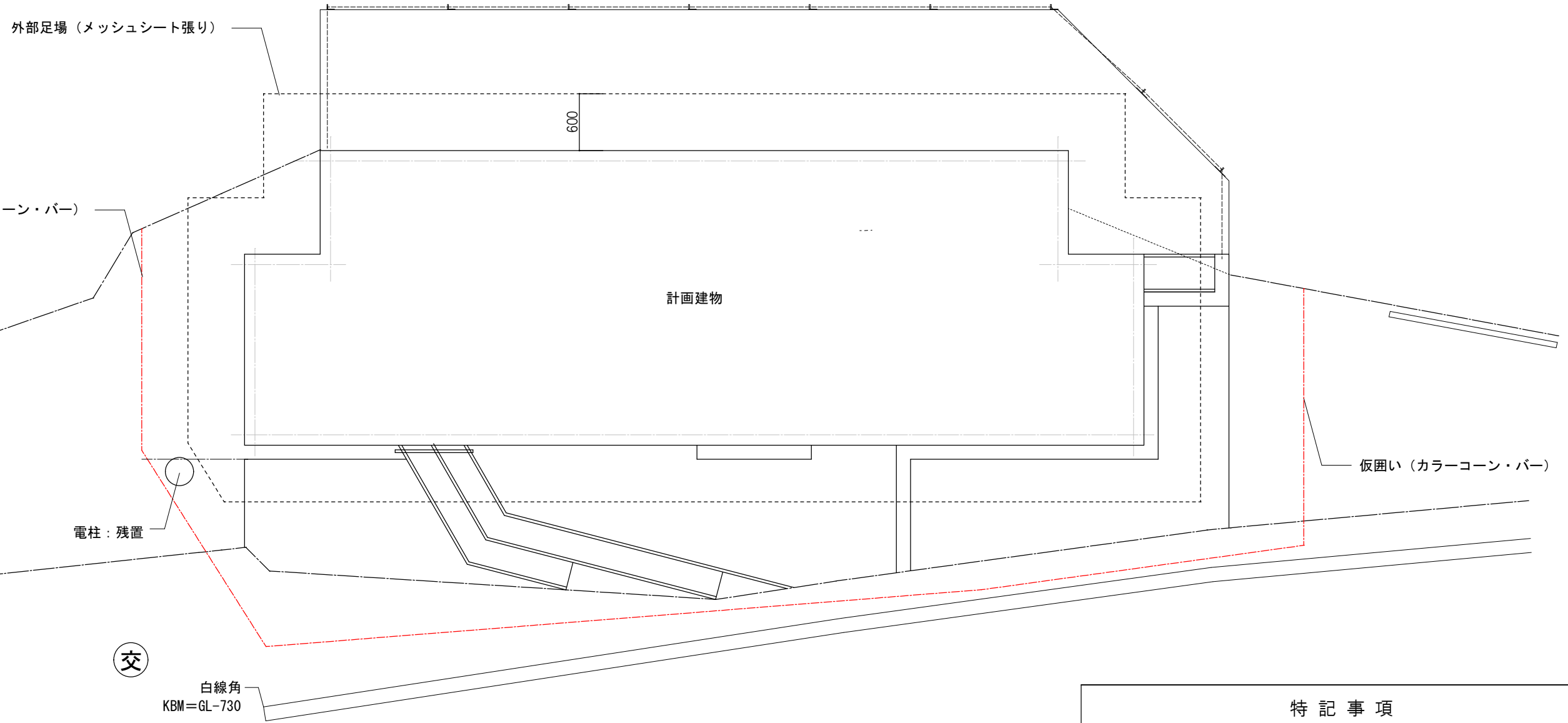
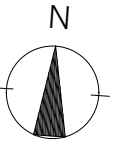
③正面階段詳細図



平面図 1/50



階段断面図 1/30



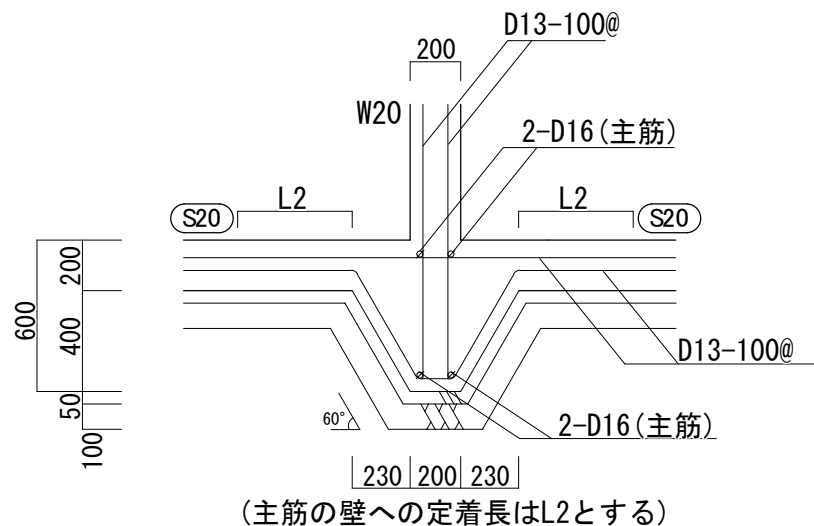
特 記 事 項

交

 - 交通誘導員50人

 カラーコーン (11個) ・ バー L2,000 (10本)

仮設計画図		SCALE A3 1 : 50	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上 田 建 築 事 務 所	DATE	DATE	A-27 SHEET NO.
SUBJECT 令和6年度にご淵公衆トイレ新設工事 設計図			SUBMITTED BY 一級建築士登録 第312929号 上田 博史	CHECKED BY	DRAWN BY	



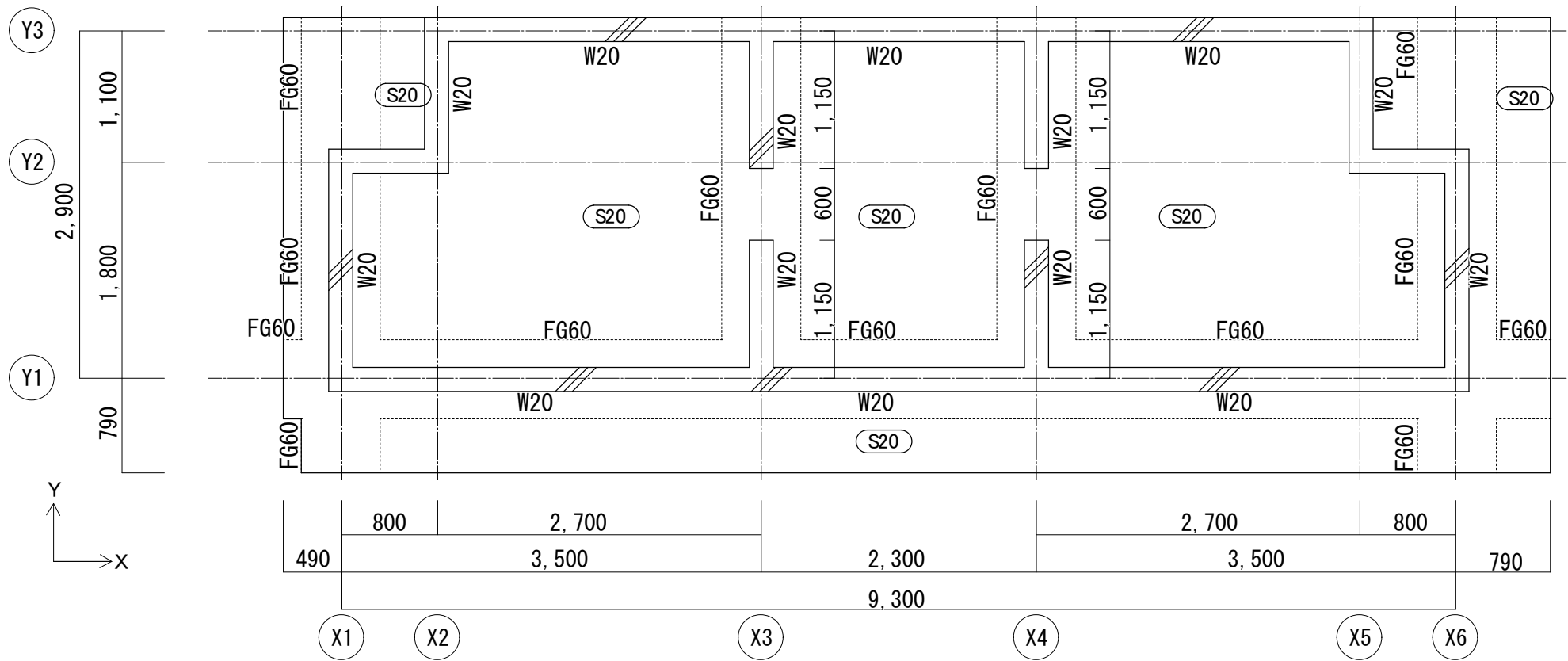
スラブ配筋

符号	スラブ厚 (mm)	短辺方向(主筋) 全 域	長辺方向(配力筋) 全 域	備 考
(S20)	200	D13-100@ ダブル	D13-100@ ダブル	Y方向筋を主筋とする
(S18)	200	D13-150@ ダブル	D13-150@ ダブル	Y方向筋を主筋とする

壁の基準配筋

種 別	壁 厚 (mm)	縦筋及び横筋	断 面 図 (mm)	開口補強筋			備 考
				縦筋	横筋	斜筋	
W20	200	D13-100@ダブル	200	2-D13	2-D13	2-D13	縦筋を外側に配置する
W18	180	D13-150@ダブル	180	2-D13	2-D13	2-D13	縦筋を外側に配置する
W10	100	D13-150@シングル	100	1-D13	1-D13	1-D13	-

・ベタ基礎スラブ S20 及び基礎梁 FG60 の下に
捨コンクリート50mm・砂利地業100mm を布設すること



地下階壁・基礎梁・基礎伏図(見下図) 1: 50

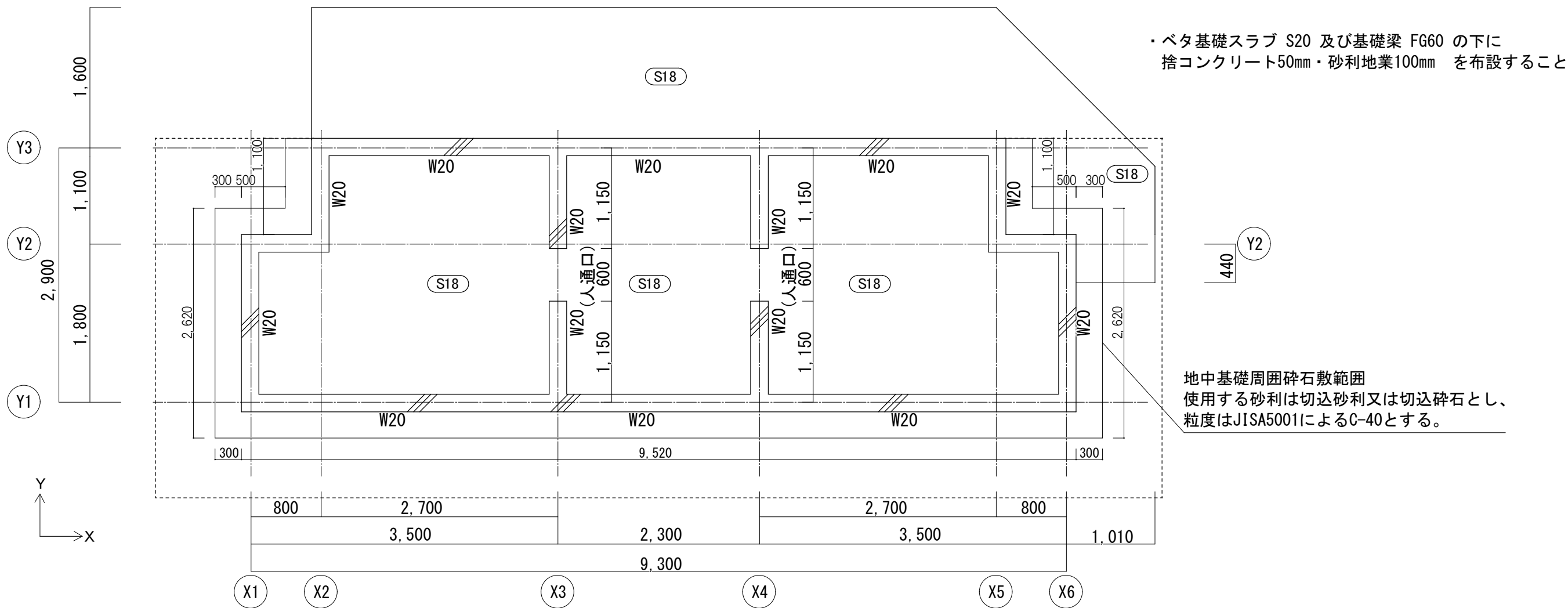
- ・コンクリート : $F_c=24\text{N/mm}^2$
- ・鉄筋 : SD295A
- ・支持地盤の長期許容支持力度 : $q_a=120\text{kN/m}^2$ 以上 (礫質土)

スラブ配筋

符号	スラブ厚 (mm)	短辺方向(主筋) 全 域	長辺方向(配力筋) 全 域	備 考
(S20)	200	D13-100@ダブル	D13-100@ダブル	Y方向筋を主筋とする
(S18)	200	D13-150@ダブル	D13-150@ダブル	Y方向筋を主筋とする

壁の基準配筋

種 別	壁 厚 (mm)	縦筋及び横筋	断 面 図 (mm)	開口補強筋			備 考
				縦筋	横筋	斜筋	
W20	200	D13-100@ダブル	200	2-D13	2-D13	2-D13	縦筋を外側に配置する
W18	180	D13-150@ダブル	180	2-D13	2-D13	2-D13	縦筋を外側に配置する
W10	100	D13-150@シングル	100	1-D13	1-D13	1-D13	-



地下階壁・1階梁・1階床版伏図(見上図) 1: 50

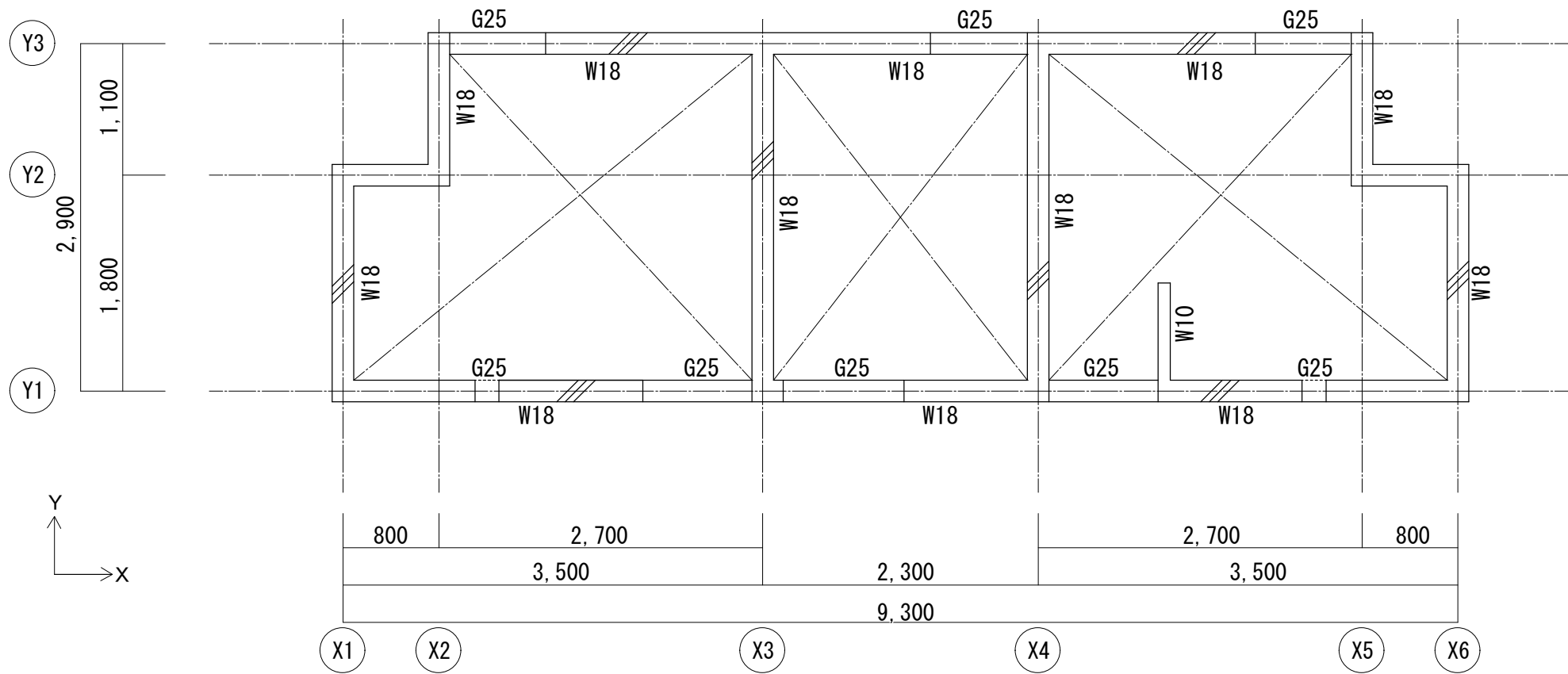
- ・コンクリート : $F_c=24\text{N/mm}^2$
- ・鉄筋 : SD295A
- ・支持地盤の長期許容支持力度 : $q_a=120\text{kN/m}^2$ 以上 (礫質土)

梁断面リスト

付 号	G25
B × D	180 × 250
位 置	全
上 端 筋	2-D16
梁断面リスト	<div><div><div></div></div><div>(壁開口部上部に設ける) (主筋の壁への 定着長はL2とする)</div></div>
下 端 筋	2-D16
あばら筋	D13-150@
腹 筋	-
幅止め筋	D10-1000@
Fc=24N/mm ² 1: 30	

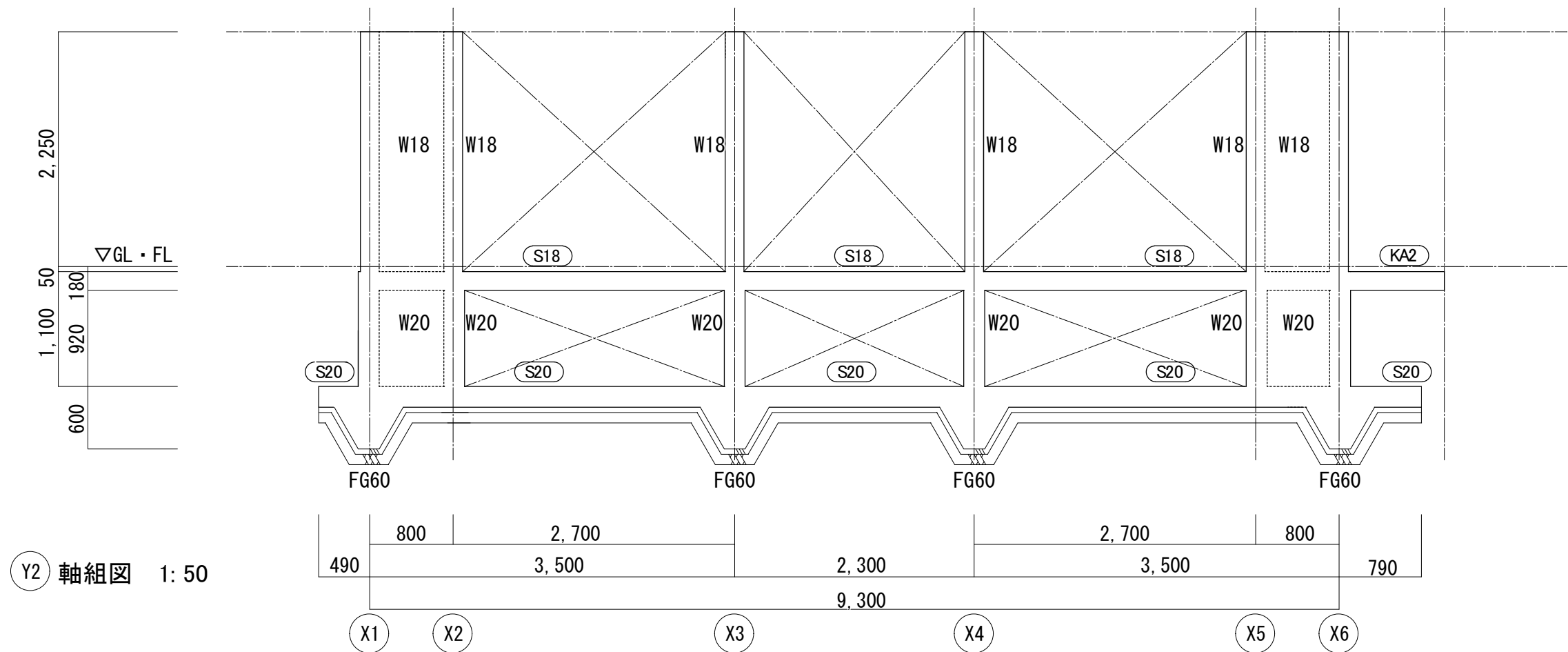
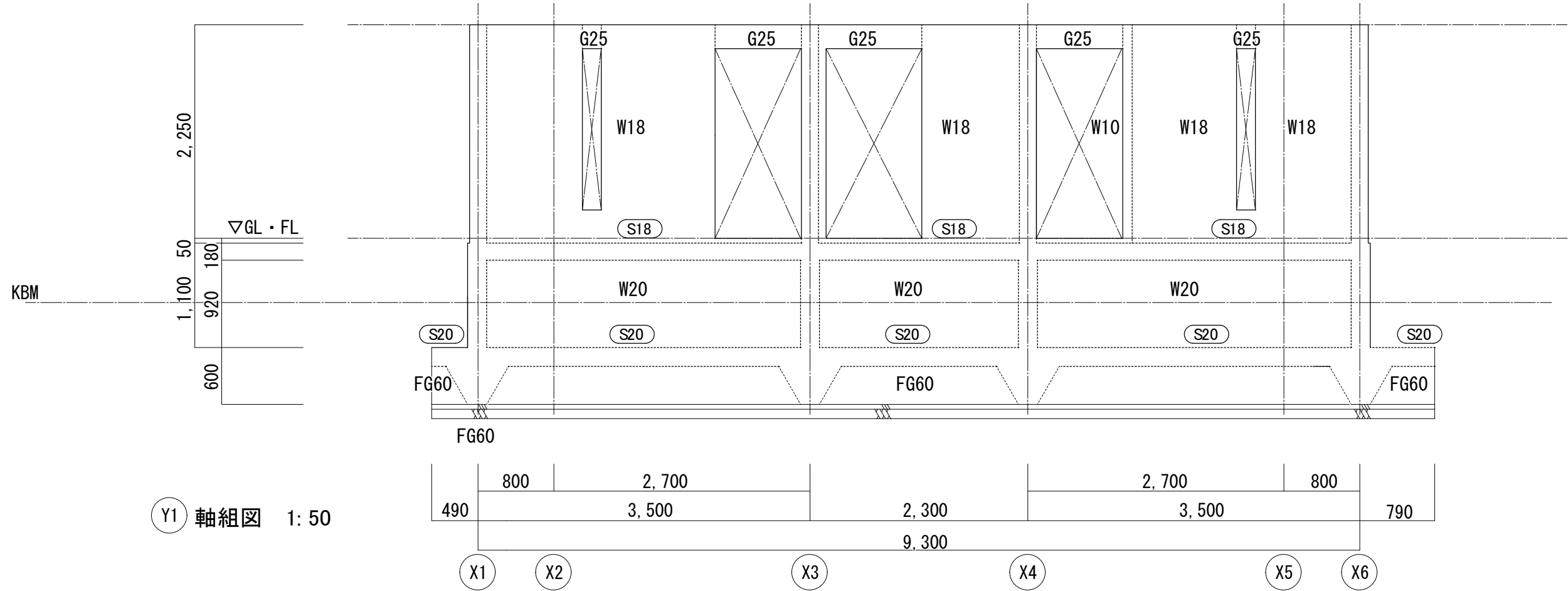
壁の基準配筋

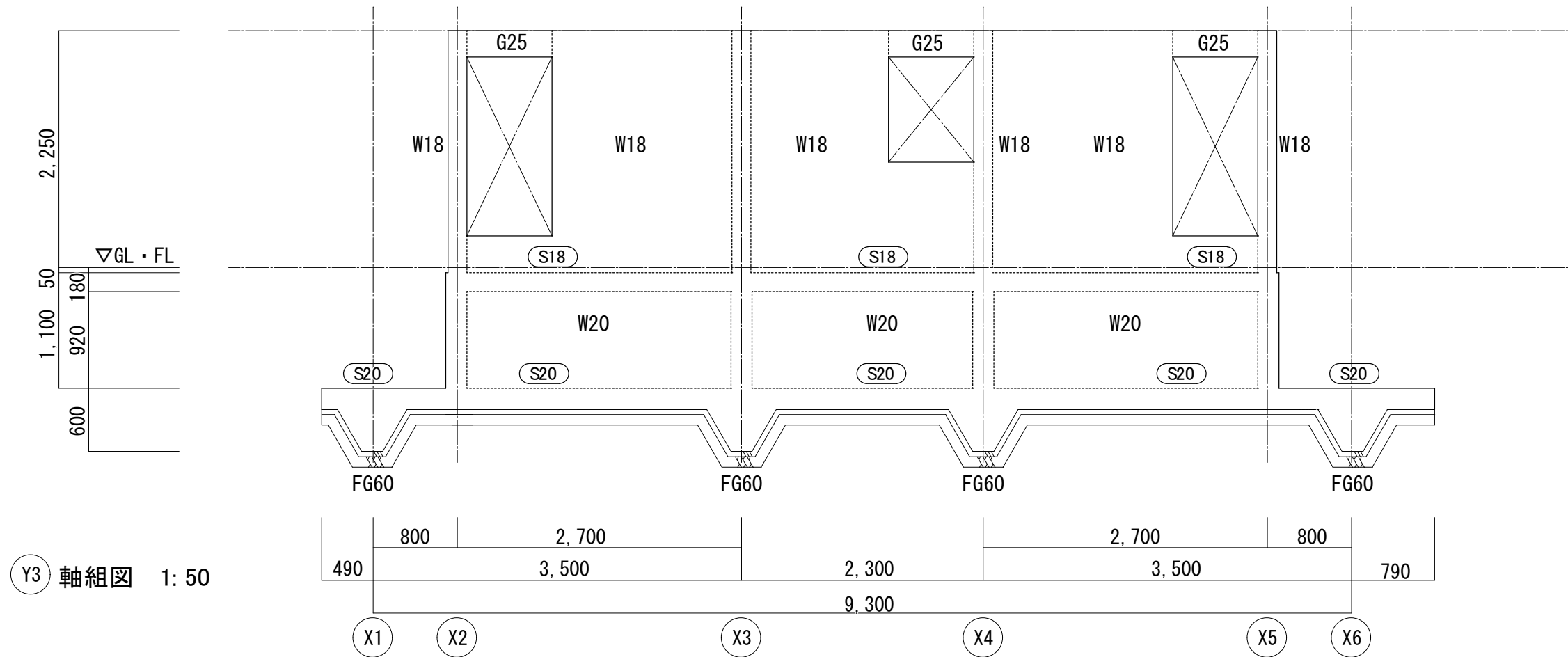
種 別	壁 厚 (mm)	縦筋及び横筋	断 面 図 (mm)	開口補強筋			備 考
				縦筋	横筋	斜筋	
W20	200	D13-100@ダブル	200	2-D13	2-D13	2-D13	縦筋を外側に配置
W18	180	D13-150@ダブル	180	2-D13	2-D13	2-D13	縦筋を外側に配置
W10	100	D13-150@シングル	100	1-D13	1-D13	1-D13	-

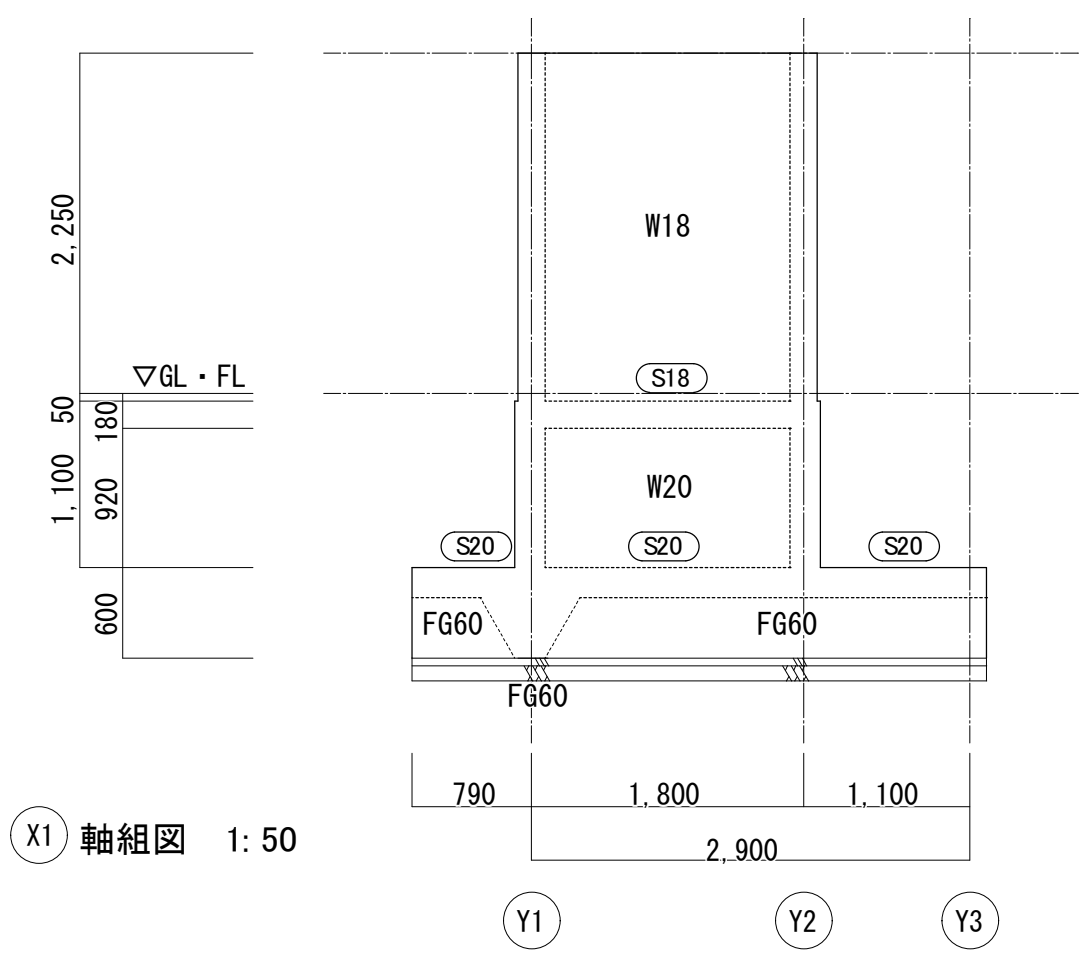


1階壁・R階梁・屋根伏図(見上図) 1: 50

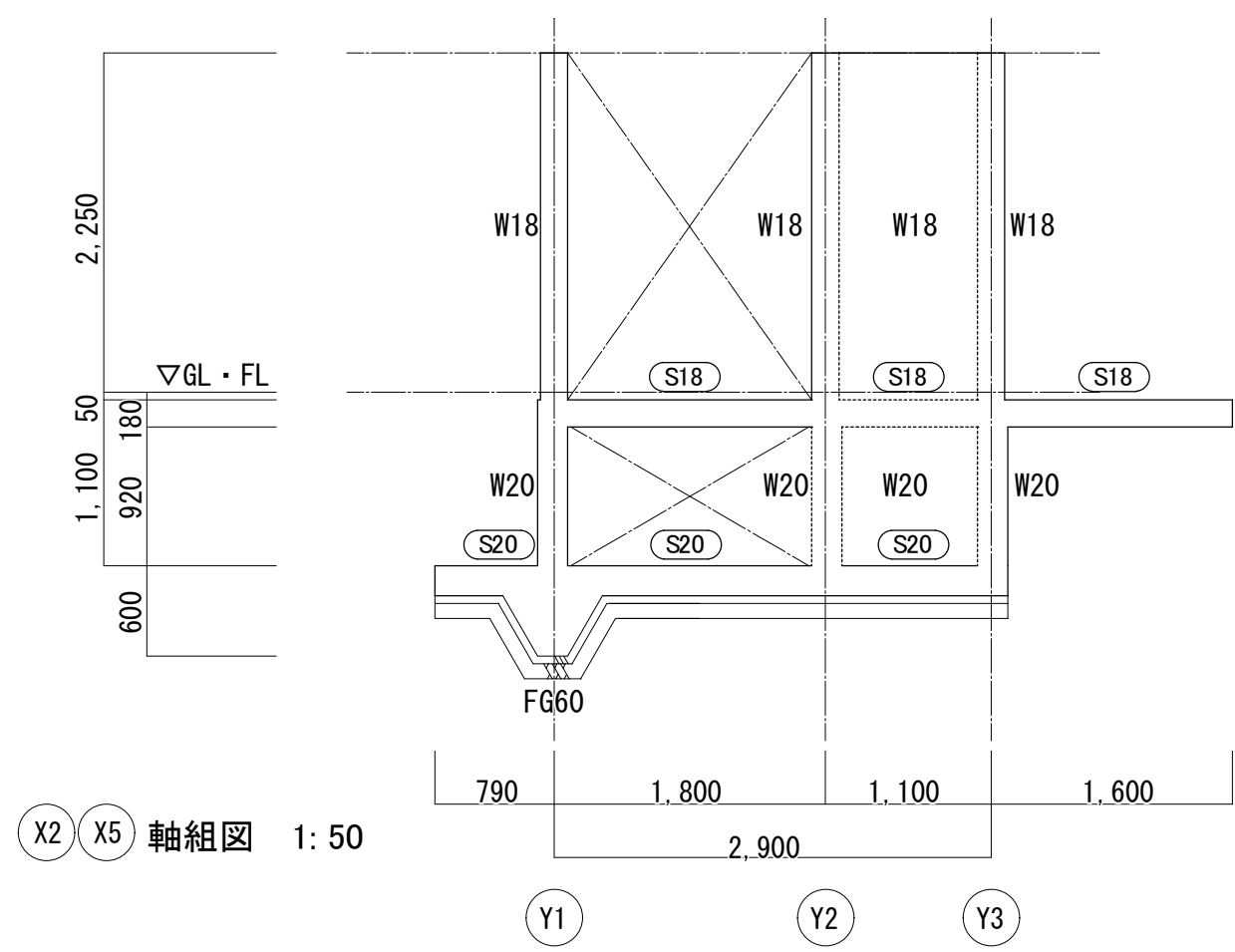
- ・コンクリート : Fc=24N/mm²
- ・鉄筋 : SD295A
- ・支持地盤の長期許容支持力度 : qa=120kN/m²以上(礫質土)



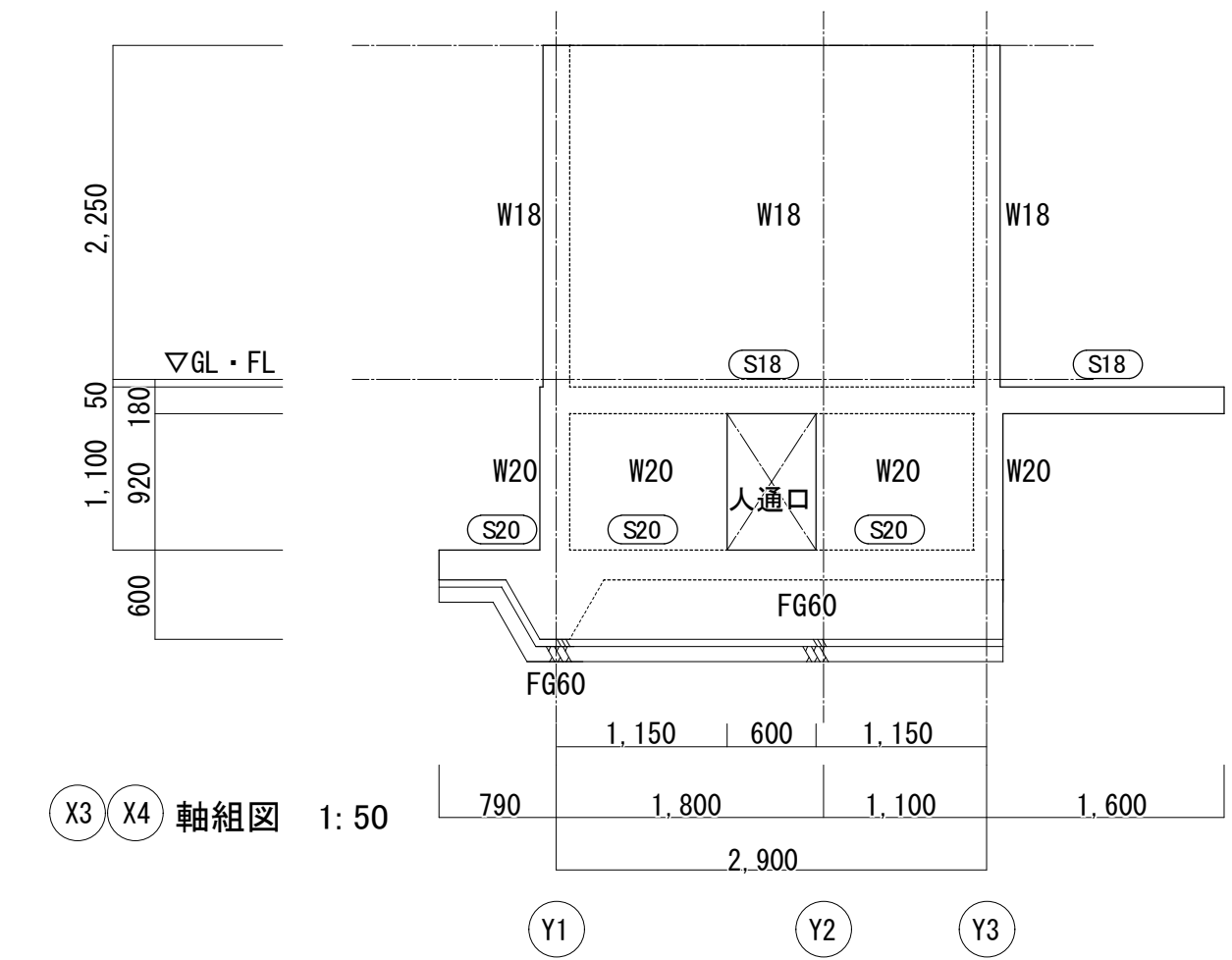




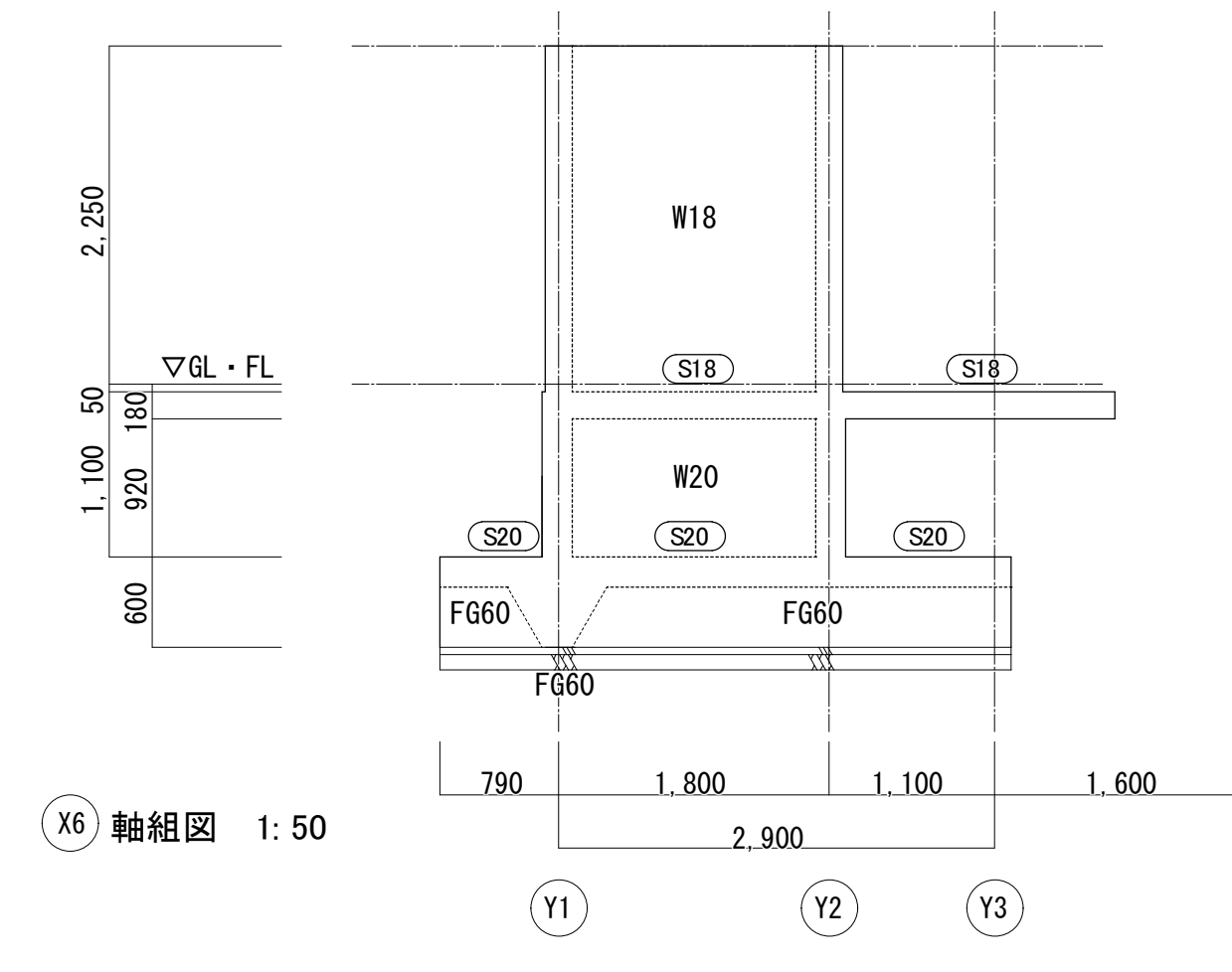
X1 軸組図 1: 50



X2 X5 軸組図 1: 50

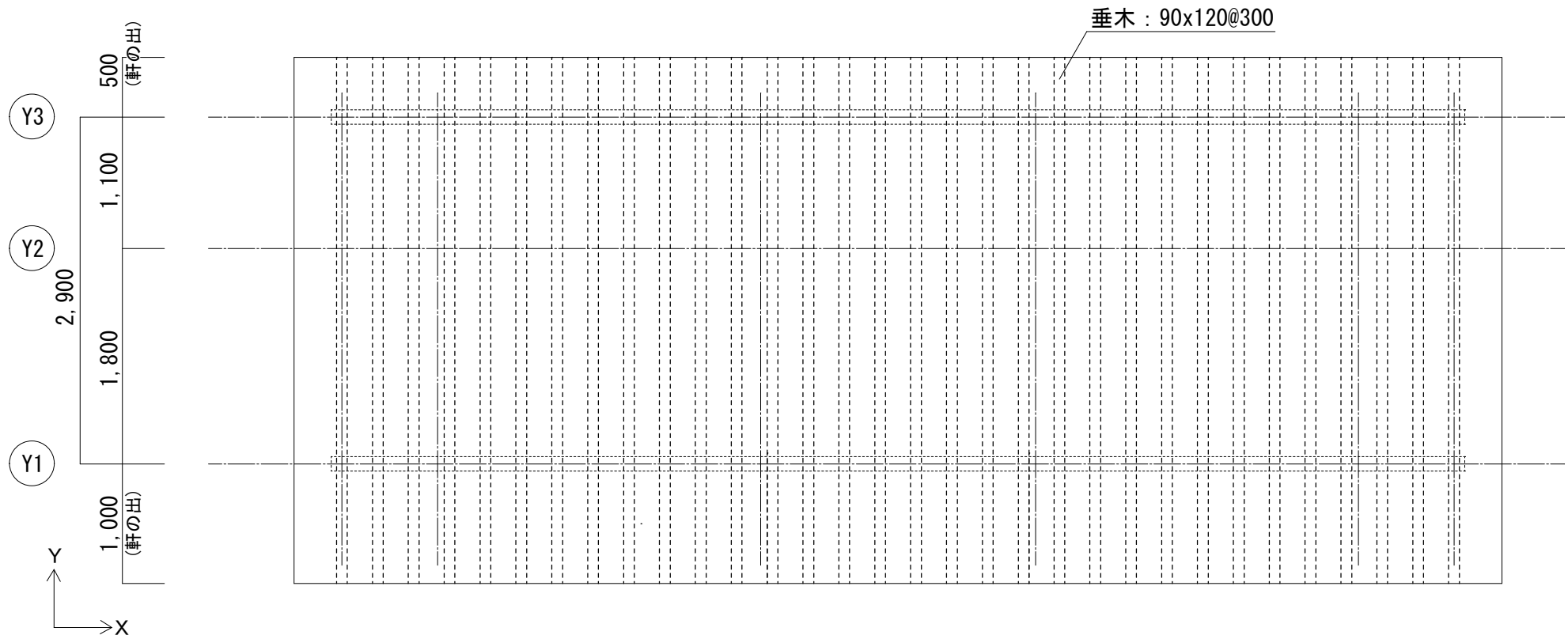


X3 X4 軸組図 1: 50

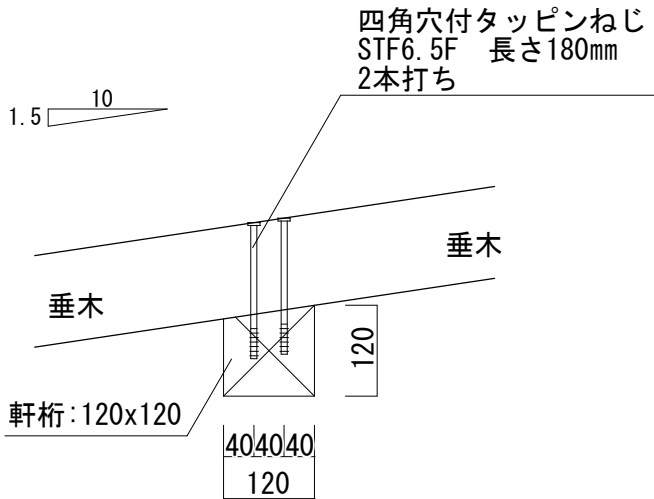


X6 軸組図 1: 50

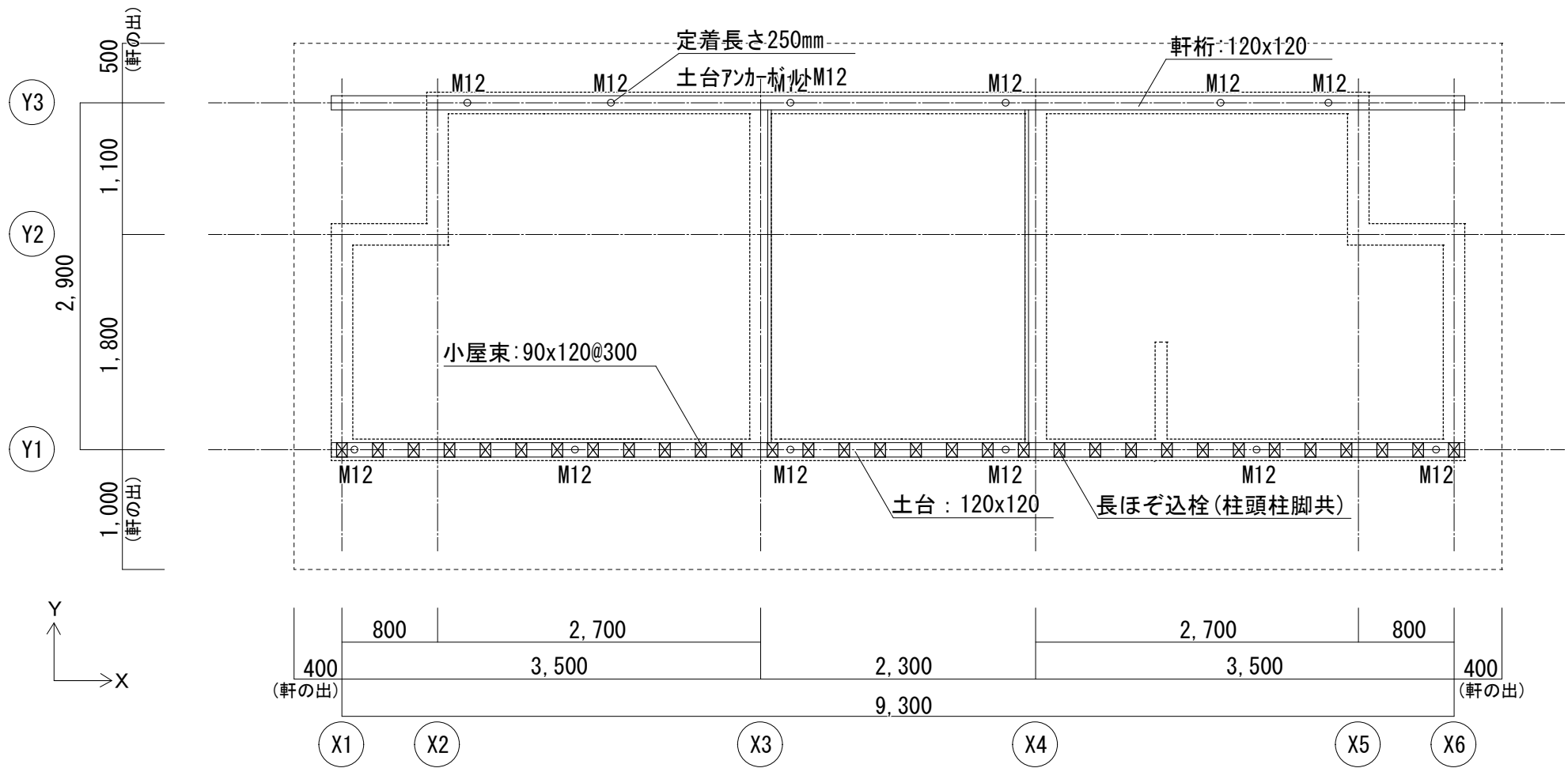
※木材は特記なき限り杉：特一等とする



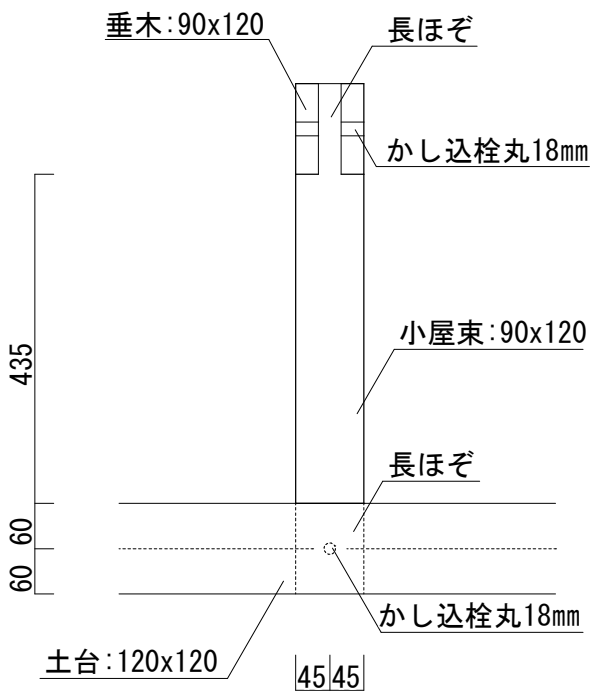
垂木伏図(見上図) 1: 50



軒桁・垂木接合部 1: 10



土台軒桁伏図(見下図) 1: 50



土台軒桁接合部 1: 10

特記仕様書（ 1 ）

工事名称

令和6年度にこ瀬公衆トイレ新設工事（機械設備）

設計年度（設計図）

令和 6 年度

工事期間（完成図）

令和 年 月 ～ 令和 年 月

工事場所

高知県吾川郡いの町清水上分921付近

棟 名	構 造	階 数	延床面積（㎡）	用途地域	消防法施行令別表第一の区分
	RC造＋木造	1	23.60	都市計画区域外	
		戸 数			

I 共通事項

種 目	項 目	特 記 仕 様（※ 及び ● 印をつけたものを適用する）																																										
一般共通仕様	適用仕様	※ 特記なき事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編 令和4年版）」（改修工事の場合は、「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編 令和4年版）」）及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編 令和4年版）」による。 ※ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「工事写真撮影ガイドブック 機械設備工事編」 ※ 国土交通省仕様 （例：外壁の地中部等 水密を要す部分はツバ付鋼管スリーブ等。地中部で水密を要しない部分はVUスリーブ。柱、梁以外の箇所では、開口補強が不要でスリーブ径200mm以下は紙スリーブでもよい。）																																										
	スリーブ	○ 国土交通省仕様 ● メーカー仕様 ※ 区画貫通処理が必要な箇所については、箇所別に設置場所・設置状況が確認できる記録を写真及び図面等で残す。 ※ 「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説・平成8年度版」（建設大臣官房官庁営繕部監修）によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針」（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修 2014年版）による。 建物の種別： ○ 特定の施設 ○ 一般の施設 地域係数： 1. 0 1)設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。 特記なき場合の設計用標準水平震度は次による。 2)設計用鉛直地震力は設計水平地震力の1／2とする。																																										
	機器類 区画貫通処理 耐震措置																																											
	機器の固定	※ 基礎のアンカーボルト・吊り基礎ボルト・吊り金物及び防振を施す機器類の取付けボルトは、ロックナット又は2重ナットにて固定する。 注）ナットに対するボルトの余長は3山以上を標準とする。 ※ 機器の固定に使用する金属系アンカーはスリーブ打込み式または、ウエッジ式とする。（県標準図16） ※ ケミカルアンカーは、天井方向に使用しない。 ※ 防振架台を設置する場合、耐震ストッパーの調整を製造者の指定どおりに行うこと。 ※ 一般土間コンクリート下部配管は耐蝕性のある吊りボルト（亜鉛ドブ漬又はステンレス製）にてスラブ筋に支持する。 ※ 屋外及びピット内配管の支持金物・吊り金物は亜鉛ドブ漬又はSUS製とする。屋内外露出部には既製品支持架台は使用しない。 ※ 仕様のとおりにより配管等も施工しても、他の資材配管等と干渉する場合は据れ止めを適宜設ける。																																										
	配管の支持																																											
	ねじ接合材	ねじ接合材使用区分表 <table><tr><th>流体種別</th><th>給湯</th><th colspan="4">冷水水</th></tr><tr><th>管 材 等 種 別</th><th>ステン管</th><th>ライン管</th><th>水栓金具</th><th>弁類</th><th>ステン管</th><th>ライン管</th><th>弁類</th><th>ステン管</th><th>ライン管</th><th>鋼管</th><th>弁類</th></tr><tr><td>テープシール材</td><td></td><td></td><td>(イ)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ベーストシール剤</td><td>(ロ)</td><td>(ハ)</td><td></td><td>(ロ)</td><td>(ロ)</td><td></td><td>(ロ)</td><td>(ロ)</td><td></td><td></td><td>(ロ)</td></tr></table>	流体種別	給湯	冷水水				管 材 等 種 別	ステン管	ライン管	水栓金具	弁類	ステン管	ライン管	弁類	ステン管	ライン管	鋼管	弁類	テープシール材			(イ)									ベーストシール剤	(ロ)	(ハ)		(ロ)	(ロ)		(ロ)	(ロ)			(ロ)
	流体種別	給湯	冷水水																																									
	管 材 等 種 別	ステン管	ライン管	水栓金具	弁類	ステン管	ライン管	弁類	ステン管	ライン管	鋼管	弁類																																
	テープシール材			(イ)																																								
	ベーストシール剤	(ロ)	(ハ)		(ロ)	(ロ)		(ロ)	(ロ)			(ロ)																																
(テープシール材)	※ (イ) テープシール材は、JIS K 6885（シール用四つ爪エチレン樹脂未焼成テープ（生テープ））によるものとする。 注）水栓類は、防食シール材を用いない。テープシール材を使用する。 ※ (ロ) 一般用ベーストシール剤は、管内の流体に溶出せず、使用目的に適する成分のものとする。 ※ (ハ) 給用水、給湯用及び冷水水用の防食用ベーストシール剤は、JWWA K 161（水道用ラインニング鋼管用液状シール剤）に規定する水道用シール剤とする。 注）水道用シール剤において JWWA K 161 に適合している主なベーストシール剤は下記による。 ステンレス鋼管等防食の必要がないネジ部には水道用シール剤（ロ） （例：日本ヘルメテックス株式会社のヘルメシール 403・株式会社ヘルメテックのHERMETIC F-119・山王工業株式会社 of the ヘルメテック No. A0-9 など） ラインニング鋼管に使用する防食用ベーストシール剤（ハ） （例：日本ヘルメテックス株式会社のヘルメシール55・88・403・株式会社ヘルメテック of the HT-Seal F-109・山王工業株式会社 of the ヘルメテックNo. A0-9 など）																																											
弁 サヤ管工法 埋設深さ（管上） 埋設管の保護	※ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は呼び径50以下は青銅製、呼び径65以上はステンレス製とする。 ※ サヤ管工法で施工する場合、サヤ管施工後に配管挿入を行うこと。（同時施工を行わない。） ● 一般敷地300mm以上 ● 車両通路600mm以上 ○ 公道800mm以上 ○ 公道1, 200mm以上。 ● 埋設管は周囲100mm程度に保護砂を入れる。ただし排水管は別記による。 ○ 量水器以降の埋設給水管はクイックチューブ等で巻く。 ※ 石綿含有調査 ○本工事 ○別途 ○無し アスベスト含有品（ガスカート、パッキン、たわみ継手、保温材、天井材等）は関係法令に従い適切に処理を行う。																																											
石綿含有品	※ 構外搬出 処理場所（ ）所在地（ ）距離（ ）km その他 建設発生土の搬出先は上記を予定している。搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。 ○ 構内指定場所に敷き均し ○ 構内指定場所に堆積																																											
建設発生土の処理	※ アスファルト、アスファルト路盤は原則として再生品を使用する。 ※ 浄化槽・樹類の砂利地業は原則として再生クラッシャーランを使用する。（アスファルト再生品混じりは不可） ※ 本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。 ※ はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行う。 なお、『コア抜き・はつり工事チェックリスト』を作成し段階確認を行って施工する。																																											
総合調整	※ 下記項目の総合調整を行い、測定表を監督職員に提出する。（測定場所等は監督職員の指示による。） ○風量調整 ○水量調整 ○室内外空気の温湿度の測定 ○騒音の測定 ○室内気流及びじんあいの測定																																											
技能士の適用 完成後の提出物	○配管施工（配管工事） ○熱絶縁施工（保温工事） ○建築板金施工（ダクト製作及び取付） ○冷凍空調調和機器施工 ○その他 完 成 図 ※ CADデータをCD-Rに保存して提出。 ※ 画像データ（PDF形式） ※ A42つ折り製本 1部 ※ 2つ折りA3版製本 2部 施 工 図 ※ CADデータをCD-Rに保存して提出。 ● 画像データ（PDF形式） ○ 2つ折り製本（サイズは原因による） 工事管理資料（写し） ※ フラットファイル等に閉じたもの。 工 事 写 真 ※ フラットファイル等に閉じたもの。 工 事 日 誌 ※ フラットファイル等に閉じたもの。 工 具 類 ○ マンホールフック ○ 制水弁ハンドル ○ 掃除口ハンドル ○																																											

● 室内空気汚染対策

対 象 建 築 材 料 等	使 用 制 限
① 合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、 単板積層材、MDF、パーティクルボード、ユリア樹脂板 壁紙、緩衝材、断熱材、保温材、仕上り塗材	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。
② 塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性形のものとする。
③ 木材保存剤（防腐処理、防蟻処理等）	クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノバカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。
④ 内装用接着剤、木工用接着剤、配管用接着剤、接着剤	1）ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していないものとする。 2）フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用しているものとする。
⑤ 家具、書架、実験台、什器、洗面化粧台、流し台	①、②、③、④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆又は同等品を使用する。 室内に関わる材料（上記②～④及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシル、クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノバカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。

配
管
材
料

① 配管用炭素鋼鋼管 【SGP黒管】（JIS G 3452）
② 配管用炭素鋼鋼管 【SGP白管】（JIS G 3452）
③ 水道用硬質塩化ビニルラインニング鋼管 【SGP-VA】（JWWA K 116・WSP 011）
④ 水道用内外面硬質塩化ビニルラインニング鋼管 【SGP-VD】（JWWA K 116）
⑤ 水道用ポリエチレン粉体ラインニング鋼管 【SGP-PA】（JWWA K 132・WSP 039）
⑥ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 【SGP-VS】（WSP 041）
⑦ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルラインニング鋼管 【SGP-HVA】（JWWA K 140）
⑧ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 【SUS 304 TPD】（JIS G 3448）
⑨ 配管用ステンレス鋼鋼管 【SUS 304】（JIS G 3459）・・・60A以下は拡管式
⑩ 水道用ダクタイル鉄管 【3種管】（JWWA G 113）
⑪ 鋼管 【M】（JIS H 3300）
⑫ 外面被覆鋼管 【M】（JIS H 3330）給湯
⑬ 耐熱性硬質塩化ビニル管 【HTVP】（JIS K 6776）
⑭ 水道用硬質塩化ビニル管 【VWP】（JIS K 6742）
⑮ 耐衝撃性硬質塩化ビニル管 【HIVP】（JIS K 6742）
⑯ 水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管 【RR-VP】（JWWA K 127）
⑰ 水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 【RR-HIVP】（JWWA K 129）
⑱ 水道用ポリエチレン二層管 （JIS K 6762）
⑲ 水道配用水用ポリエチレン管 （JWWA K 144）
⑳ 架橋ポリエチレン管 （JIS K 6769）

⑳ ポリブデン管 （JIS K 6778）
㉑ 排水用硬質塩化ビニルラインニング鋼管 【D-VA】（WSP 042）
㉒ 排水用ノントールエポキシ塗装鋼管 （WSP 032）
㉓ 排水用鑄鉄管 【メカニカル形2種管】（JIS G 5525）
㉔ 鉛管（HASS 203）
㉕ 硬質ポリ塩化ビニル管 【VP】（JIS K 6741）
㉖ 硬質ポリ塩化ビニル管 【VU】（JIS K 6741）
㉗ 排水・通気用耐火二層管 【内管VP】
㉘ 卵形管 【ゴムリング】（JAWAS K-3）
㉙ プレキャスト鉄筋コンクリート製品 （JIS A 5372） ヒューム管
㉚ 硬質塩化ビニル被覆鋼管【ガス】（JIS G 3452原管）白
㉛ ガス用ポリエチレン管（JIS K 6774）
㉜ ガス用ステンレス製フレキシブル管 【原管（JIS G 4305）によりガス用に製造されたもの】
㉝ 断熱材被覆鋼管 【ポリエチレン保温材】（JCDA 0009） 冷媒
㉞ 屋外消火栓設備用高性能ポリエチレン管（日本消防設備安全センターの性能認定取得品）
㉟ 空調用保温材付ドレン管【ポリエチレン保温材 NDD・MDP同等】（内管JIS規格品）
㊱ -
㊲ -
㊳ -

管
種
使
用
区
分

工 種	場 所	屋 内 一 般	屋 内 ピ ッ ト	屋 内 コ ン ク リ	屋 内 土 中	屋 外 埋 設	屋 外 架 空	
給 水（直 圧）								
給 水（一 般）		㉑	㉑			㉑	㉑	
汚 水		㉒	㉒			㉒		※125A以上の地中埋設は㉒とする。
雑 排 水		㉒	㉒			㉒		※125A以上の地中埋設は㉒とする。
通 気							㉓	
ガ ス								
消 火								
給 湯								
器 具 接 続								
冷 温 水								
冷 却 水								
中 水								
冷 媒								
空 調 ド レ ン								

塗
装
・
防
食

※ 亜鉛メッキ面の塗装下地は化学処理（エッチングプライマ）を施す。
※ 鋼管類のコンクリート内配管にはプラスチックテープ1/2重巻1回巻きとする。
※ 土中埋設する鑄鉄管、鑄鉄異形管（メカ型継手共）及び特殊継手類はポリスリーブ巻きとする。
○ 居室等に露出して使用する配管支持金具類（電気メッキ品）は塗装（さび止めペイント・中塗り・上塗り）を施す。
※ 下記の露出配管、ダクト（ダクト構成部材含む）、電線管、フード類の塗装を行う。
屋外： ○ドレン管（指定色塗装） ○金属電線管（指定色塗装）
屋内： ○ダクト（指定色塗装） ○金属電線管（指定色塗装） ○フード類（指定色塗装）

保
温
・
防
露

工 種	場 所	屋 内 露 出	機 械 室・倉 庫	天 井・PS 内	床 下 暗 渠 内	屋 外 露 出	給 水 引 込 露 出 部	備 考
給 水	水	a ₂ ()Ⅶ	b()Ⅶ	c ₂ (ロ)Ⅶ	d(ハ)Ⅶ	e ₃ ()Ⅶ	(ハ)	
排水・空調ドレン		a()Ⅶ	b()Ⅶ	c ₂ ()Ⅶ				
給 湯		a(ロ)Ⅰ	b()Ⅰ	c ₂ (ロ)Ⅰ	d()Ⅰ	e ₂ ()Ⅰ		
冷水・冷温水管		A()Ⅲ	B()Ⅲ	C ₁ ()Ⅲ	D()Ⅲ	E ₂ ()Ⅲ		
冷 媒 管	(チ)+スリムダクト	(チ)	(チ)	(チ)	(チ)	(チ)+(ロ)+(ヌ)		
矩 形 ダ ク ト	J ₁ ()XⅠ	I()XⅠ	I()XⅠ	I()XⅠ		K ₂ ()XⅠ		
スパイラルダクト	O ₁ ()XⅠ	N()XⅠ	N()XⅠ			P ₂ ()XⅠ		
(イ)ロックウール保温材 (ロ)グラスウール保温材 (ハ)ポリスチレンホーム保温材		(ニ)簡易保温筒10mm (ホ)簡易保温筒20mm (ヘ)簡易耐熱保温筒10mm		(ト)簡易耐熱保温筒20mm (チ)冷媒用被覆鋼管 (リ)SUSラッキング		(ヌ)ガルバリウム鋼板 (ル)カラーガルバリウム鋼板 (ヲ)ー		
○ フレキシブルジョイントは配管に準じた保温・ラッキングを施す。 ※ 器具類（洗面化粧台・給湯器・温水器等）と接続するステンレスフレキは簡易保温筒にテープ巻きを施すこと。								

表
示

※ 配管表記
①機械室・ピット・PS内・天井点検口付近には必ず表記する。
②表記内容は、流体・サイズ・系統名とする。
③場所・向き・文字サイズ等事前協議決定後に施工する。
※ 設計記号の付いている主要機器には、カッティングシート・ペンキ等にて表記（管理番号・室名・設置年月等）を行う。なお、該当する主要機器を事前確認する。
※ パッケージエアコン等の空調機は、室内外機に表記を行う。（県標準図13）
※ 水中に設置するような各種主要機器類（水中ポンプ等）は銘板を盤付近にも設ける。（製造者名、製造年月、形番、性能等を順記する。）
※ 屋外に設置するバルブ札は固定するか、表示方法を協議する。
※ バルブBOX内部に系統名・管サイズ・設置年月を書いたアクリル札を入れる。
※ 埋設バルブボックスの蓋の向きは流体の行き先側に蓋の付根を向ける。
※ 排水以外の屋外埋設管には曲・分岐部その他埋設管の位置が確認できるように標示板（標示柱は県標準図8）を設ける。
※ 配管の埋戻し時は、GL-200mm程度に埋設表示用アルミテープ（W）を埋設する。（排水・通気管を除く）

発
生
材
の
処
理

○ 引渡しを要するもの（ ）
○ 現場において再利用を図るもの（ ）
※ 再生資源化を図るもの ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。
※ 発生材搬出時の写真記録の方法は特記仕様書（共通編）による。

特記仕様書（ 1 ）

SCALE A3 1：NS

一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号
株式会社 上 田 建 築 事 務 所

DATE DATE

M－01

SUBJECT 令和6年度にこ瀬公衆トイレ新設工事 設計図

SUBMITTED BY 一級建築士登録 第312929号 上田 博史

CHECKED BY DRAWN BY

SHEET NO.

特 記 仕 様 書 (2)

●衛生器具設備	取付位置 大便器 化粧鏡 流量調整 洗濯機パン シール（コーキング）	※ 衛生器具及び周辺機器類の取付位置は総合図・展開図等を作成して、確認後に取付けること。 （特に、便器類と手すり・便器類と操作ボタン類・操作ボタン類と手すり等の位置関係に注意） ※ 和風大便器下面でコンクリートに接する部分はアスファルト塗布（3mm以上）とする。（県標準図1） ※ 和風大便器を防火区画に設置する場合、和風便器用耐火カバーを設ける。 ※ 化粧鏡取付にあたっては落下破損防止のため、表面シール材等による張付にて取付などの処置を施す。 ※ 小便器・大便器等の手動フラッシュ弁流量調整は、下記の流出時間を目安とする。ただし、衛生器具のマニュアル等に記載があれば内容に準ずること。 大便器 8～10秒 小便器 8～10秒 自閉式水栓 7秒 ※ 洗濯機パンを設置する床面は、耐荷重性と平滑性に注意する。 ● 器具類と壁・床のシール（コーキング）打ちは右記の表による。 <table><tr><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">設置場所の床が湿式（防水）</th><th colspan="2">設置場所の床が乾式（非防水）</th></tr><tr><th>壁</th><th>床</th><th>壁</th><th>床</th></tr><tr><td>洋風便器</td><td>－</td><td>不</td><td>－</td><td>不</td></tr><tr><td>洗面器類</td><td>不</td><td>－</td><td>要</td><td>－</td></tr><tr><td>掃除流し</td><td>不</td><td>－</td><td>要</td><td>不</td></tr><tr><td>洗濯流し</td><td>不</td><td>－</td><td>要</td><td>不</td></tr><tr><td>洗濯パン</td><td>－</td><td>－</td><td>要</td><td>不</td></tr><tr><td>ステンレス流し台</td><td>要</td><td>不</td><td>要</td><td>不</td></tr><tr><td>化粧棚</td><td>不</td><td>－</td><td>要</td><td>－</td></tr></table> 壁・床の仕様ににかかわらず、自動水栓装置・コンセント・非常呼出しなど電気機器類に水かかりが好ましくない場合はシール打ちを施す。	機器種別	設置場所の床が湿式（防水）		設置場所の床が乾式（非防水）		壁	床	壁	床	洋風便器	－	不	－	不	洗面器類	不	－	要	－	掃除流し	不	－	要	不	洗濯流し	不	－	要	不	洗濯パン	－	－	要	不	ステンレス流し台	要	不	要	不	化粧棚	不	－	要	－
機器種別	設置場所の床が湿式（防水）			設置場所の床が乾式（非防水）																																										
	壁	床	壁	床																																										
洋風便器	－	不	－	不																																										
洗面器類	不	－	要	－																																										
掃除流し	不	－	要	不																																										
洗濯流し	不	－	要	不																																										
洗濯パン	－	－	要	不																																										
ステンレス流し台	要	不	要	不																																										
化粧棚	不	－	要	－																																										
●給水設備	負担金 弁 継手類 バルブボックス 隠蔽部の保温 既設給水銅管への接続 水槽類の施工手順 水槽類の衛生管理 引渡前の水質の管理	● 不要 ○ 要（ ） ※ 直圧給水弁は水道事業者の指定品（指定のない場合は、二次側給水に準じた弁） ※ 二次側給水弁（土中）：40A以下は青銅製で蝶ハンドル付き止水栓、50A以上はソフトシール制水弁（内面ライニング） ※ 二次側給水弁（一般）：40A以下は管端防食ねじ込み形青銅弁5K、50A以上は鑄鉄製 F 付き内面ライニング弁5K ※ 水栓エルボ、水栓ソケットは器具側砲金内ねじ形とする。 ※ ユニットバス付属の水栓エルボへの接続は砲金継手等を使用し、管端の防錆をする。 ※ ビニル管とライニング銅管の接続には水栓エルボ・水栓ソケットは使用しない。 ※ TSバルブソケットは金属製（砲金）おすネジを打込しているものを使用する。 ※ 水道事業者の指定がない場合の埋設弁のボックスは、県標準図5・6による。 ※ 給水管の細部保温は特記なき場合は下記の通りとする。壁中等で仕様書通りの施工が困難な場合は監督職員の指示により保温を施す。 空間のある壁中配管 → 要 流し下の空間配管 → 要 ※ 改修工事等で銅管類（ライニング銅管）を切断して、やむを得ずメカニカル継手を使用する場合には、銅管類の切断部の防錆処理として、JWWA K 135規格適合品（エポキシ系DEVCON SF等パイプライニング用）にて処置する。ただし、コア一体型管端防食タイプソケットRC-LA型樹脂リケンを使用する場合は処理不要とする。） ※ 水位設定の協議後に、水位高さ入り施工図を作成し発注・施工を行う。なお、県標準図4を参考とし水位高さを協議する。 ※ 受水槽・高架水槽を新設（改修等含む）施工する場合は、清掃・消毒等後に水張りを行う。 ○ 残留塩素濃度の測定を行う。（端末において0.2mg/L以上検出されるまで消毒を行う。） ○ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく水質検査（11項目）について行うこと。採水場所は指定の箇所（ ）とする。																																												
●排水設備	保護砂 砂利 樹脂製排水樹 衛生器具等の接続 排水管の防露 排水管の試験等 その他	○ 第1樹以降の屋外ビニル管部分には、保護砂（180度台）を要す。 ○ 遠心力鉄筋コンクリート管部分には砂利台を要す。 ※ 防護蓋を設置する場合は県標準図7による。 ○ 洗面器等の排水金具と専用の排水アダプタでビニル管に接続できない場合、VCバックキンを使用する。 ※ 既製流しの排水金具に使用しているジャバラホースはそのまま使用せず、VP配管直結（VCバックキンでも可）とする。県標準図5による。 ○ 雨水立管の下部受部は差込継手を使用する。（但し平屋建は不要とする。） ※ 空間のある壁中配管・集合住宅等のスラブ上配管・受水槽他水槽からドレンバルブまで必要 流し台下空間配管・実験台等への立ち上がり露出配管→不要 ○ 満水試験 ● 通水試験 ○ 鏡確認 ※ 洗濯機排水金物の床貫通部等は共用区画に適合する処理を施す。																																												
○消火設備	消火栓箱	○ 消火栓箱は（○ 県標準図12 ○ 国土交通省仕様 ○メーカー仕様） ○ 共用区画の消防検査受検必要																																												
○給湯設備	弁 絶縁対策 給湯管の保温 大気汚染対策	○ 40A以下は青銅弁5K、50A以上は一般配管用ステンレス銅弁10K ※ 銅管及びステンレス配管は支持金物との絶縁処理を行う。 ※ 銅板製ボイラー及び銅管との接続等、異種管との接続には絶縁継手を使用する。 ※ 給湯配管に簡易保温筒（クイックチューブ）を使用する場合は耐熱性のものを使用する。 ※ 被覆銅管の継手カバーは保温付きのものを使用する。 ※ 給湯器の配管化粧カバー内は凍結破損防止を考慮した保温（簡易保温筒）施工を行う。 ○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。																																												
○ガス設備	ガス集合装置 給湯器止水弁 その他	※ ガス集合装置は県標準図9・10・11を参照し、漏洩検知装置・耐震遮断装置・転倒防止金具等の必要有無に注意する。 ※ スプリングチャッキ内蔵ボール弁を使用する。 ※ ガス用フレキシ管とガスコック等（ヒューズコック）との接続は、コック等の固定が出来る部材等を使用して接続する。 ※ ゴムホース接続なきコックはゴムキャップを付ける。 ※ ボンベ支持クサリ用のアンカーボルトは、10mm以上のもので、下記のいずれかとする。 ※ 埋込アンカー・雄ネジ形メカニカルアンカー・接着系アンカー（ケミカルアンカー）なお、チェーン、フックも同様の強度を持つものとする。 ※ 自記記録計によるガス圧テスト表の写しを県に提出し、正本は施工業者で5年間保存する。																																												
○浄化槽設備	種汚泥 試運転調整 その他	※ 使用開始時には必要に応じて種汚泥を投入する。 ※ 浄化槽の使用開始後おおむね3ヶ月間の試運転調整を行うもので、浄化槽法による「保守点検及び清掃等」を行うほか下記事項を言う。 維持管理を管理業者に引継ぐ場合は直前に水質検査（BOD、SS、PH、大腸菌、塩素イオン）を行い、そのコピーを維持管理業者、施設管理者、工事監督者に渡し、設計・施工・現況の注意事項を申し送ること。 ※ 見やすい場所に型式、施工者名、設置年月、処理能力、放流水質を記入した銘板を設置する。 ※ コンクリート頂版スラブを施工する場合、モルタルの浮き上がり、及び、水たまりが出来ないように仕上げ勾配に注意する。 ○ 補助金申請設備																																												

<p>● 空気調和・換気設備</p>	<p>空調機器の仕様</p> <p>パッケージエアコン等</p> <p>自動空気抜き弁装置 冷媒配管のラッキング</p> <p>ダクト 消音内貼り</p> <p>厨房等の排気フード</p> <p>送風機（大型） エアコン類の電気工事</p> <p>防振ハンガー 耐震対策措置 機器付属の制御盤 大気汚染対策</p>	<p>※ グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成十二年法律第百号））の判断基準適合品とする。 なお、パッケージ及びバルブエアコン等については、各メーカーの最高効率機種とする。 ○ 屋外機はJRA耐重塩害仕様とする。 ○ 屋外機は耐塩害仕様とする。 ※ パッケージエアコン屋内機の施工については県標準図13を参考にして注意する。 ○ 天カセ形室内機の取付等による天井の開口及び補強・補修を行う。（建築工事標準詳細図参照） 1）補強野縁は野縁と、補強野縁受及び取付け用補強材は野縁受と同材とする。 2）野縁受のはね出しが300mm以上の場合は、増し吊りをつける。 ※ 室外機には設置場所を問わず、溶融亜鉛メッキ製またはSUS製の転倒防止金具もしくは転倒防止ワイヤーを設ける。 ○ 不要 ○ 要（ ）ヶ所 自動空気抜き弁にはGV及びストレーナーを取付ける。 ※ 配管ラッキング（溶融アルミニウム・亜鉛鉄板・配管化粧カバー）は室外機の直近まで施す。 ※ 配管樹脂化粧カバー（スリムダクト）も室外機の直近まで施す。なお、屋外スリムダクト最終部は閉塞処理を行う。（コーキング処理、またはエンドキャップ処理）（フリーコーナー（ジャバラ）は使用しない。） ○ アルミフレキ（不燃材料認定品） ○ ステンレスフレキ（不燃材料認定品） ● スパイラルダクト ※ 内貼りチャンパの寸法表示は、外法寸法とすること。サブライチャンパにはその上に銅きつ甲金網押えを行う。 ※ 消音材はグラスウール（吹出口チャンパー・吸出口チャンパーは25mm厚、サブライチャンパーは50mm厚）とし、ガラスクロス押えとする。 ※ 排気フードは、SUS430製とする。（1.0mm厚） ※ フィルターは分解掃除が出来るものにする。 ※ 黄銅製コックは20mmのものとする。（キャップ止でもよい） ※ 火器使用機器が確定後にフードの形状寸法を変更して、投影面積が変わる場合はフードの面風速もチェックする。 （参考：フードの面風速は一般的に0.3m/sとして設計している。） ※ 送風機の機器表にファンの番手（#）を明記している場合、小さい番手にしない。 ※ エアコン設置に必要な一次側電源送り以降の、室内外渡り電源線、制御線、アース（CE2sq/4C・CE3.5sq/4C程度）を要す。 ※ リモコン線はEW-AE0.9mm/2C～3C、又はVCTF0.75sq/2C～3Cとする。（但し延長が10m以下のリモコン線は機器付属品でもよい。） ※ 室内外の渡り配線で、冷媒配管と同じルートに施工する場所は同保温外装内に納める。（電源・制御配線の最低離隔距離は機器メーカーの基準に準ずる。） ※ 表示窓の付いたリモコンの取付場所は視認性の良い高さ（1,300～1500h）照明SWの上を標準とするが、総合図で充分打合せ調整を行う。 ※ 防振ハンガーの設置判断基準は県標準図14による。 ※ 震災後の設備機能確保を図る実務的設備耐震対策措置は県標準図15による。 ※ 冷温水発生機、ボイラ及び温風暖房機の盤の始動スイッチの二次側に煤煙濃度計用電源端子を設ける。 ○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。</p>	<p>○ 点検口 ○</p> <p>○ ○</p>
<p>○ 工事 別 途 事</p>	<p>別 途 工 事</p>	<p>○ スリーブ、箱入れの補強筋 ○ ガラリ ○</p> <p>○ 天井および壁貫通に対する下地補強 ○ プロパンボンベ庫 ○</p>	<p>○</p> <p>○</p>

III 材料メーカ一表

材 料	材 料 メ ー カ ー
衛 生 陶 器	TOTO、LIXIL(INAX)、ジャニス工業
水 栓 金 具 類	TOTO、LIXIL(INAX)、ジャニス工業、三栄水栓
F R P 水 槽	三菱、日立、積水
う ず 巻 ポ ンプ	荏原、日立、 リク 、川本
水 中 モ ー タ ー ポ ンプ	荏原、日立、 リク 、川本、鶴見
汚 水 ・ 汚 物 ポ ンプ	荏原、日立、 リク 、川本、鶴見、新明和
電 気 温 水 器	四変テック、ユバック、日本電熱、東芝、パナソニック、三菱、日立
廚 房 機 器	日本調理、フジマック、北沢、ホシザキ四国、タニコー、マルゼン
小 型 鋼 板 ボ イ ラ ー	巴、昭和、愛知、ネボン、ヒラカワ
F R P 膨 張 タ ン ク	日立化成、三菱樹脂、ホーコス
ル ー ム エ ア コ ン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
パ ッ ケ ー ジ エ ア コ ン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
冷 温 水 発 生 機	矢崎、日立、荏原、川重、三菱重工、パナソニック
エアハンドリングユニット	新晃、ダイキン、三菱、昭和、日立、木村、東芝キャリア、三菱重工
送 風 機	日立、テラル、荏原、パナソニック、谷山、ミツヤ、旭電業
冷 却 塔	矢崎、日立、荏原シワフ、空研、日本スピンドル
自 動 制 御 機 器	アズビル、ジョンソンコントロールズ
ロ ー ル フ ィ ル タ ー	日本スピンドル、東洋空気調和、日本エアフィルタ
全 熱 交 換 形 換 気 扇	三菱、パナソニック、テラル、東芝、日立、ダイキン
そ の 他	国土交通省仕様適合品

完成後必要な 取扱資格者	ボ イ ラ	○ 資格不要 ○ 特別教育修了者（小型ボイラ） ○ 講習修了者 ○ （ ） 級ボイラ技士		
	危険物	○ 資格不要 ○ 危険物取扱主任者		
	冷凍機	○ 資格不要 ○ 第（ ） 種冷凍機械作業主任者		

	官公庁等	打 合 せ 事 項	確 認 日			
給 水			令和	年	月	日
排 水			令和	年	月	日
消 防			令和	年	月	日
浄 化 槽			令和	年	月	日
ガ ス			令和	年	月	日
そ の 他			令和	年	月	日
			令和	年	月	日

	特記仕様書（２）	SCALE A3 1 : NS	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株 式 会 社 上 田 建 築 事 務 所	DATE	DATE	M-02
	SUBJECT 令和6年度にこ淵公衆トイレ新設工事 設計図	SUBMITTED BY 一級建築士登録 第312929号 上田 博史	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.	

[illegible]

県標準図 4

受水槽廻り納まり図

作 成
平成30年 6月

この図は、受水槽廻り納まり図を示しています。主要な構成要素と接続は以下の通りです。

- 水流入**: 左側から入る水の流れ。
- 定水位弁**: 水位を一定に保つための弁。
- 水撃防止装置**: 水撃を防止するための装置。
- 電磁弁装置**: 電磁弁による制御装置。
- 自動給水ポンプユニット制御室**: 自動給水ポンプの制御室。
- 電磁弁制御室**: 電磁弁の制御室。
- 5 種**: 5種類の配管を示す記号。
- 3 種**: 3種類の配管を示す記号。
- 流入口異径(注: 取れり)**: 流入口の径が異なる部分。
- オーバーフロー**: オーバーフロー管。
- ポルタップ禁止 (電圧昇降時実施)**: ポルタップの使用を禁止する注意書き。
- 湧水監視**: 湧水の監視装置。
- 空気監視**: 空気監視装置。
- 湧水監視**: 湧水の監視装置。
- 空気防止**: 空気防止装置。
- 流出口下流 (ポンプ吸込口)**: 流出口の下游（ポンプの吸込口）。
- 有砂水監視**: 有砂水の監視装置。
- 流入電圧監視**: 流入電圧の監視装置。
- 流入電圧監視**: 流入電圧の監視装置。
- 受水槽**: 水を貯えるためのタンク。
- オーバーフロー**: タンクのオーバーフロー管。
- ポンプ吸込み**: ポンプの吸込み口。

(定水位弁電磁弁制御方式＋自動給水ポンプユニット方式の場合)

電極水位設定例

この図は、電極水位設定例を示しています。主要な構成要素と接続は以下の通りです。

- かよう継手**: 可とう継手。
- 水撃防止装置 (メーカー設置)**: 水撃を防止するための装置（メーカー設置）。
- 受水槽**: 水を貯えるためのタンク。
- 配管支持金物 (コンクリート基礎より取付)**: 配管を支える金物（コンクリート基礎から取付）。
- 配管支持金物 (コンクリート基礎より取付)**: 配管を支える金物（コンクリート基礎から取付）。
- コンクリート基礎**: コンクリート製の基礎。
- 地盤**: 地盤面。
- ドレン管はバルブ手前まで設置とする**: ドレン管はバルブの手前まで設置する。
- バルブを通るまで保護する**: バルブを通るまで保護する。
- 管径 a ($a < b$)**: 管径 a（a が b より小さい）。
- オーバーフロー管**: オーバーフロー管。
- 防虫網 (SUS 網、樹脂コーティング)**: 防虫網（SUS 網、樹脂コーティング）。
- 大気と開口している受水槽はオーバーフロー管の設置高さによらず**: 大気と開口している受水槽はオーバーフロー管の設置高さによらず。
- 排水口空間 (2 a 最小150mm以上)**: 排水口空間（2 a 最小150mm以上）。
- 排水口空間 (2 c 最小150mm以上)**: 排水口空間（2 c 最小150mm以上）。
- 管径 b**: 管径 b。
- かよう継手 (主に地盤沈下に対応)**: 可とう継手（主に地盤沈下に対応）。
- 土水流入管**: 土水流入管。
- 地盤**: 地盤面。

配管支持例

—×— 配管支持箇所

※ 耐震用緊急遮断弁を設ける場合は水槽側から支持固定を行うこと。

作 図
平成28年 6月

県標準図 6

制水弁（仕切弁）ボックス（50～150A）

1. 車道用鉄蓋・組立式B〇X（T-25）。
2. 鉄蓋は、蓋・受枠カラー表示、水流方向・口径表示、口環持付。
3. 必要により高さ及び路面勾配調整のための専用調整リングを使用する。
4. 管上高さ、弁サイズによりB〇X組み合わせを決定する。内径Dは250以上。
5. 下図鉄蓋図柄及びB〇X形状は参考。
6. ボックス内には設置年月・サイズ・系統名を明記したアクリルプレート进行けること。
7. ボックス内に設けるプレートにはペンキ書きまたはカッティングシートとすること。
8. 蓋の据付け方向には注意のこと。

鉄筋コンクリート製の例
（車弁、ダイヤモンドなど）

ハイビット、レジンコンクリート製の例
（日之出、ダイヤモンドなど）

Technical drawings of water control valve boxes (50~150A) showing top and side views for two types: Reinforced Concrete and Resin Concrete.

The top views show the circular cover with a central handle and a label area. The side views show the box structure with a height of 600H and 1200H.

The side view for the 1200H box includes a note: 系統名アクリル板 (文字書きはペンキ又はカッティングシート貼り)

県標準図 8

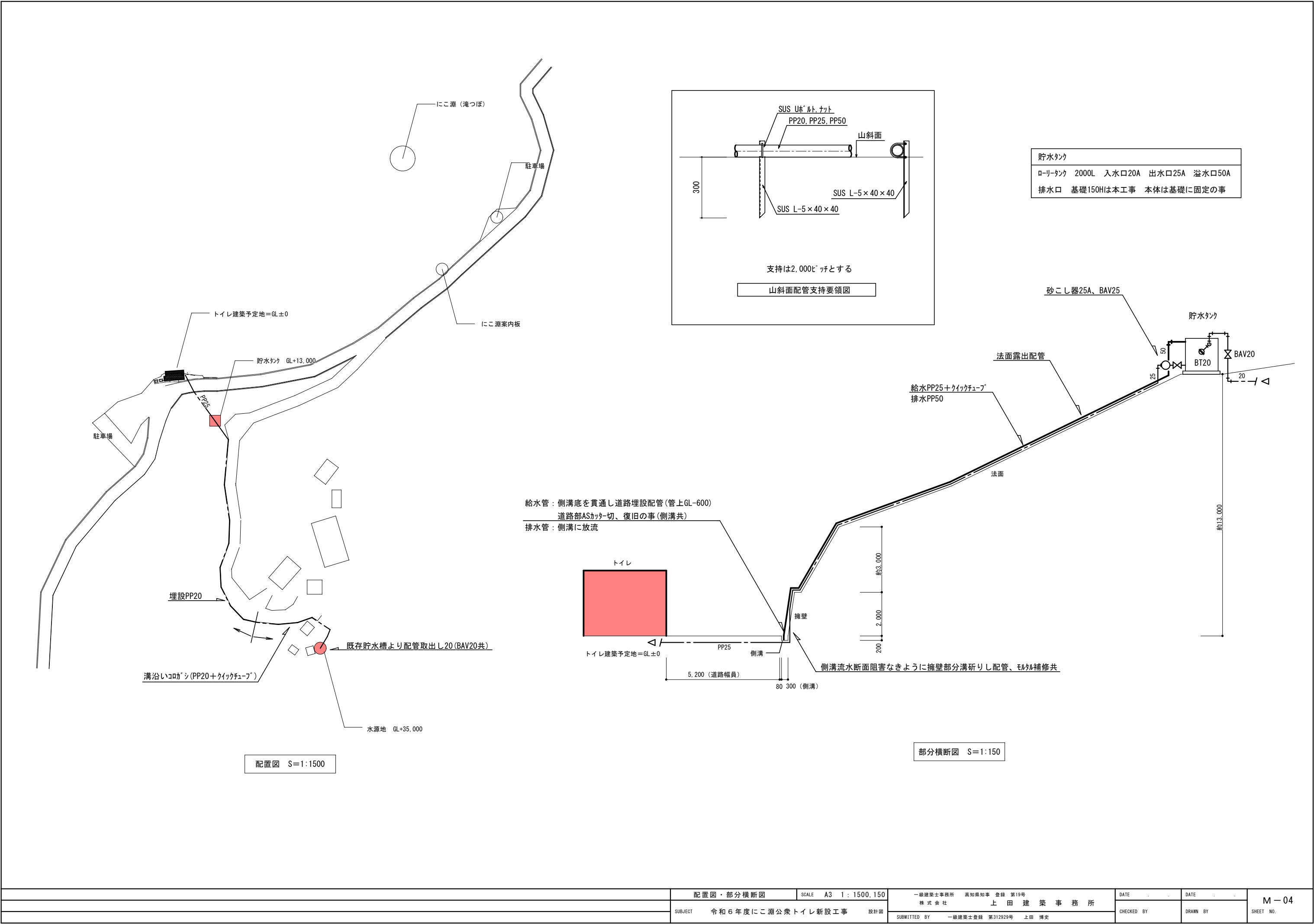
コ ン ク リ ー ト 標 示 柱

作 図
平成28年 6月

A-A断面図

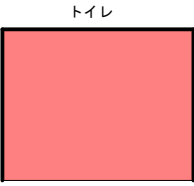
B-B断面図

矢印及び溝部は指定色 (マンテル種)	
給水管	10B 5/10
消火管	7.5R 4/14
ガス管	7.5Y 9/12
オイル管	



貯水タンク				
ローリタンク	2000L	入水口20A	出水口25A	溢水口50A
排水口	基礎150Hは本工事 本体は基礎に固定の事			

給水管：側溝底を貫通し道路埋設配管(管上GL-600)
道路部ASカッター切、復旧の事(側溝共)
排水管：側溝に放流



トイレ建築予定地=GL±0

PP25

側溝

80 300 (側溝)

擁壁

側溝流水断面阻害なきように擁壁部分溝研りし配管、モルタル補修共

部分横断面 S=1:150

配置図 S=1:1500

配置図・部分横断面

SCALE A3 1:1500,150

一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号

株式会社

上田建築事務所

DATE

DATE

M-04

SUBJECT 令和6年度にこ淵公衆トイレ新設工事

設計図

SUBMITTED BY

一級建築士登録 第312929号 上田 博史

CHECKED BY

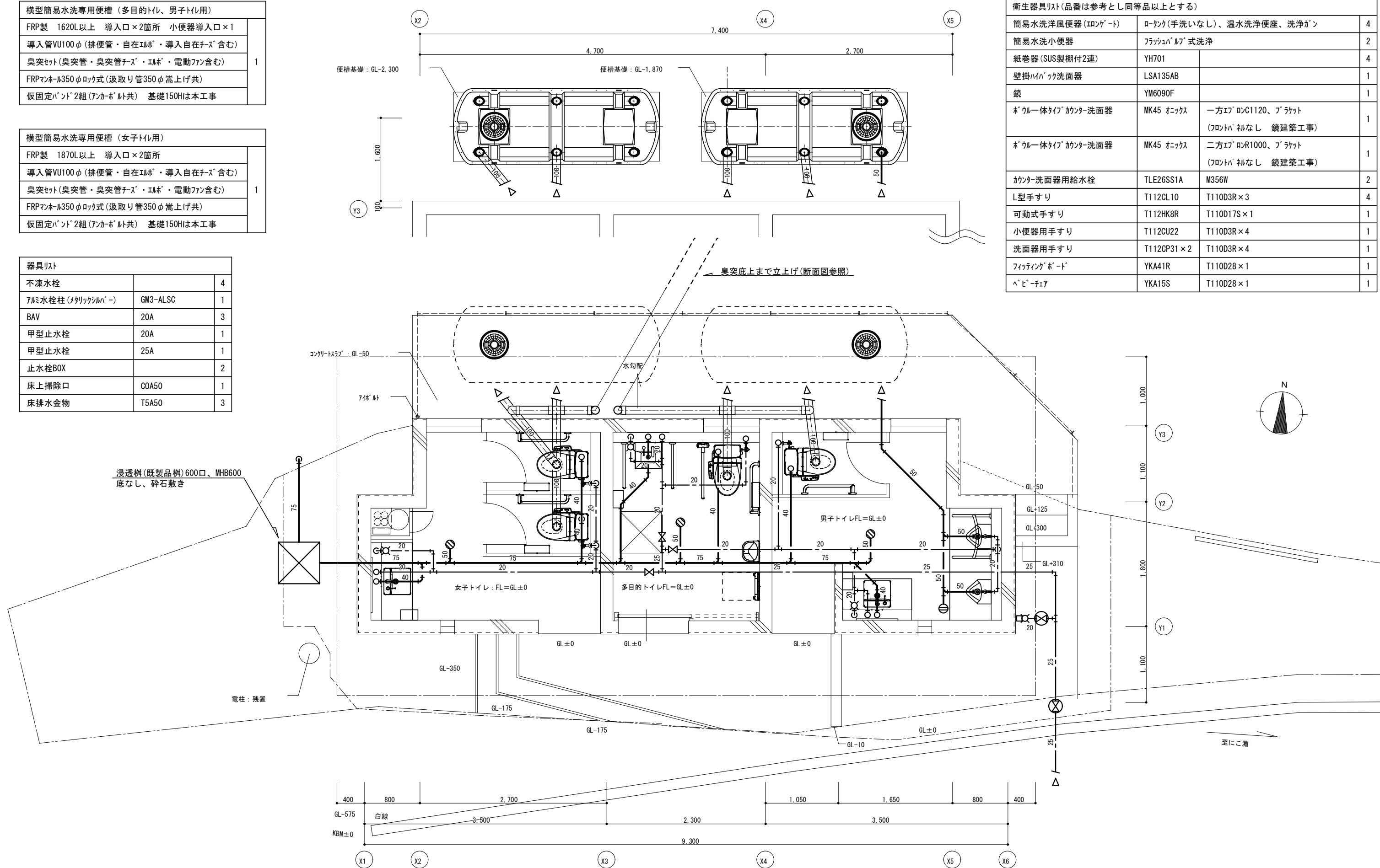
DRAWN BY

SHEET NO.

横型簡易水洗専用便槽（多目的トイレ、男子トイレ用）		
FRP製 1620L以上 導入口×2箇所 小便器導入口×1	1	
導入口VU100φ（排便管・自在取付・導入自在チズ含む）		
臭突セット（臭突管・臭突管チズ・取付・電動ファン含む）		
FRPマンホール350φロック式（汲取り管350φ嵩上げ共）		
仮固定バンド2組（アンカーボルト共） 基礎150Hは本工事		

横型簡易水洗専用便槽（女子トイレ用）	
FRP製 1870L以上 導入口×2箇所	1
導入口VU100φ（排便管・自在ILホ・導入自在チズ含む）	
臭突セット（臭突管・臭突管チズ・ILホ・電動ファン含む）	
FRPマンホ-ル350φロック式（汲取り管350φ嵩上げ共）	
仮固定バンド2組（アンカーボルト共） 基礎150Hは本工事	

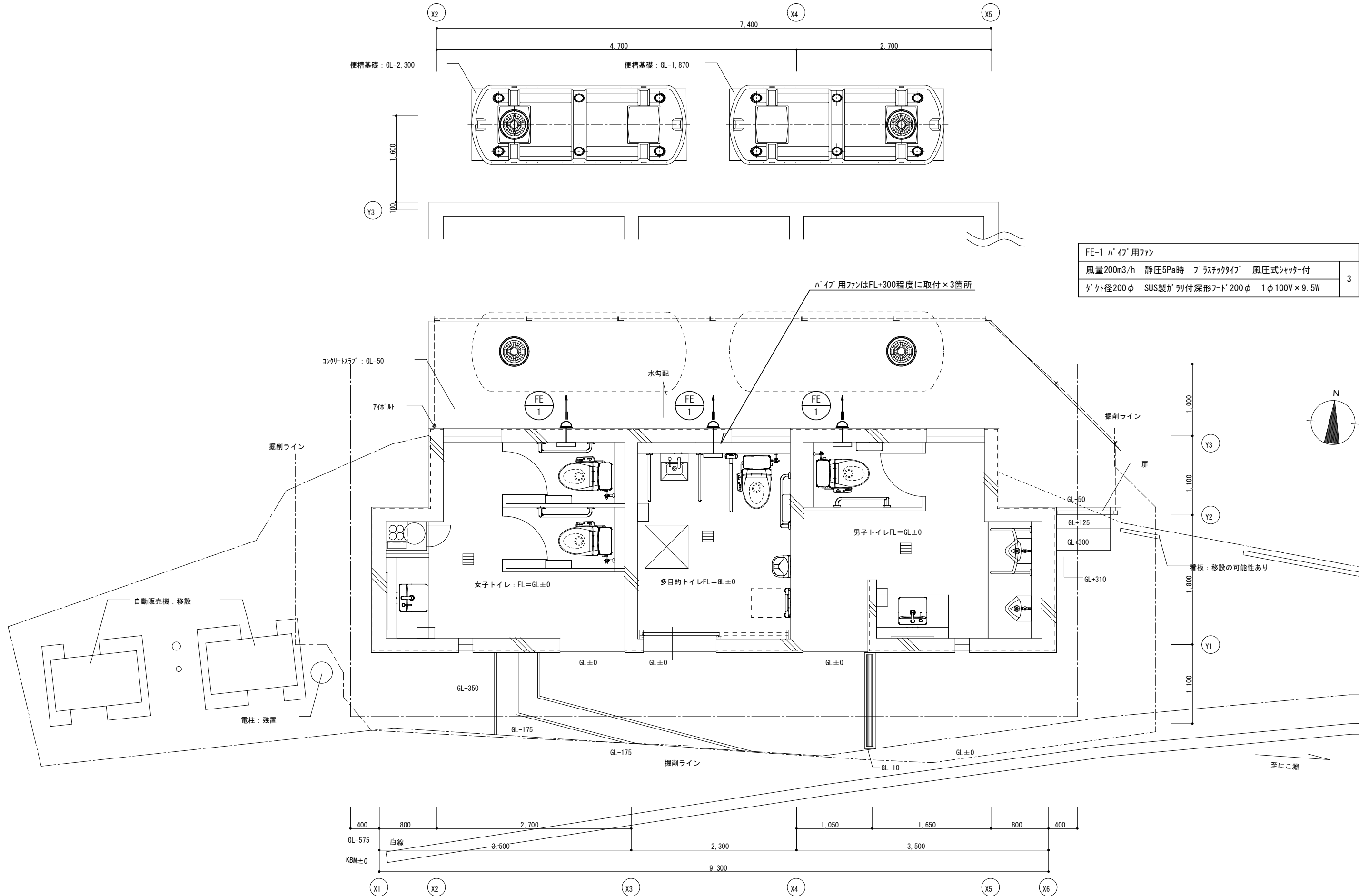
器具リスト		
不凍水栓		4
アルミ水栓柱（メタリッカルバー）	GM3-ALSC	1
BAV	20A	3
甲型止水栓	20A	1
甲型止水栓	25A	1
止水栓BOX		2
床上掃除口	C0A50	1
床排水金物	T5A50	3



衛生器具リスト(品番は参考とし同等品以上とする)			
簡易水洗洋風便器(ロングート)	ロータク(手洗いなし)、温水洗浄便座、洗浄ガン		4
簡易水洗小便器	フラッシュバルブ7式洗浄		2
紙巻器(SUS製棚付2連)	YH701		4
壁掛ハイバック洗面器	LSA135AB		1
鏡	YM6090F		1
ホール一体タイプカウンター洗面器	MK45 オニックス	一方エポロンC1120、ブラケット (フロント裨なし 鏡建築工事)	1
ホール一体タイプカウンター洗面器	MK45 オニックス	二方エポロンR1000、ブラケット (フロント裨なし 鏡建築工事)	1
カウンター洗面器用給水栓	TLE26SS1A	M356W	2
L型手すり	T112CL10	T110D3R×3	4
可動式手すり	T112HK8R	T110D17S×1	1
小便器用手すり	T112CU22	T110D3R×4	1
洗面器用手すり	T112CP31×2	T110D3R×4	1
フィッティングボード	YKA41R	T110D28×1	1
ベチチェア	YKA15S	T110D28×1	1

※ 便槽導入口、臭突管はメーカー標準で可とする

平面図		SCALE A3 1 : 50	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田建築事務所	DATE	DATE	M-05 SHEET NO.
SUBJECT 令和6年度にこ淵公衆トイレ新設工事		設計図		CHECKED BY	DRAWN BY	
			SUBMITTED BY 一級建築士登録 第312929号 上田 博史			



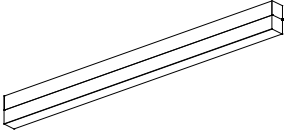
機 材 名		指 定 品	機 材 名	指 定 品	機 材 名	メーカー名	機 材 名	メーカー名	機 材 名	メーカー名						
電線管類・同付属品		J I S マーク表示品			LED照明器具	アイリスオーヤマ（株） 岩 崎 電 気（株） （株）遠藤照明 コイズミ照明株式会社 東芝ライテック（株） パナソニック（株） 三菱電機照明（株） （株）YAMAGIWA 山田照明（株）	蓄電池 ﾊﾞﾝﾄ形据置鉛蓄電池 制御弁式据置鉛蓄電池 据置ﾆｯｹﾙ・ｶﾄﾞﾐｳﾑｱﾙカリ蓄電池	エナジーウィズ株式会社 （株）GSユアサ 古河電池（株）								
電 線 類 等		国土交通省大臣官房官庁 営繕部監修の公共工事標準 仕様書（電気設備工事編） J I S マーク表示品			照明制御装置	東芝ライテック（株） パナソニック（株） 三菱電機照明（株）	監視カメラ装置	㈱JVCケンウッド・公共産業ｼｽﾃﾑ T O A（株） ﾊﾞﾅﾅﾆｯｸｺﾛｹﾄ（株）								
耐火・耐熱ケーブル		耐火・耐熱電線認定機関 の認定または評価された 旨の表示をしたもの			可変速電動機用インバーター装置	（株）日立産機システム 富士電機（株） 三 菱 電 機（株） （株）安川電機	盤類（公共建築工事標準仕様） 分電盤・制御盤 ｷｬｰﾋﾞｰﾙ式配電盤	（株）イトウテック 共 栄 電 機 工 業（株） 光 電 設（株） 上記の他、令和5年版「建 築材料・設備機材等品質性 能評価事業 設備機材等評 価名簿」に掲載されたもの								
配線器具類		J I S マーク表示品			高圧交流遮断機（真空）	東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） 日 新 電 機（株） （株）日立産機システム 富士電機（株） 富士電機機器制御（株） 三 菱 電 機（株） （株）明 電 舎		太陽光発電装置			山洋電気（株） （株）GSユアサ 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） パナソニック（株）					
配線用遮断機 JIS C 8201-2-1 に適合するもの 漏電遮断機 JIS C 8201-2-2 に適合するもの		J I S マーク表示品			高圧限流ヒューズ	（株）宇都宮電機製作所 エナジーサポート（株） 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） （株）日立産機システム 富士電機機器制御（株） 三菱電機（株）					エナジーウィズ株式会社 山洋電気（株） （株）GSユアサ （株）GS17ｳｻｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） 富士電機（株） 古河電池（株） 三菱電機（株） （株）明電舎					
電磁接触器 JIS C 8201-1, JIS C 8201-4-1 に 適合するもの		J I S マーク表示品			高圧負荷開閉器	エナジーサポート（株） 大垣電機（株） （株）新愛知電機製作所 （株）戸上電機製作所 日本高圧電気（株） （株）日立産機システム 富士電機機器制御（株） 三 菱 電 機（株）										
低圧進相コンデンサ JIS C 4901 に適合するもの		J I S マーク表示品			高圧進相コンデンサ	（株）指月電機製作所 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） ﾆ ｾﾞ ｺ ﾝ（株） 日 新 電 機（株） 三 菱 電 機（株） 利 昌 工 業（株） ※ 1										
指示電気計器 JISC1102（指示電気計器）		J I S マーク表示品			※ 1 モールドコンデンサに限る											
非常用照明器具		（社）日本照明器具工業会 の J I L 適合マークが貼付 されたもの			高圧用変圧器	愛知電機（株） 四 変 テ ッ ク（株） （株）ﾀﾞｲ ｾﾞﾝ ﾀｶｵｶ化成工業（株）※ 2 （株）東 光 高 岳 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） 日 新 電 機（株） （株）日立産機システム 富士電機（株） 三 菱 電 機（株） （株）明 電 舎 利 昌 工 業（株） ※ 2										
誘導灯器具		誘導灯認定委員会の認定 証票が貼付されたもの			※ 2 モールド変圧器に限る											
自家発電装置 付属する配電盤をふくむ		日本内燃力発電設備協会 の認定証票が貼付された もの														
防災電源用直流電源装置		蓄電池設備認定委員会の 認定証票が貼付されたもの														
自動閉鎖装置		連動機構・装置等自主評定 委員会の自主評定マークが 貼付されたもの														
非常放送装置の蓄電池		J E A 蓄電池設備認定委員 会の認定証票が貼付された もの														
非常警報装置（非常ベル）		日本消防検定協会の認定 証票が貼付されたもの														
自動火災報知装置		日本消防検定協会の検定 合格証票が貼付されたもの														
構内交換装置		（財）電気通信端末機器 審査協会の認定品														
					機材指定表		SCALE A3 N : S	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株 式 会 社 上 田 建 築 事 務 所			DATE	DATE	E - 0 2			
					SUBJECT 令和6 年度にこ 洲公衆ﾄｲﾚ 新築工事 設計図			SUBMITTED BY 一級建築士登録 第312929号 上田 博史			CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.			

照明器具姿図

A

LEDシームレス 防湿型・防雨型

消費電力：14.8W
KOIZUMI:XU54385

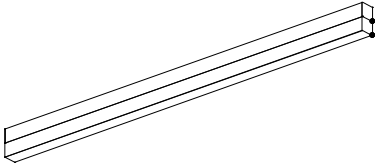


本体：アルミ・黒色塗装
セード：アクリル・乳白色
消費電力：14.6W
定格光束：2125lm
色温度：5000K
器具高-80mm 全長-900mm 器具幅-40mm 重-1.2kg

B

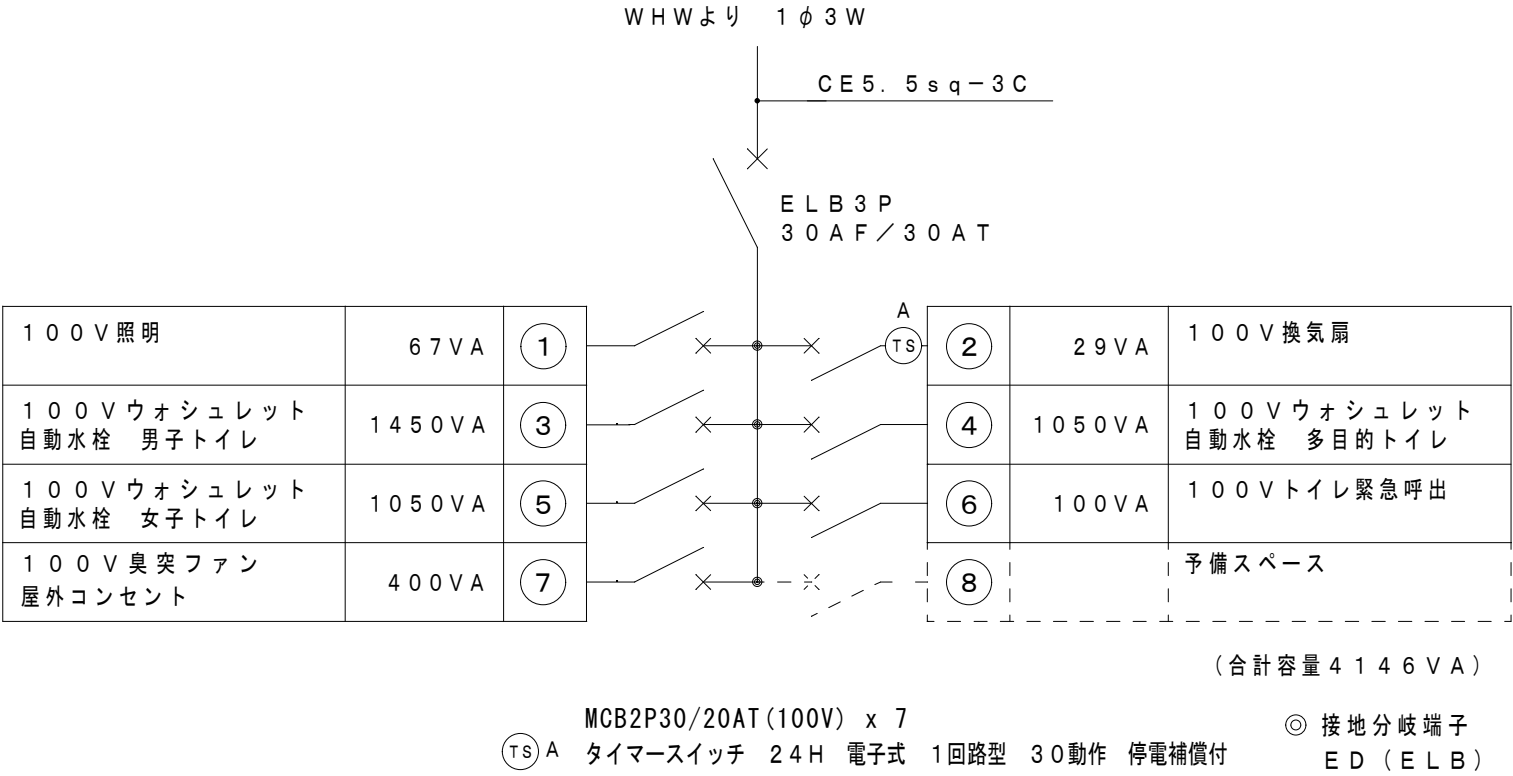
LEDシームレス 防湿型・防雨型

消費電力：18.6W
KOIZUMI:XU54383



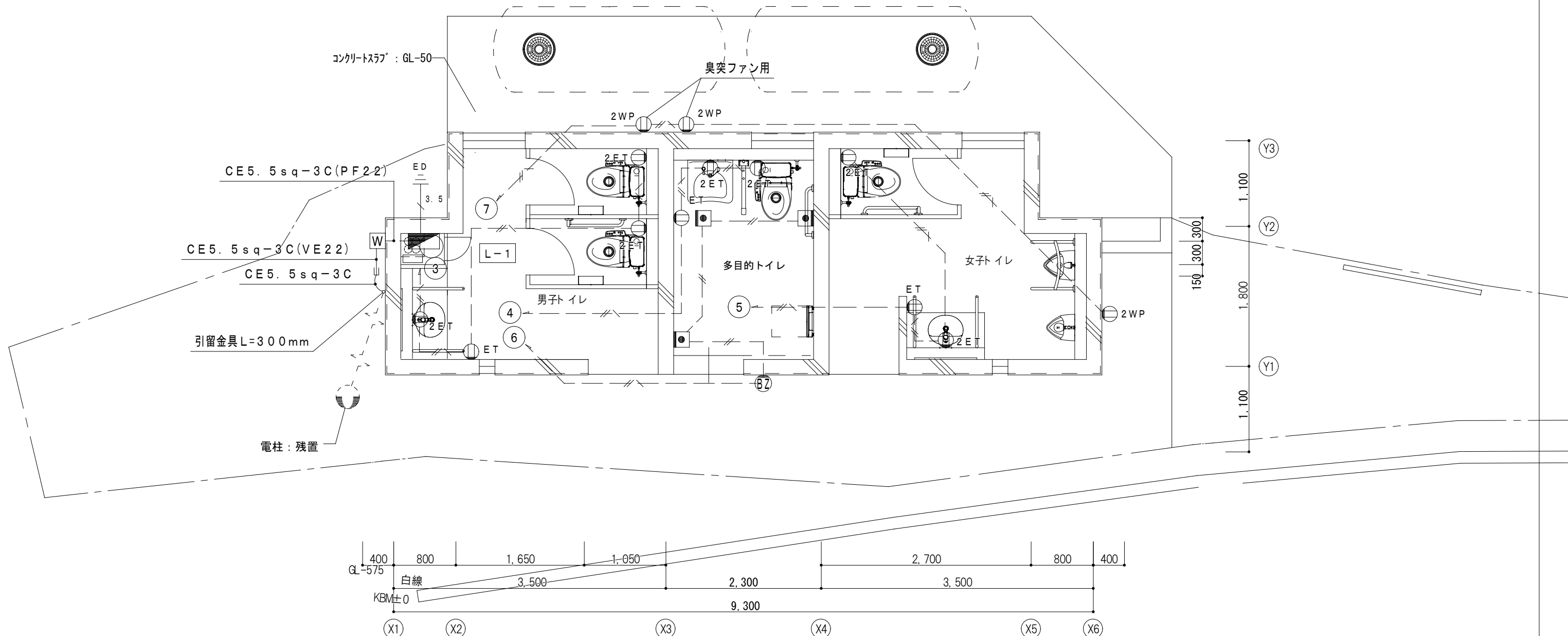
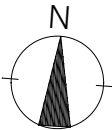
本体：アルミ・黒色塗装
セード：アクリル・乳白色
消費電力：18.6W
定格光束：2830lm
色温度：5000K
器具高-80mm 全長-1200mm 器具幅-40mm 重-1.5kg

※照明器具の消費電力はJIS C8105-3の測定方法による。



電灯分電盤 L-1

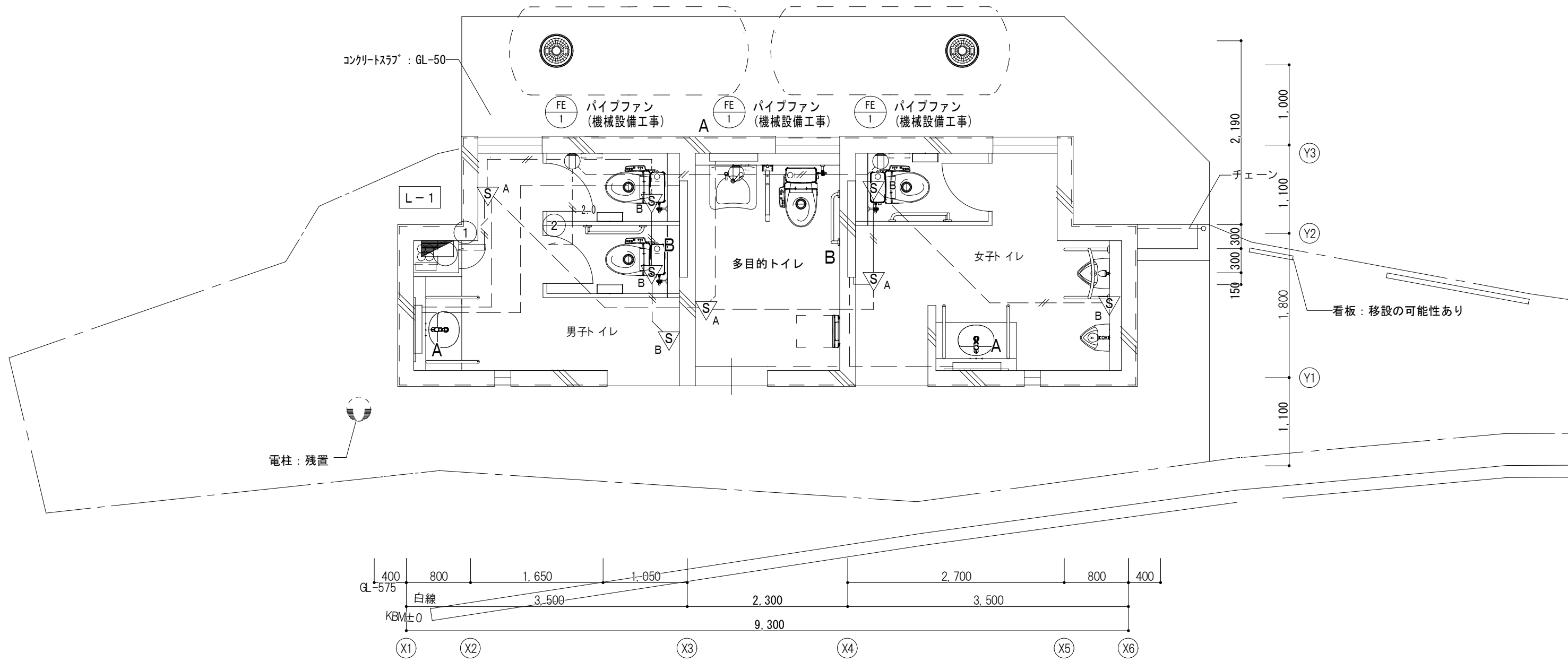
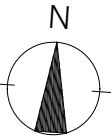
樹脂製露出型前面扉付・フリーボックス付



凡 例		
記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤	別図参照
	電力量計収納函	1Φ3W 30A 1個用 スマートデザインタイプ
	埋込コンセント	2P15A×1 ET 新金属プレート共
	"	2P15A×2 ET "
	防水コンセント	2P15A×2 EET スマートデザインタイプ
	警報ランプ付プザー	AC100V 参考品番:EA5501
	埋込押ボタンスイッチ	防沫形 プルススイッチ付 AC30V 常開形 参考品番:WS65771

注記事項		
図中明記なき配管配線は下記による。		
	EEF1. 6-2C(PF16)	インペイ
	EEF2. 0-3C(PF22)	"
	EEF2. 0-3C(PF22)	"

至にこ 洲



凡 例		
記 号	名 称	備 考
	熱線センサー自動スイッチ	親器 AC100V 8A 壁取付 防雨形 検知後連続動作時間10秒～30分 明るさセンサー付
	"	子器 DC12V 壁取付 防雨形 検知後連続動作時間10秒～30分 明るさセンサー付
	埋込コンセント	2P15A×1 新金属プレート共

注記事項		
図中明記なき配管配線は下記による。		
	EEF1. 6-2C(PF16)	インペイ
	EEF1. 6-2C(PF16)	"
	EEF1. 6-3C(PF16)	"
	EEF1. 6-3C(PF16)	"
	EEF2. 0-2C(PF16)	"
	EEF2. 0-3C(PF22)	"

至にこ 洲